

平成23年度

国土交通省関係予算概算要求概要

(中国地方整備局関連)

平成22年8月

中国地方整備局

目 次

1. 基本的考え方1
2. 平成 23 年度 主な完成予定事業一覧2
3. 中国地方整備局の主な取り組み3
4. 主要事業箇所(一覧)(別添)

平成23年度 国土交通省関係予算概算要求に係る

中国地方整備局の事業概要について

1. 基本的考え方

国土交通省においては、「国土交通省成長戦略（平成22年5月17日公表）」の実現を中心に据えながら、“真に必要な社会資本の着実な整備”、“交通基本法関連施策の充実”、“高速道路の原則無料化の推進”、“安全、環境、地域の雇用・経済のための施策の強化”といった分野に重点を置いて、「選択と集中」を徹底し、メリハリのある要求を行うこととしています。

中国地方整備局においては上記方針に基づき、平成21年8月に公表した「中国圏広域地方計画」における中国地方の将来像である、

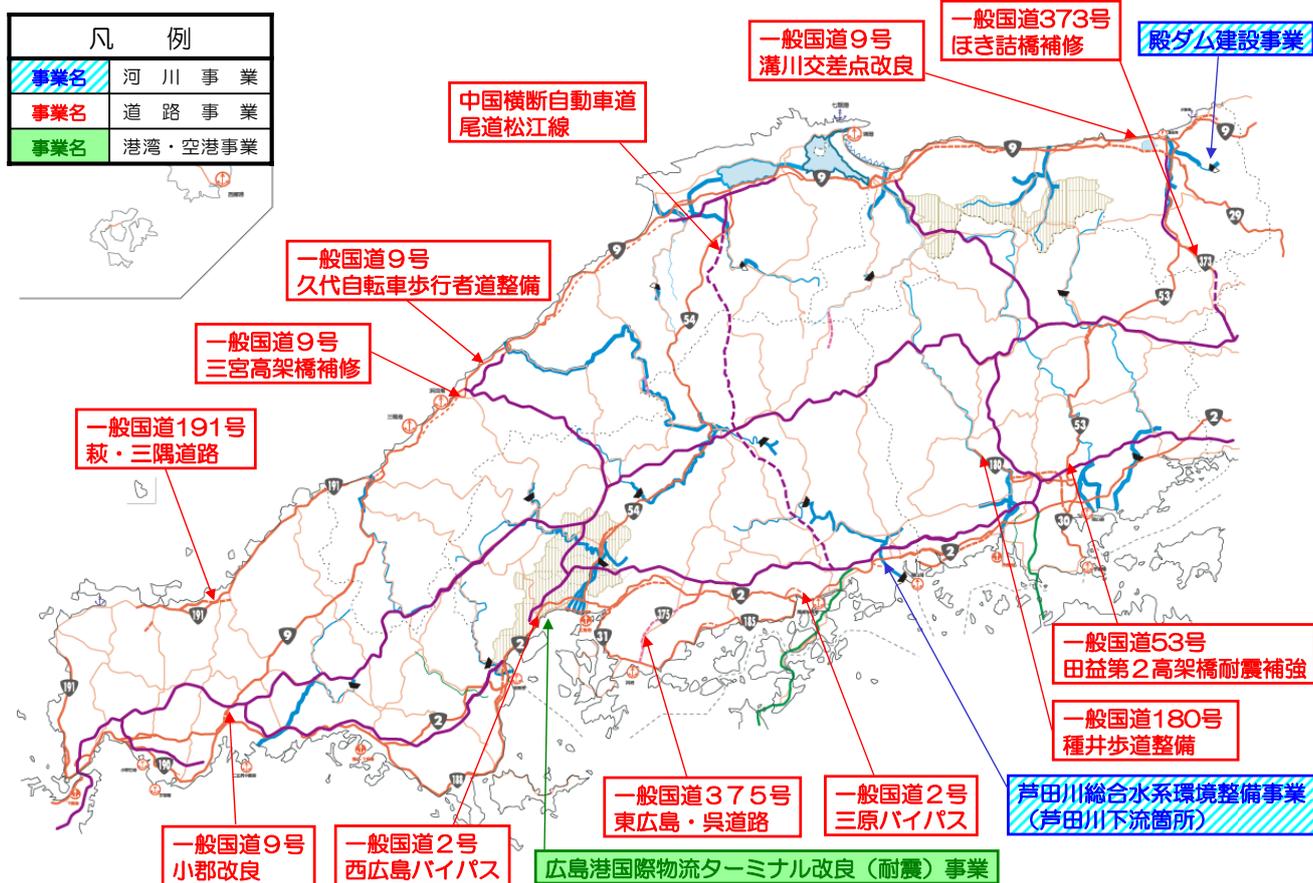
- ① 地域の多様性を活かした交流・連携で、持続的に発展する中国圏
- ② 産業集積や地域資源を活かした新たな挑戦で、持続的に成長する中国圏
- ③ 多彩な自然や文化を活かして、多様で豊かな生活を楽しめる中国圏

の実現に向けて、同時期に策定した中国地方の社会資本整備の具体的な方針を示す「みらいビジョン中国21“2009”」において下記の具体的な地域整備の目標を掲げ、限られた予算で最大限の効果の発現を図ることとしています。

■「みらいビジョン中国21“2009”」における地域整備目標

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">I. 競争力のある地域経済社会の再構築II. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくりIII. 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造IV. 交流・連携による一体的で活力のある地域づくりV. 横断的な取り組み |
|---|

2. 平成23年度 主な完成予定事業一覧



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度	番号
鳥取県					
殿ダム建設事業	河川	直轄		H23完成予定	河-1
一般国道373号 ほき詰橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-3
一般国道9号 溝川交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-4
島根県					
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-7
一般国道9号 三宮高架橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-10
一般国道9号 久代自転車歩行者道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-11
岡山県					
一般国道53号 田益第2高架橋耐震補強	道路	直轄		H23完成予定	道-16
一般国道180号 種井歩道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-17
広島県					
芦田川総合水系環境整備事業 (芦田川下流箇所)	河川	直轄		H23完成予定	河-15
一般国道2号 三原バイパス	道路	直轄		H23完成予定	道-19
一般国道2号 西広島バイパス	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-21
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-22
広島港国際物流ターミナル改良(耐震)事業	港湾	直轄		H23完成予定	港-5
山口県					
一般国道9号 小郡改良	道路	直轄		H23完成予定	道-25
一般国道191号 萩・三隅道路	道路	直轄		H23完成予定	道-26

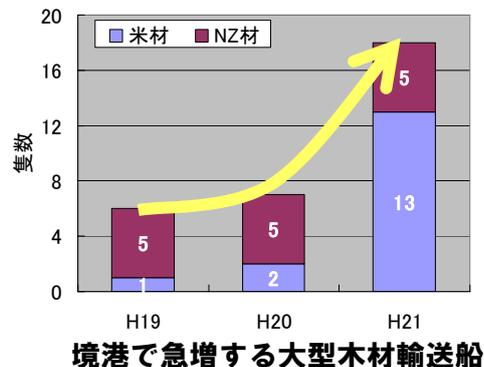
3. 中国地方整備局の主な取り組み

I. 競争力のある地域経済社会の再構築

(1) 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

① 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

○国際・国内海上輸送ネットワークの拠点、臨海部における企業立地や企業活動に必要な輸出入の拠点となる港湾について、「選択と集中」により効率的な整備を進め、国民生活や産業活動に必要な物資や製品の安定的かつ低廉な輸送を確保します。



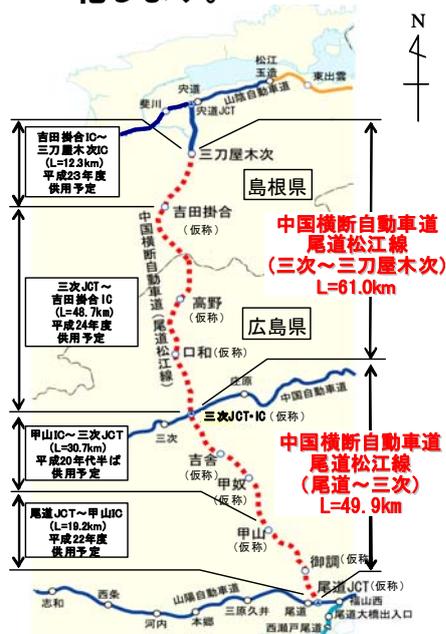
さかい 境 港国際物流ターミナル整備事業（鳥取県）【新規箇所要求】

とくやまくだまつ 徳山下松港国際物流ターミナル整備事業（山口県） 等

(2) 国内交通ネットワークの強化

① 高速交通ネットワーク及び空港・港湾へのアクセス強化による産業の振興

○高規格幹線道路や地域高規格道路などの整備を進め、国内交通ネットワークを強化します。

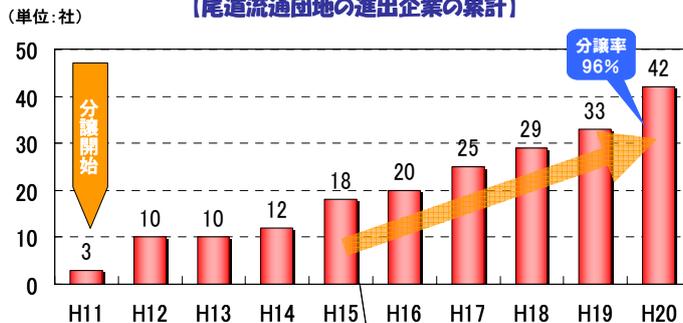


尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、人流・物流・産業交流の活発化、地域経済の向上等が期待されます。



吉田掛合IC～三刀屋木次IC間（三刀屋木次IC付近）

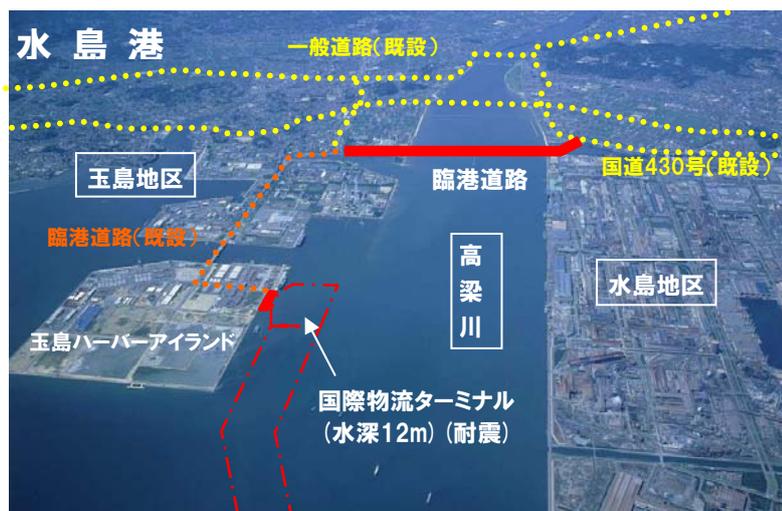
【尾道流通団地の進出企業の累計】



中国横断自動車道尾道松江線(鳥根県・広島県)

とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路(鳥取県) 等

○地域の経済活動を支える臨港道路の整備を進め、港湾における安全かつ効率的な物流を確保します。



みずしま
水島港国際物流ターミナル [耐震] ・臨港道路整備事業 (岡山県) 等

(3) 都市機能の強化

① 都市内の渋滞対策による交通の円滑化

○交通容量拡大策やTDM（交通需要マネジメント）施策等の都市内の渋滞対策を総合的に実施し、交通の円滑化及び物流の効率化を図ります。

ひろしまみなみ
一般国道2号 広島南道路(広島県) 等

Ⅱ. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

(1) 災害の防止・軽減

①洪水、高潮、地震、急傾斜地の崩壊等による被害の未然防止

- 国民の生活の安全安心を確保するため、災害危険度の高い地域における効果的な災害予防対策を実施するとともに、災害が発生した地域における再度災害の防止対策を実施します。

ひいかわ 斐伊川水系治水事業（なかうみ 中海湖岸堤整備）（鳥取県・島根県）

ひいかわ 斐伊川水系治水事業（大橋川改修）（島根県）

ひいかわ 斐伊川放水路事業（島根県）

あさひかわ 旭川総合内水緊急対策事業（岡山県）

ひろしま 広島市街地の高潮対策事業（広島県）

ほうふ 防府山系直轄特定緊急砂防事業（山口県） 等

②災害等の発生時における社会活動への深刻な影響の防止

- 災害や重大災害等の発生時においても機能するように社会資本整備を推進し、住民生活や経済活動への深刻な影響の防止を図ります。

一般国道 191 号 ^{はぎみすみ}萩・三隅道路(山口県) 等

- 耐震強化岸壁の整備を進め、大規模地震等の災害発生時における避難者や緊急物資等の輸送機能を確保するとともに、産業や経済への影響を最小限に抑えるための一定の輸送機能を確保します。

ひろしま 広島港国際物流ターミナル改良（耐震）事業（広島県） 等

- 安全、安心の確保に資するため、大規模地震発生時に防災拠点としての機能を十分に発揮できるよう、災害応急対策活動に必要な官庁施設等について耐震化を推進します。

(2) 地域防災力や危機管理体制の強化

① 機動性の高い危機管理体制の確立

- 大規模自然災害における被災状況の迅速な把握や被災地の早期復旧を目的として、平成20年に緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を発足し、計画的な訓練や装備の充実を図ります。



Ku-SAT 設置訓練状況 (平成 22 年 6 月)

TEC-FORCE 隊員セミナー (被災状況調査班員)



班別討議の発表状況 (平成 22 年 8 月)

TEC-FORCE 隊員セミナー (班長クラス)

- あわせて災害対策用機械については、近年の集中豪雨等による災害の増加に鑑み、排水ポンプ車や照明車等機動性のある車両を導入するなど、広域的な災害対策の充実を引き続き図ります。

- 平成22年7月の豪雨による災害においては、山口県からの要請により排水ポンプ車を迅速に派遣・支援を実施しました。また、同年7月の広島県庄原市の集中豪雨による土砂災害においては、広島県及び庄原市からの要請により TEC-FORCE 隊員を派遣し、土砂災害箇所の被災状況調査・災害復旧などの技術支援を実施しました。(7月11日～27日の11日間延べ69名の TEC-FORCE 隊員を派遣)



排水ポンプ車の活動状況

<平成 22 年 7 月の豪雨：山口県山口市>



TEC-FORCE (高度技術指導班) による災害復旧等指導状況

<平成 22 年 7 月の集中豪雨：広島県庄原市>

② 関係機関との連携強化

- 災害に対し管内の関係自治体との情報共有や円滑な応急対応を実施するため、中国地方整備局と中国管内の5県2市が「中国地方における災害時の支援に関する申し合わせ」や「防災情報の共有に関する協定書」等の締結、さらに平成22年8月に鳥取県知事と「災害時における相互協力に関する基本協定書」を締結するなど、引き続き連携強化を推進していきます。

③業務継続計画の策定による危機管理体制の強化

- 大規模地震等の危機的事象が発生し、リソース(人、モノ、情報)が不足した場合においても災害対策業務などの社会活動に重大な影響を及ぼす重要な業務について、発災直後でも高いレベルで業務を行うことができるよう「業務継続計画」を本局及び管内の全事務所で策定し、今後は「業務継続計画」の適宜見直しを行い、危機管理体制の強化を図ります。

(3) 水資源の安定的な確保

①水資源の確保による暮らしや産業活動を支える水の安定供給

- 新規施設の整備、既存施設の有効活用等により水資源の確保を推進し、暮らしや産業活動を支える水の安定供給を図ります。

との
殿ダム建設事業(鳥取県)

(4) 陸上及び海上における交通安全の向上

①陸上及び海上における交通安全の向上

- 道路交通システムの構築や交通安全対策事業を進め、公共空間における移動の円滑化を図ります。

一般国道 180 号 ^{たねい}種井歩道整備(岡山県) 等

- 安全かつ安定した港湾の利用を可能とする防波堤の整備を進め、荷役効率の向上を図るとともに、荒天時における船舶の避難水域を確保します。

はまだ
浜田港防波堤整備事業(島根県) 等

Ⅲ. 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

(1) 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

① 瀬戸内海等への環境負荷低減等による美しく豊かな自然環境や景観等の実現

○閉鎖的水域である湖等において、水質浄化の取り組みを推進します。

また、河川区域において流水の維持や水質浄化の取り組みを推進します。

ひいかわ 斐伊川総合水系環境整備事業（なかうみ しんじこ 中海・宍道湖浄化事業）（島根県）等

○河川や海岸において、生物の多様性や、水辺の楽校などで自然とのふれあいの場を確保し、良好な水辺、沿岸域の環境を創出します。

よしいがわ 吉井川総合水系環境整備事業（よしいがわ 吉井川自然再生事業）（岡山県）

② 瀬戸内海をはじめとする自然・歴史・文化等の地域資源を活用した地域づくり

○地域の景観、歴史、文化及び観光という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携のもとで良好なまち空間と水辺空間形成を目指します。

こうかわ 江の川総合水系環境整備事業（さんせんこうりゅうぶ 三川合流部水辺整備）（広島県）等

○歴史、自然を活かした地域の拠点形成を形成します。

ひほくきゅうりょう 国営備北丘陵公園（広島県）



開園区域の様子

③ 恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」を次世代へ継承

○関係省庁や自治体などが連携して、恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」の保全・再生を推進します。

ひろしま 広島湾再生プロジェクト

IV. 交流・連携による一体化で活力のある地域づくり

(1) 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

①山陰と山陽及び分散した都市間等の連携強化

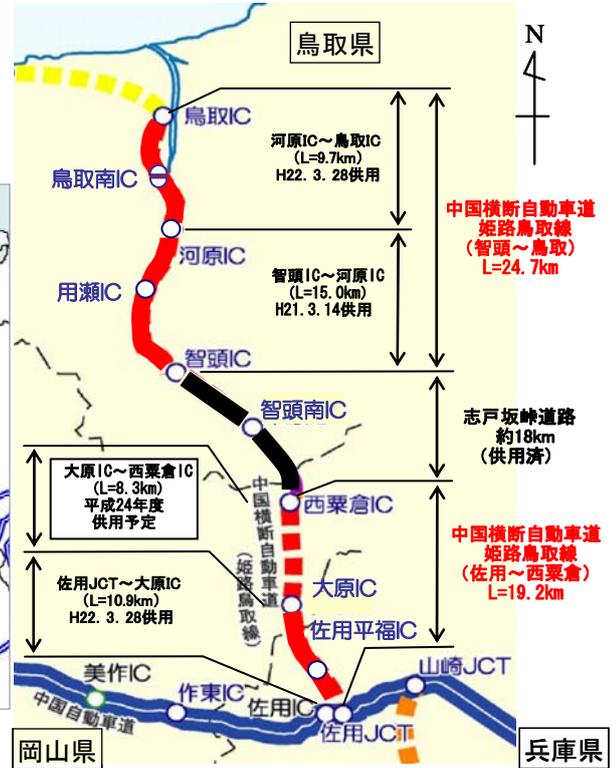
○山陰と山陽、分散した都市間を結ぶ道路の整備等によるブロック内外の連携強化を図り、活力ある地域社会を構築します。

①主要都市間の所要時間短縮

姫路鳥取線の整備により、山陽・京阪神側の拠点都市との所要時間が短縮され、地域間交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



※所要時間はH17センサス混雑時旅行速度により算出。ただし、鳥取自動車道の速度はV=70km/hとして算出。



中国横断自動車道 ^{ひめじとっとり} 姫路鳥取線(岡山県・鳥取県)

一般国道2号 ^{たましま かさおか} 玉島・笠岡道路(岡山県) 等

②都市間や都市と中山間地域等の多様な交流の拡大

○幹線道路等の交通基盤や物資の輸送のための基盤づくりを推進し、都市と中山間地域等の多様な交流拡大を図ります。

一般国道313号 ^{くらし} 倉吉道路(鳥取県) 等

(2) 広域観光の促進

① 空港や港湾などの国際交流拠点機能の強化による広域観光の促進

- 岩国飛行場において、民間航空再開に必要となる施設の整備を進めます。民間航空再開により、山口県東部地域と首都圏の間の移動時間短縮を実現し、観光需要の拡大等を図ります。

いづくに
岩国飛行場民間航空施設整備事業（山口県）

② 観光地が連携した観光圏の形成による広域観光の促進

- 観光地が広域的に連携した「観光圏」の形成し、魅力ある観光地域づくりの推進のために必要とされる社会資本整備が促進されるように配慮していきます。

現在、中国地方整備局管内では観光圏として、鳥取・島根両県をまたぐ「山陰文化観光圏」と広島、宮島、岩国が連携した「広島・宮島・岩国地域観光圏」及び尾道市、今治市、上島町が連携した「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」が認定されています。

平成 22 年度に認定された「瀬戸内しまなみ海道地域観光圏」のエリアでは、社会実験として、駐輪・休憩施設や情報発信を行う「サイクリストオアシス」の設置やレンタサイクルの実施、自転車による島内観光スポット回遊のための情報提供など、自転車による観光の支援を行いました。

しまなみ、山陰、広島地域の観光圏



自転車による観光回遊イメージ

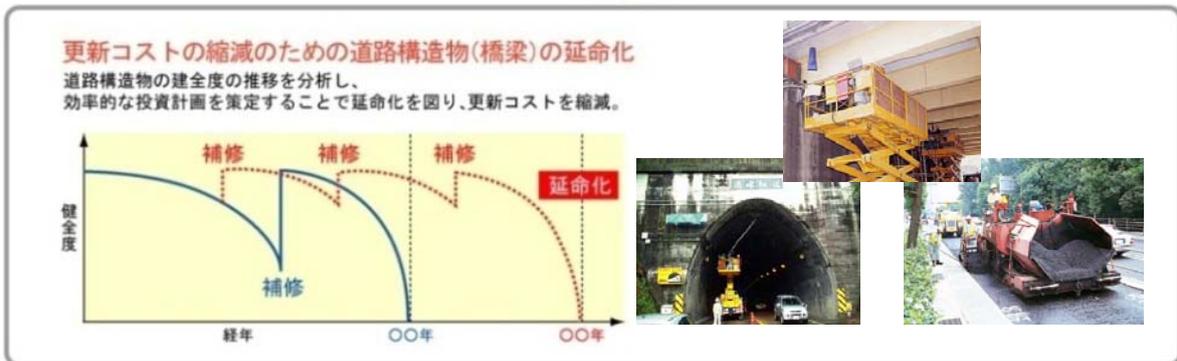
V. 横断的な取組

(1) 社会資本整備の効率化や社会資本ストックの有効活用

① 戦略的な維持管理・更新等による社会資本の有効活用

構造物の健全度予測・点検を行い、維持修繕の最適な時期・規模など効率的な投資計画に応じて、計画的な維持管理を行っていきます。

○ 計画的な維持管理の推進



② 産学官の技術連携の支援

○ 中国地方7大学との「包括的連携・協力に関する協定締結」

- ・ 中国地方の7大学の大学長と中国地方整備局長が協定書を締結し、連携・協力の強化を図り、地域社会の発展に寄与します。



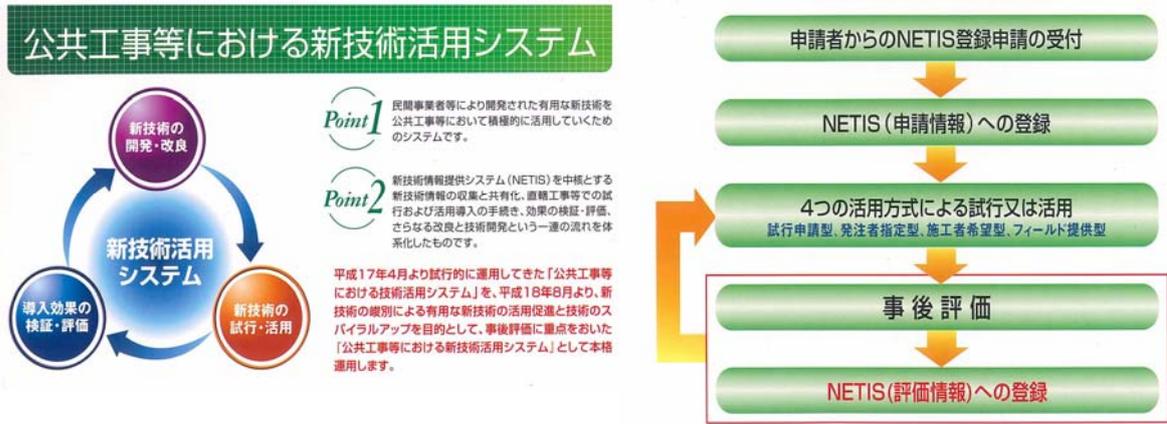
▲ 意見交換開催状況(鳥取大学)



▲ 意見交換開催状況(山口大学)

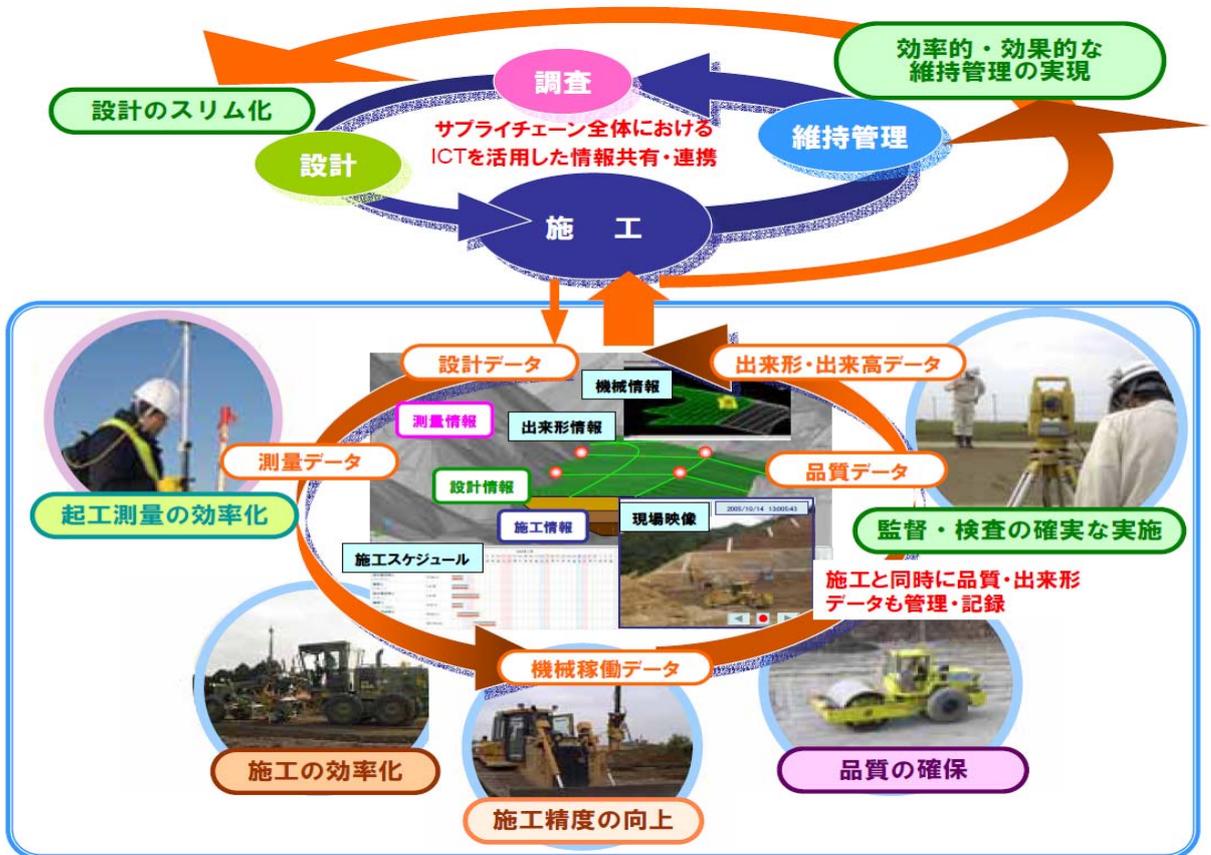
③新技術・新工法活用の支援体制づくりを支援

- ・成長が期待される情報通信、医療、福祉、環境、バイオテクノロジー（生物工学）等の産業関連分野の育成やその技術を国土管理に活用するための産学官の連携を強化し、新たな産業拠点の整備を基盤整備等により積極的に支援します。



④情報化施工の推進

- ・情報化施工技術は、ICT（情報通信技術）を工事の施工等に活用し、従来の施工技術と比べ、高い生産性と施工品質を実現する施工システムです。情報化施工に関する試験施工の実績や技術の普及状況等を踏まえ、既に技術的に確立した情報化施工技術については、平成25年度の一般化に向け積極的な普及推進を行います。



との
殿ダム建設事業（鳥取県）等

(2) 良好な社会資本整備に向けた取り組み

①公共工事の品質確保の促進

○総合評価方式の透明性・公平性の確保

- ・より公平な技術評価方法への改善を進めるとともに、提案者に対する評価結果の通知や問い合わせ窓口の設置等、技術評価に関する更なる透明性・公平性の確保に努めます。

○三者検討会、ワンデーレスポンス、設計変更審査会の拡大

- ・工事の効率化を図るため、工事施工中の問題認識の明確化や受発注者間の情報を共有し、受発注者間の協議等を迅速に実施するため、三者検討会、ワンデーレスポンス、設計変更審査会の更なる拡大を図っていきます。

②調査・設計の品質確保の推進

○総合評価方式の拡大

- ・調査・設計等の業務においても、引き続き総合評価方式の拡大を図っていきます。

○その他の取組み

- ・三者検討会、ワンデーレスポンス(業務版)などを推進していきます。

③自治体等への取組み

○中国ブロック発注者協議会

- ・「中国ブロック発注者協議会」(平成20年設立)により、中国地方の全ての公共工事発注機関において、総合評価方式の導入拡大、品質確保に関する取組の情報共有・促進等を図っていきます。



▲ 中国ブロック発注者協議会第5回幹事会
(平成22年7月6日)

④地域の基幹産業である建設業の支援

○地元本店限定工事及び地元企業活用促進型総合評価方式工事の拡大等による競争参加機会の確保

- ・地元企業は、地域経済や雇用及び災害時の対応など地域に多面的な貢献をしていることから、以下の取組みにより地場産業の育成を図り、地域の活性化及び景気浮揚を期待するものです。

- ◇ 本店限定工事の積極的実施(一般土木、維持修繕工事、法面工事等)
- ◇ 地元企業活用促進型総合評価方式の拡大

⑤その他

○広域地方計画の推進について

- ・平成 21 年 8 月に策定された「中国圏広域地方計画」に示された各プロジェクトの、推進状況の結果や基礎的指標の分析・評価、将来像の達成状況において、定性的評価や定量的評価を踏まえ総合的に当該計画を評価し、計画の推進を図ります。

中国圏広域地方計画ホームページ

http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/kokudo_keisei/index.htm

主要事業箇所一覧

事業名 事業 直轄or補助 事業主体 完成予定年度等 番号

I. 競争力のある地域経済社会の再構築

(1) 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		新規箇所要求	港-2
浜田港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-3
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
尾道糸崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-7
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-10

(2) 国内交通ネットワークの強化

一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		—	道-1
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		—	道-2
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-7
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		—	道-8
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		—	道-9
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-13
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-22
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	—	道-30
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-9

(3) 都市機能の強化

一般国道485号 松江第五大橋道路	道路	補助	島根県	H23完成予定(部分)	道-12
一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-15
一般国道2号 三原バイパス	道路	直轄		H23完成予定	道-19
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		—	道-20
一般国道2号 西広島バイパス	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-21
一般国道9号 小郡改良	道路	直轄		H23完成予定	道-25

II. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

(1) 災害の防止・軽減

菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸保全施設整備事業	海岸	直轄		—	河-3
斐伊川水系治水事業(中海湖岸堤整備)	河川	直轄		—	河-5
斐伊川水系治水事業(大橋川改修)	河川	直轄		—	河-6
斐伊川放水路事業	河川	直轄		—	河-7
江の川土地利用一体型水防災事業	河川	直轄		—	河-8
特定構造物改築事業(旭川放水路(百間川))	河川	直轄		—	河-9
旭川総合内水緊急対策事業(平井・中川町地区)	河川	直轄		—	河-10
吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	—	河-12
太田川中・上流部床上浸水対策特別緊急事業	河川	直轄		—	河-13
広島市街地の高潮対策事業	河川 海岸	直轄		—	河-14 港-6
広島西部山系直轄砂防事業	砂防	直轄		—	河-17
防府山系直轄特定緊急砂防事業	砂防	直轄		—	河-18
山口県県央部地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-19
一般国道373号 ほき詰橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-3
一般国道53号 田園町電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-5
一般国道9号 三宮高架橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-10
一般国道53号 田益第2高架橋耐震補強	道路	直轄		H23完成予定	道-16
一般国道2号 西宮トンネル補修	道路	直轄		H23完成予定	道-23

II. 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

(1) 災害の防止・軽減

一般国道191号 萩・三隅道路	道路	直轄		H23完成予定	道-26
一般国道188号 神東地区防災対策	道路	直轄		H23完成予定	道-27
一般国道2号 徳山電線共同溝	道路	直轄		—	道-29
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
広島港国際物流ターミナル改良(耐震)事業	港湾	直轄		H23完成予定	港-5

(2) 地域防災力や危機管理体制の強化

—					
---	--	--	--	--	--

(3) 水資源の安定的な確保

殿ダム建設事業	河川	直轄		H23完成予定	河-1
---------	----	----	--	---------	-----

(4) 陸上及び海上における交通安全の向上

一般国道9号 溝川交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-4
一般国道9号 久代自転車歩行者道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-11
一般国道180号 種井歩道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-17
一般国道185号 的場自転車歩行者道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-24
一般国道188号 通津交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-28
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-1
浜田港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-3

III. 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造

瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

斐伊川総合水系環境整備事業(中海・宍道湖浄化事業)	河川	直轄		—	河-4
吉井川総合水系環境整備事業(吉井川自然再生事業)	河川	直轄		—	河-11
芦田川総合水系環境整備事業(芦田川下流箇所)	河川	直轄		H23完成予定	河-15
江の川総合水系環境整備事業(三川合流部箇所)	河川	直轄		—	河-16
国営備北丘陵公園	都市	直轄		—	都-1
広島湾再生プロジェクト					他-1

IV. 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

(1) 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

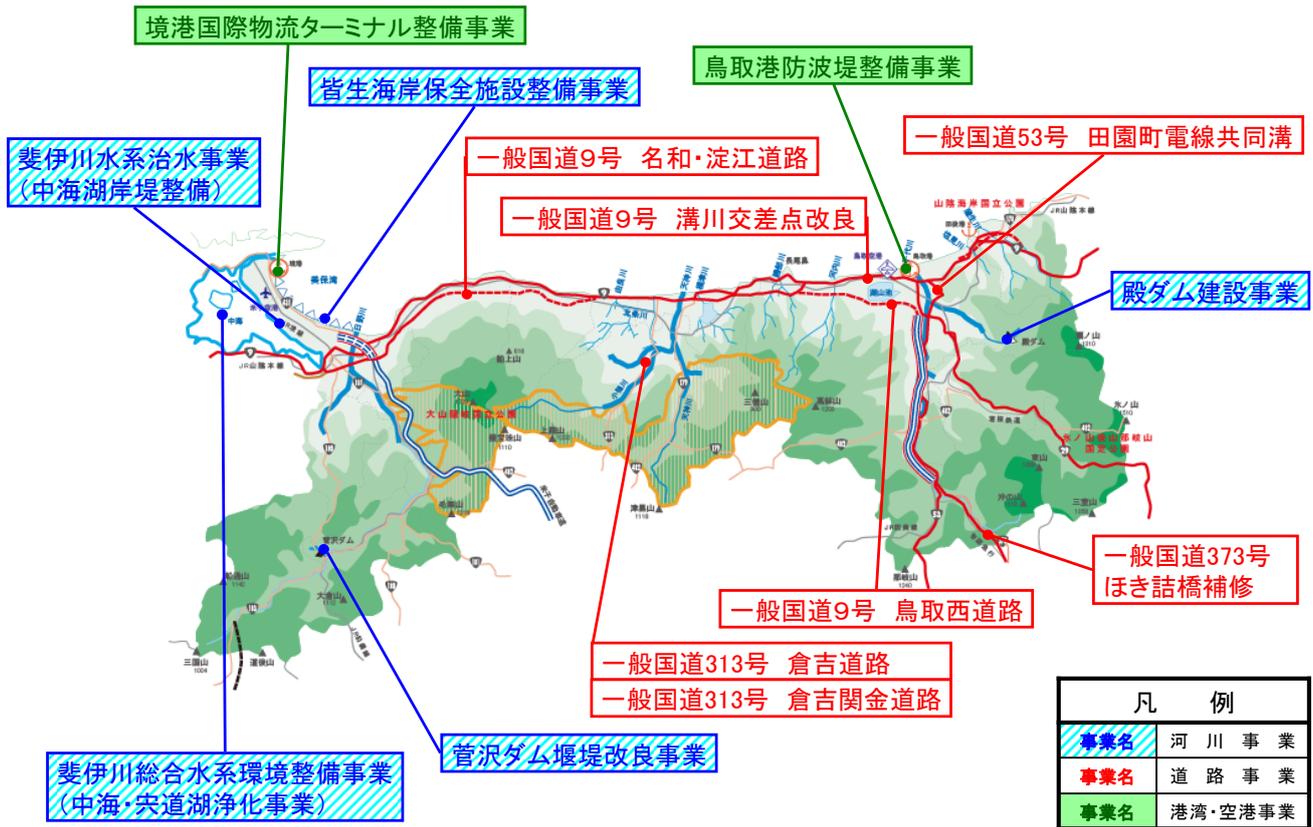
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		—	道-1
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		—	道-2
一般国道313号 倉吉道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-6
一般国道313号 倉吉関金道路	道路	補助	鳥取県	新規箇所要求	道-6
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-7
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		—	道-8
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		—	道-9
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-13
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		—	道-14
一般国道374号 湯郷勝央道路	道路	補助	岡山県	—	道-18
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-22

(2) 広域観光の促進

岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		—	港-11
しまなみ・山陰・広島地域の観光圏					他-2

4.主要事業箇所

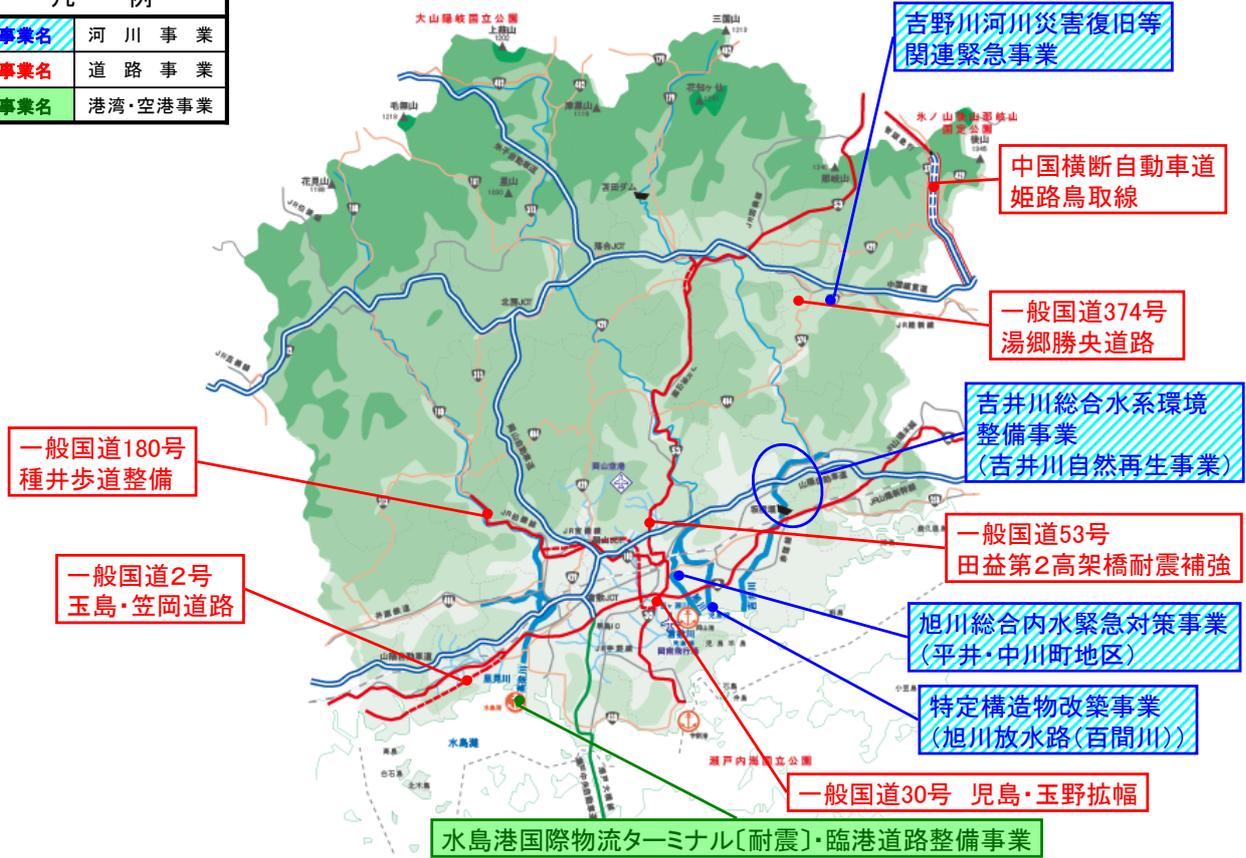
主要事業箇所【鳥取県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
殿ダム建設事業	河川	直轄		H23完成予定	河-1
菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸保全施設整備事業	海岸	直轄		—	河-3
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖浄化事業）	河川	直轄		—	河-4
斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）	河川	直轄		—	河-5
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		—	道-1
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		—	道-2
一般国道373号 ほき詰橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-3
一般国道9号 溝川交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-4
一般国道53号 田園町電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-5
一般国道313号 倉吉道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-6
一般国道313号 倉吉関金道路	道路	補助	鳥取県	新規箇所要求	道-6
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		新規箇所要求	港-2

主要事業箇所【岡山県】

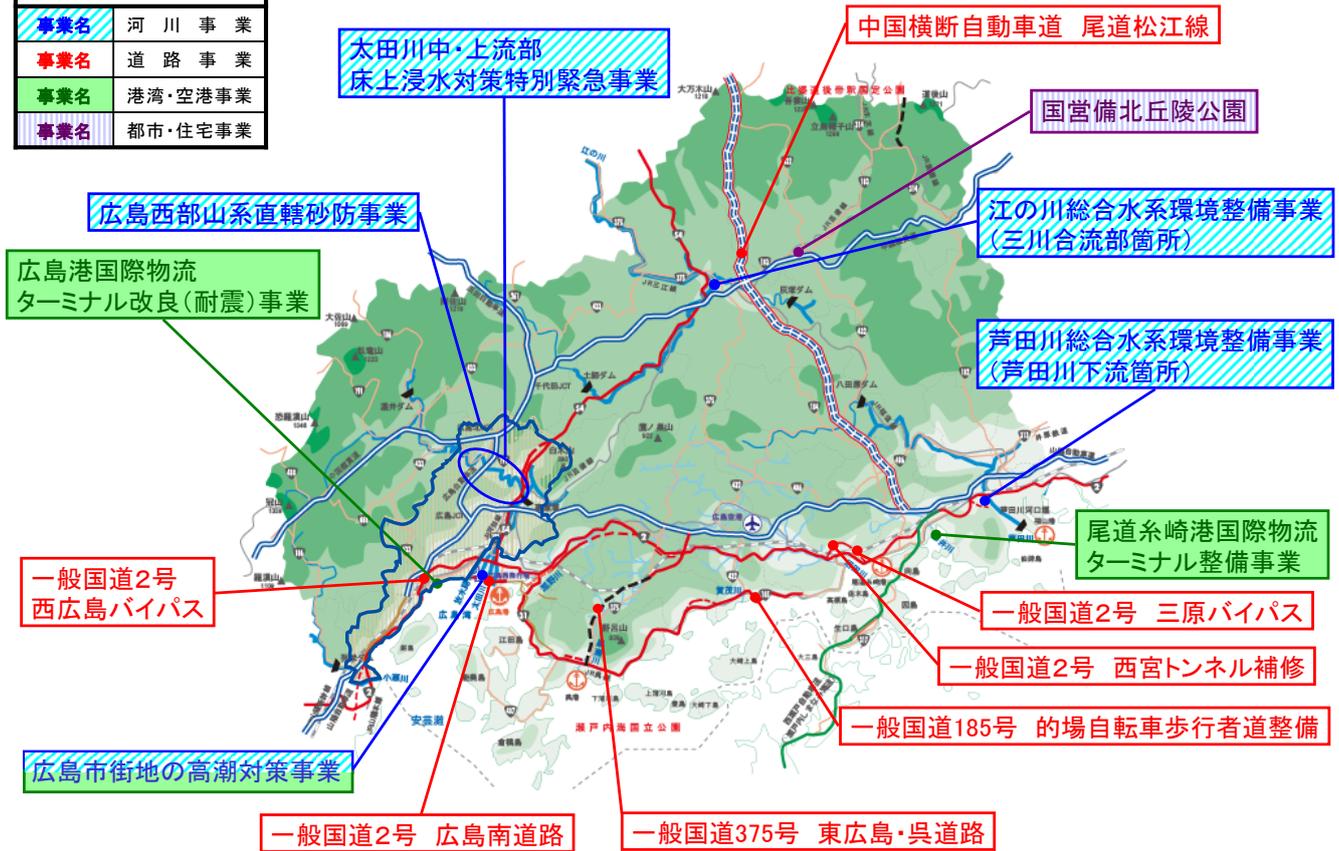
凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
特定構造物改築事業(旭川放水路(百間川))	河川	直轄		—	河-9
旭川総合内水緊急対策事業(平井・中川町地区)	河川	直轄		—	河-10
吉井川総合水系環境整備事業(吉井川自然再生事業)	河川	直轄		—	河-11
吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	—	河-12
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-13
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		—	道-14
一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-15
一般国道53号 田益第2高架橋耐震補強	道路	直轄		H23完成予定	道-16
一般国道180号 種井歩道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-17
一般国道374号 湯郷勝央道路	道路	補助	岡山県	—	道-18
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4

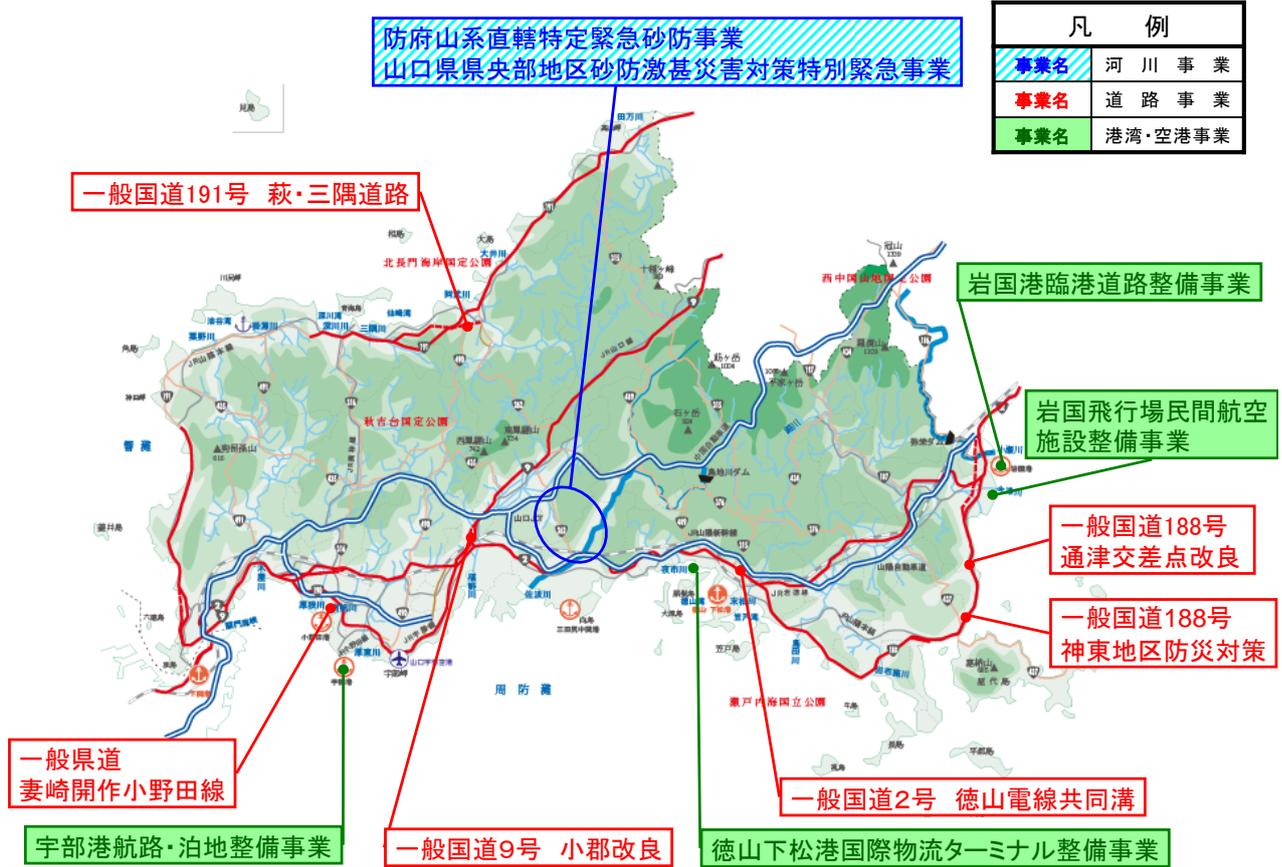
主要事業箇所【広島県】

凡 例	
事業名	河川事業
事業名	道路事業
事業名	港湾・空港事業
事業名	都市・住宅事業



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
太田川中・上流部床上浸水対策特別緊急事業	河川	直轄		—	河-13
広島市街地の高潮対策事業	河川 海岸	直轄		—	河-14 港-6
芦田川総合水系環境整備事業 (芦田川下流箇所)	河川	直轄		H23完成予定	河-15
江の川総合水系環境整備事業 (三川合流部箇所)	河川	直轄		—	河-16
広島西部山系直轄砂防事業	砂防	直轄		—	河-17
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		—	道-7
一般国道2号 三原バイパス	道路	直轄		H23完成予定	道-19
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		—	道-20
一般国道2号 西広島バイパス	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-21
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-22
一般国道2号 西宮トンネル補修	道路	直轄		H23完成予定	道-23
一般国道185号 的場自転車歩行者道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-24
広島港国際物流ターミナル改良(耐震)事業	港湾	直轄		H23完成予定	港-5
尾道系崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-7
国営備北丘陵公園	都市	直轄		—	都-1

主要事業箇所【山口県】



事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
防府山系直轄特定緊急砂防事業	砂防	直轄		—	河-18
山口県県央部地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-19
一般国道9号 小郡改良	道路	直轄		H23完成予定	道-25
一般国道191号 萩・三隅道路	道路	直轄		H23完成予定	道-26
一般国道188号 神東地区防災対策	道路	直轄		H23完成予定	道-27
一般国道188号 通津交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-28
一般国道2号 徳山電線共同溝	道路	直轄		—	道-29
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	—	道-30
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-9
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-10
岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		—	港-11

事業別集計表

○河川事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
殿ダム建設事業	河川	直轄		H23完成予定	河-1
菅沢ダム堰堤改良事業	河川	直轄		—	河-2
皆生海岸保全施設整備事業	海岸	直轄		—	河-3
斐伊川総合水系環境整備事業（中海・宍道湖浄化事業）	河川	直轄		—	河-4
斐伊川水系治水事業（中海湖岸堤整備）	河川	直轄		—	河-5
斐伊川水系治水事業（大橋川改修）	河川	直轄		—	河-6
斐伊川放水路事業	河川	直轄		—	河-7
江の川土地利用一体型水防災害事業	河川	直轄		—	河-8
特定構造物改築事業（旭川放水路（百間川））	河川	直轄		—	河-9
旭川総合内水緊急対策事業（平井・中川町地区）	河川	直轄		—	河-10
吉井川総合水系環境整備事業（吉井川自然再生事業）	河川	直轄		—	河-11
吉野川河川災害復旧等関連緊急事業	河川	補助	岡山県	—	河-12
太田川中・上流部床上浸水対策特別緊急事業	河川	直轄		—	河-13
広島市街地の高潮対策事業	河川	直轄		—	河-14※
芦田川総合水系環境整備事業（芦田川下流箇所）	河川	直轄		H23完成予定	河-15
江の川総合水系環境整備事業（三川合流部箇所）	河川	直轄		—	河-16
広島西部山系直轄砂防事業	砂防	直轄		—	河-17
防府山系直轄特定緊急砂防事業	砂防	直轄		—	河-18
山口県県央部地区砂防激甚災害対策特別緊急事業	砂防	補助	山口県	—	河-19

※ 港-6に掲載

○道路事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
一般国道9号 鳥取西道路	道路	直轄		—	道-1
一般国道9号 名和・淀江道路	道路	直轄		—	道-2
一般国道373号 ほき詰橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-3
一般国道9号 溝川交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-4
一般国道53号 田園町電線共同溝	道路	直轄		H24完成予定	道-5
一般国道313号 倉吉道路	道路	補助	鳥取県	H24完成予定(部分)	道-6
一般国道313号 倉吉関金道路	道路	補助	鳥取県	新規箇所要求	道-6
中国横断自動車道 尾道松江線	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-7
一般国道9号 仁摩・温泉津道路	道路	直轄		—	道-8
一般国道9号 浜田・三隅道路	道路	直轄		—	道-9
一般国道9号 三宮高架橋補修	道路	直轄		H23完成予定	道-10
一般国道9号 久代自転車歩行者道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-11
一般国道485号 松江第五大橋道路	道路	補助	島根県	H23完成予定(部分)	道-12
中国横断自動車道 姫路鳥取線	道路	直轄		H24完成予定	道-13
一般国道2号 玉島・笠岡道路	道路	直轄		—	道-14
一般国道30号 児島・玉野拡幅	道路	直轄		H24完成予定	道-15
一般国道53号 田益第2高架橋耐震補強	道路	直轄		H23完成予定	道-16
一般国道180号 種井歩道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-17
一般国道374号 湯郷勝央道路	道路	補助	岡山県	—	道-18
一般国道2号 三原バイパス	道路	直轄		H23完成予定	道-19
一般国道2号 広島南道路	道路	直轄		—	道-20
一般国道2号 西広島バイパス	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-21
一般国道375号 東広島・呉道路	道路	直轄		H23完成予定(部分)	道-22
一般国道2号 西宮トンネル補修	道路	直轄		H23完成予定	道-23
一般国道185号 的場自転車歩行者道整備	道路	直轄		H23完成予定	道-24
一般国道9号 小郡改良	道路	直轄		H23完成予定	道-25
一般国道191号 萩・三隅道路	道路	直轄		H23完成予定	道-26
一般国道188号 神東地区防災対策	道路	直轄		H23完成予定	道-27
一般国道188号 通津交差点改良	道路	直轄		H23完成予定	道-28
一般国道2号 徳山電線共同溝	道路	直轄		—	道-29
一般県道 妻崎開作小野田線	道路	補助	山口県	—	道-30

○港湾・空港整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
鳥取港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-1
境港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		新規箇所要求	港-2
浜田港防波堤整備事業	港湾	直轄		—	港-3
水島港国際物流ターミナル[耐震]・臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-4
広島港国際物流ターミナル改良(耐震)事業	港湾	直轄		H23完成予定	港-5
広島市街地の高潮対策事業	海岸	直轄		—	港-6※
尾道糸崎港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-7
徳山下松港国際物流ターミナル整備事業	港湾	直轄		—	港-8
岩国港臨港道路整備事業	港湾	直轄		—	港-9
宇部港航路・泊地整備事業	港湾	直轄		—	港-10
岩国飛行場民間航空施設整備事業	空港	直轄		—	港-11

※ 河-14に掲載

○都市・住宅整備事業

事業名	事業	直轄or補助	事業主体	完成予定年度等	番号
国営備北丘陵公園	都市	直轄		—	都-1

○その他

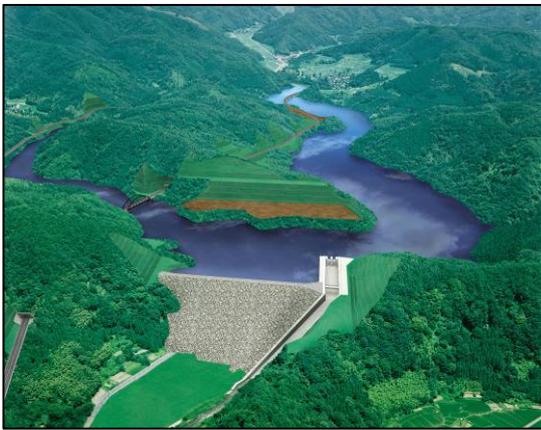
施策名	番号
広島湾再生プロジェクト	他-1
しまなみ・山陰・広島地域の観光圏	他-2

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 安定的な水資源の確保

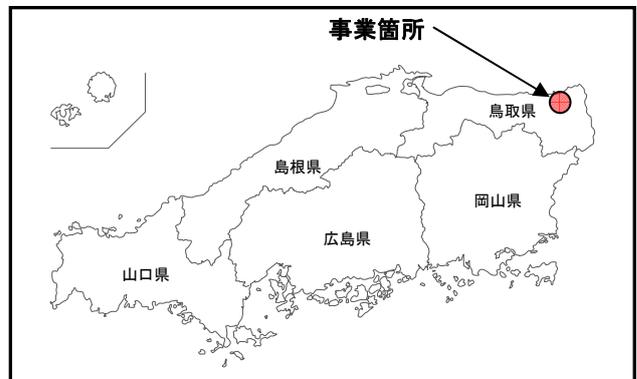
完成予定

殿ダムは、洪水防御とあわせて都市用水の安定的な供給に向けて、平成23年度の完成を目指し事業を推進します。

平成23年度は、完成へ向けダム本体関連工事、試験湛水を実施予定。



殿ダム完成イメージ



ダムサイト状況(下流より)(H22.8)



なわしろやまさき
市道付替道路工事(楠城山崎線)

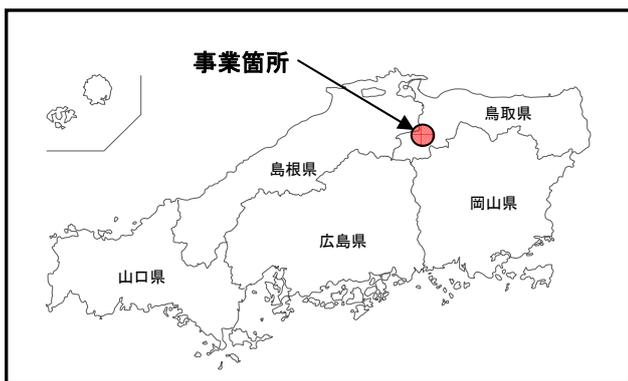
期待される整備効果

- ・洪水の調節 ダム地点の計画高水流量 $400\text{m}^3/\text{s}$ のうち $250\text{m}^3/\text{s}$ を調節
- ・ダム下流の既得用水の安定取水及び河川環境の保全等のための流量の確保
- ・水道水の確保 鳥取市に最大 $20,000\text{m}^3/\text{日}$ を新たに供給
- ・工業水の確保 鳥取県に最大 $30,000\text{m}^3/\text{日}$ を新たに供給
- ・発電 鳥取県袋川発電所で最大 $1,100\text{kW}$ を発電

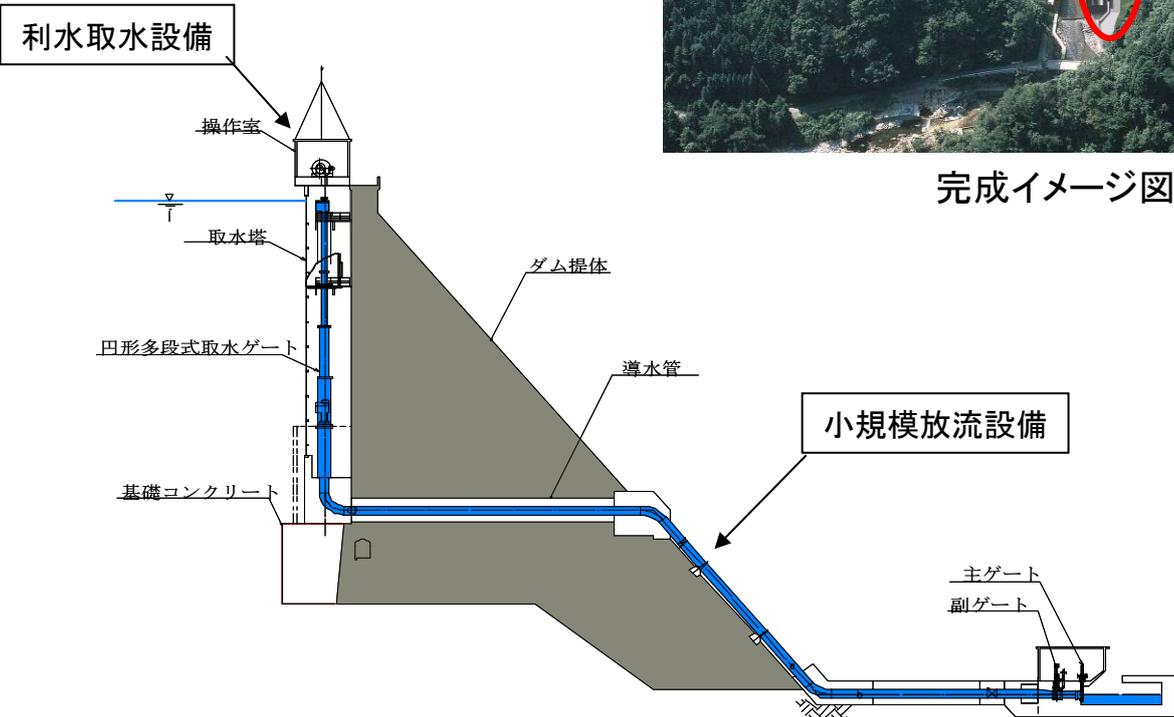
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

菅沢ダムは管理移行後、40年あまりが経過し、ダム設備の老朽化等に伴いダムの機能確保、適正管理に支障をきたし、対策が必要となったため、平成14年度から堰堤改良事業を行っています。平成23年度は、小規模放流設備工及び利水取水設備工を継続して推進します。



完成イメージ図



期待される整備効果

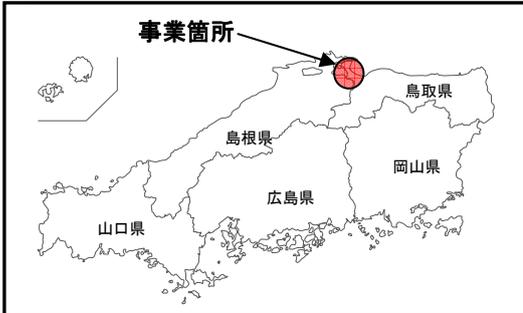
施設改良により取水放流能力を向上させ、洪水調節操作の円滑化及び日野川下流への安定的な利水補給を行い、適正かつ効率的な貯水池運用を図ります。

かいけ 皆生海岸保全施設整備事業

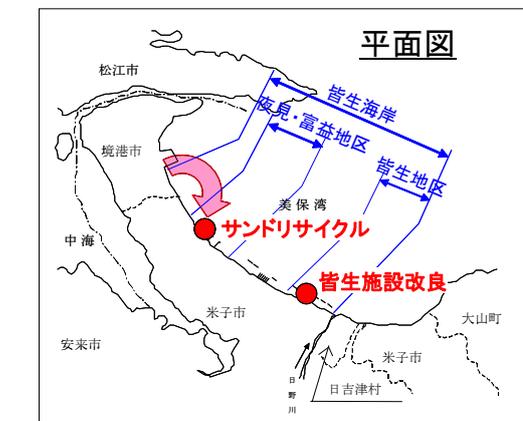
河-3

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進



かいけ
皆生海岸の侵食対策として、皆生地区の老朽化（崩壊・沈下）した離岸堤の機能回復とあわせて沖合侵食の軽減を図るため施設改良（人工リーフ化）を実施します。また、富益地区^{とみます}において、侵食により汀線後退した箇所へ土砂を戻すサンドリサイクルを実施します。



かいけ
皆生地区における施設改良（人工リーフ化）

施設改良(1基目) 【H17年度完成】

施設改良(2基目) 【H23年度完成予定】

施設改良(人工リーフ化)を推進

(凡例)

- 平成22年度以前整備箇所
- 平成23年度整備箇所
- 平成24年度以降整備箇所

海水浴客で賑わう皆生海岸



施設改良の効果



期待される整備効果

- ・機能が低下している皆生地区の海岸保全施設の機能回復を図り、海岸侵食による被害を防止します。また、水平線が見渡せるなど景観改善や、波打ち際の勾配が緩くなることで海水浴等の利用がしやすくなるといった効果も期待できます。
- ・白砂青松の豊かな自然が残る富益地区^{とみます}において、海岸侵食による汀線後退の軽減を図るとともに、利用者が安心して快適に利用できる自然豊かな砂浜を保全します。

ひいかわ
斐伊川総合水系環境整備事業
 なかうみ しんじこ
(中海・宍道湖浄化事業)

河-4

● **多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造**
 ○ **瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり**

事業推進

中海・宍道湖は日本有数の規模を誇る汽水域で、魚介類や渡り鳥の生息場として重要な環境でありラムサール条約の登録湿地となっています。

このような中海・宍道湖において、湖沼の水環境の改善を目指して浄化事業を行っています。

平成23年度は、市民や研究機関等と連携した宍道湖でのヨシ帯・砂浜の再生及び中海での浅場再生を継続し実施します。

整備前

宍道湖や中海の殆どが人工湖岸です。
 (事例:宍道湖のコンクリート護岸)

整備後

整備箇所の浅場ではヨシを再生 市民参加によりヨシの植栽を実施
 (宍道湖整備箇所) (宍道湖植栽風景)

再生した浅場では魚介類の増加が見られる
 (中海浅場再生)

事業箇所

鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県

日本海 大橋川 境水道 美保湾 中海 宍道湖 伊木川・宍道湖流域 斐川 赤川

期待される整備効果

浅場の造成によって、ヨシ帯や藻場など湖岸域の浅場環境が再生し、自然が本来もつ浄化機能を回復して水質浄化を図ります。
 アオコや赤潮の発生抑制によって湖岸の景観も向上するほか、親水性の向上など地域の人々等の憩いの場としての機能が向上します。

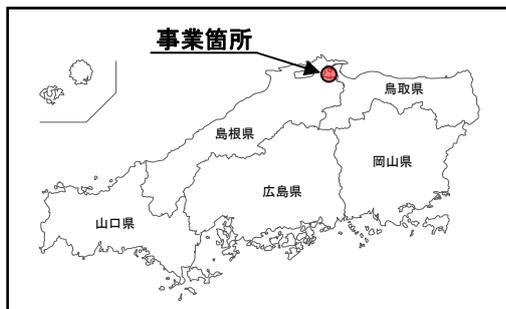
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

なかうみ

中海では過去から高潮等による浸水被害が発生しています。特に近年の平成14年、15年、16年と続いた高潮や越波による浸水被害箇所は湖岸堤が未整備箇所において顕著となっているため、当面は湖岸堤高がHP+1.44m未満であり、過去に越水による浸水実績がある若しくは背後資産の価値が極めて高い箇所の湖岸堤整備を推進します。

平成23年度は、近年高潮で浸水被害を受けている境港市渡地区、米子市葭津地区（以上鳥取県）、松江市野原地区（島根県）などで湖岸堤整備を推進します。



期待される整備効果

湖岸堤整備により、平成15年に発生した観測史上最大の高潮による浸水被害や台風時期の波浪による被害を軽減します。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
 ○災害の防止・軽減

事業推進

おおはしがわ まつえ
 大橋川沿川の松江市は、昭和47年、平成18年に浸水し、交通網が麻痺するなど度々大きな被害が発生し、改修が必要となっています。しかし、「大橋川改修」は、大橋川が島根県の県庁所在地である松江市街地の中心部を貫流していることから、国際文化観光都市である松江市にふさわしい景観となることにも配慮するとともに、汽水環境にも配慮し、実施する必要があります。

これまでに、「大橋川改修技術検討懇談会」、「大橋川周辺まちづくり検討委員会」、「大橋川改修に関する環境検討委員会」などの委員会において議論をいただき、大橋川改修の進め方及び松江大橋の取扱いについて助言いただくとともに、沿川の景観形成に関する整備方針、周辺まちづくり基本計画の策定や環境調査最終取りまとめを行いました。さらに「斐伊川河川整備懇談会」において議論をいただき、河川整備計画の案を公表、島根・鳥取両県に意見照会し、了解を得たところです。今後、整備計画を策定し、大橋川改修に着手します。



大橋川改修事業の経緯

- 平成16年12月：大橋川改修の具体的内容の公表
 （平成18年 7月洪水：松江市街地で1,207戸浸水）
- 平成20年 9月：大橋川改修技術検討懇談会により、大橋川改修の進め方及び松江大橋の取扱いについて助言
- 平成21年 2月：大橋川改修事業環境調査最終とりまとめの公表
- 平成21年 3月：大橋川周辺まちづくり基本計画の策定
- 平成21年 3月：斐伊川水系河川整備基本方針改定
- 平成21年 7月：「斐伊川水系河川整備計画（国管理区間）」策定に向けて斐伊川河川整備懇談会を設立
- 平成21年12月：大橋川着工同意の協定書を締結
- 平成22年 3月：斐伊川水系河川整備計画原案公表
- 平成22年 6月：斐伊川水系河川整備計画案公表



期待される整備効果

上流ダム・放水路の完成と併せ、大橋川改修を行うことにより、戦後最大の被害をもたらした昭和47年7月洪水が再び発生した場合でも、家屋の浸水被害の発生を防止します。



- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

ひいかわ 斐伊川水系治水事業の3点セット(上流のダム建設、中流の放水路建設と本川改修、下流の大橋川改修と中海・宍道湖の湖岸堤整備)の一つである「斐伊川放水路事業」は、斐伊川の洪水の一部を直接日本海へ分流するものであり、平成20年代前半の完成を目指し事業を推進中です。

平成23年度は、分流堰工事を推進するとともに、拡幅部での掘削・低水護岸工事等、開削部での掘削工事等を推進します。



期待される整備効果

斐伊川治水事業3点セットの完成により、宍道湖周辺をはじめ島根県東部において甚大な被害をもたらした昭和47年7月や平成18年7月の洪水と同規模の洪水による浸水被害を解消します。

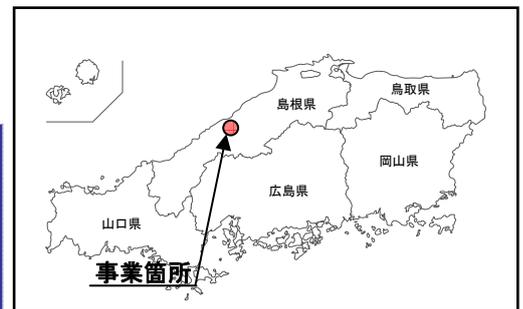
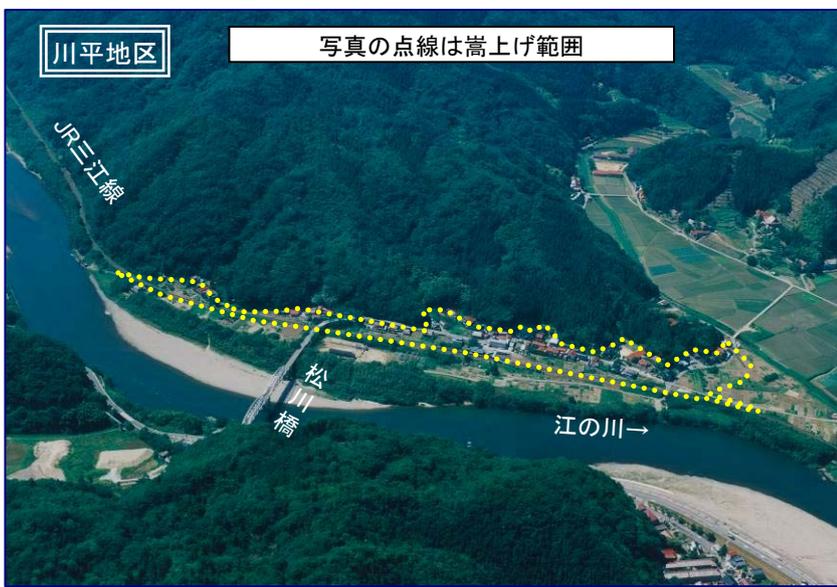
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

家屋浸水が頻発している地域の特定区間で、連続堤防を建設するよりも経済的で、かつ、地域の意向を踏まえた恒久的治水対策として計画される場合、集落を輪中堤や宅地嵩上げ等で洪水から防御する治水対策を実施しています。

川平地区は引き続き事業を推進します。

山間狭窄部・無堤地区の早期対策



土地利用一体型水防災事業と従来の河川改修事業の関係(イメージ図)



- ・浸水区域での住居建築等の規制
→ 災害危険区域として指定
- ・家屋の治水対策
→ 輪中堤や宅地嵩上げ

期待される整備効果

江の川の山間狭窄部、無堤部は過去幾多の洪水被害に見舞われており、家屋浸水回避と土地利用の観点から輪中堤及び宅地嵩上げにより、早期に被害軽減を図ることが可能となります。

あさひかわ ひゃっけん がわ
特定構造物改築事業（旭川放水路（百間川））

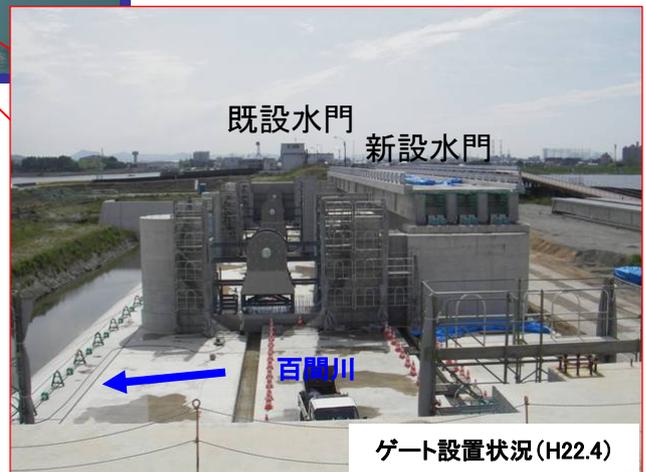
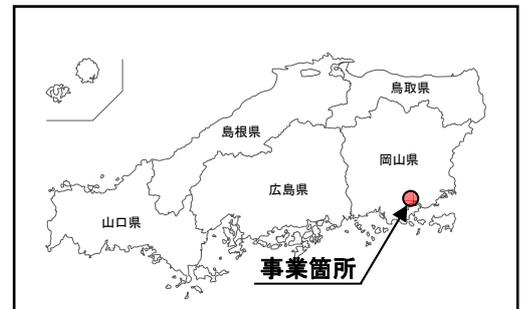
河-9

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

旭川放水路河口は、川幅に比べ水門幅が狭く、流下能力が著しく阻害されている状況にあり、放水路全川でみても極めて流下能力が低い状態となっています。

このため、平成20年代前半の完成を目指し、百間川「河口水門」の増設を推進します。平成23年度は、水門本体工を推進します。



期待される整備効果

河口水門を増設することにより、洪水時の百間川の水位を大幅に下げることによって所定の流下能力を確保向上します。

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

旭川の支川倉安川流域では、昭和51年9月洪水により1,160戸にも及ぶ大きな浸水被害が発生し、近年においても度々浸水被害が発生しています。

このため、河川管理者と地方公共団体とが協力して、排水機場、河川改修、調整池、その他関連する雨水排水対策施設の整備等のハード対策及び流域における流出抑制策、低地における土地利用規制策等のソフト対策を重層的に実施し、総合的な治水対策を推進します。平成23年度は、平井排水機場のポンプ増設を推進します。



期待される整備効果

排水ポンプの増設により昭和47年7月規模の洪水時に床上浸水の被害を解消することができます。

吉井川総合水系環境整備事業 (吉井川自然再生事業)

河-11

- 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
- 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

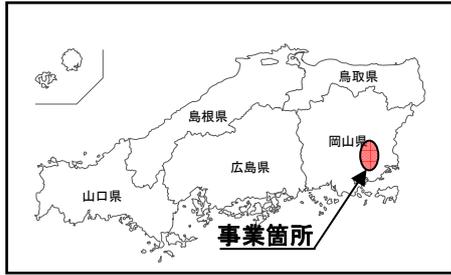
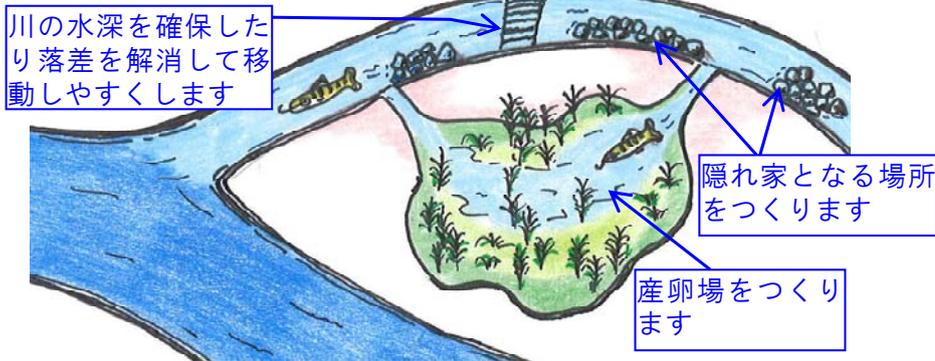
事業推進

国の天然記念物に指定されているアユモドキは、かつて岡山県内で広く生息していましたが、近年著しく減少しています。吉井川は全国で初めて自然産卵場所が特定され、辛うじて維持されている環境を、専門家や地域が一体となって保全する取組みが行われています。

アユモドキは繁殖のため、一時的水域と河川から用水路、水田等を自由に移動できる連続性が必要だと言われています。吉井川を管理する国土交通省では、市民や関係行政機関等と連携したエコロジカルネットワークの整備を推進しています。

平成23年度は、アユモドキの繁殖条件をモニタリングしながら、より効果的な産卵場所及び移動経路となる水路の整備を推進します。

整備のイメージ



期待される整備効果

産卵場や移動経路の整備によって、アユモドキの生息・繁殖環境が向上し、絶滅の危機から守ります。

アユモドキの生息環境の悪化



工作物による移動の妨げ 魚の隠れ家の減少 外来種による捕食

アユモドキとは

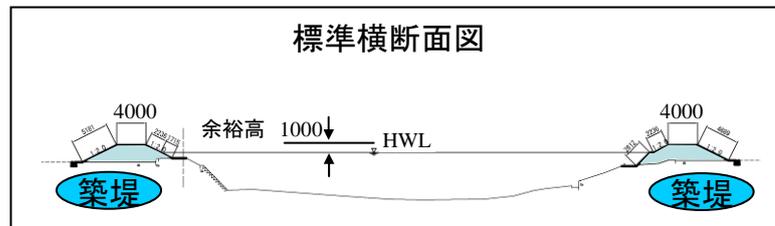
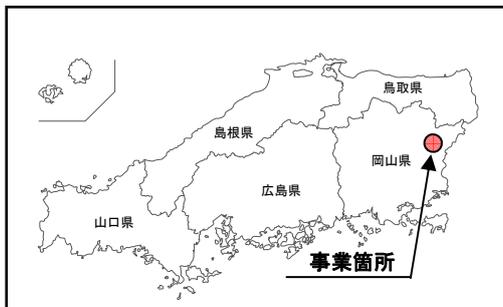
アユモドキはドジョウのなかま
で、形や色がアユに似ていること
から、この名前がつけました。
琵琶湖淀川水系と岡山県の旭川・
吉井川水系だけに分布する種です。

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

平成21年8月の台風9号により、一級河川吉野川及び、支川^{やまや}山家川が氾濫し家屋浸水などの被害が発生しました。

このため、特に被害の大きかった支川山家川については、河川災害復旧助成事業による改良復旧に着手し、吉野川^{みまさか ひらた えみ}(美作市平田～江見地区)については、山家川の流量増加量へ対応した一連の整備を行うため、河川災害復旧等関連緊急事業の採択をうけて、平成21年度から重点的な整備に着手しました。平成23年度は引き続き堤防嵩上げ等を推進します。



期待される整備効果

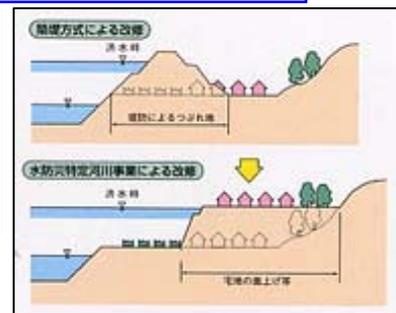
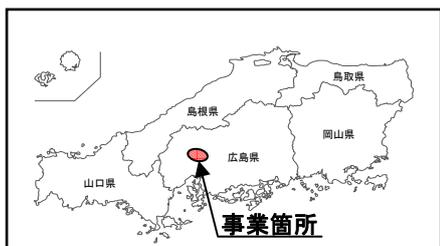
平成21年8月の台風9号と同規模の出水に対して、浸水被害の軽減が図られます。

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

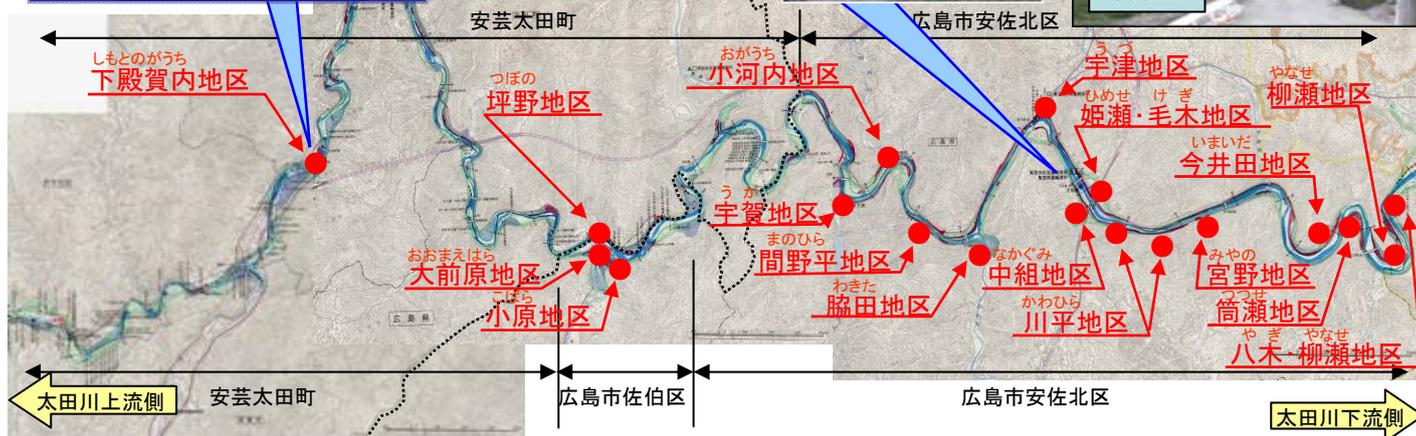
事業推進

平成17年9月の台風14号により家屋浸水被害が発生した地域で、床上浸水被害等の生じた18地区において、平成23年度の完成を目指し事業を推進します。

山間狭窄部・無堤地区の早期対策



輪中堤による改修イメージ



期待される整備効果

平成17年9月の台風14号により、太田川では昭和47年7月の洪水を上回る戦後最大の水位を記録した洪水が発生し、太田川の中・上流部において大きな浸水被害が発生したため、土地利用と一体となった治水対策により、早期に被害軽減を図ります。

家屋浸水被害の解消：157戸（内、床上浸水116戸・床下浸水41戸）、60ha

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

広島デルタに発達した広島市街地は、高潮による浸水被害を受けやすく、さらには大規模な地震による液状化により既存施設が被害を受けた場合には甚大な被害が発生します。このため、広島市街地を守ることを目的として、市、県、国が連携して高潮対策事業を実施しています。

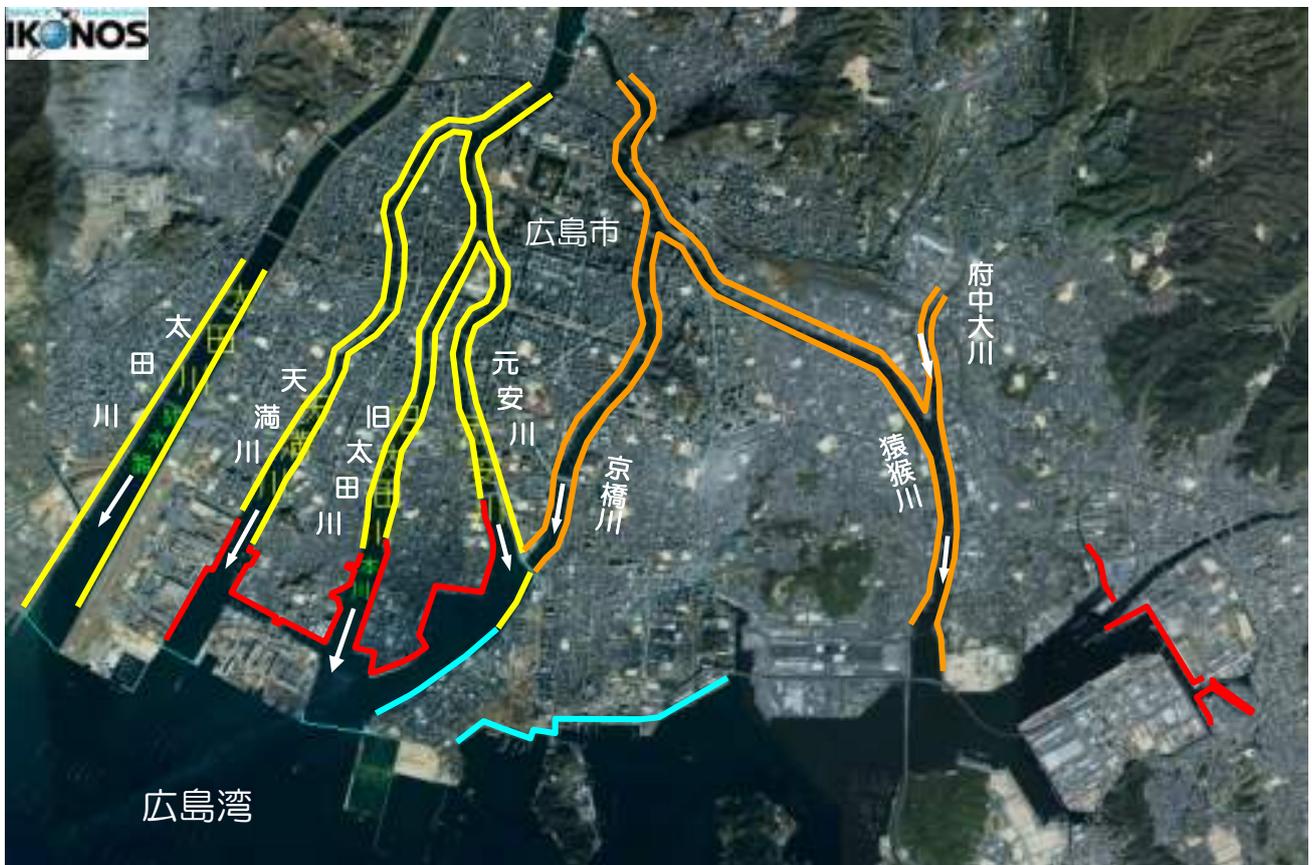
なお、早期に事業を完成させるため、河川区域内においては河川事業により、港湾区域内においては海岸事業により高潮対策事業を推進します。



凡例:

河川直轄整備区間	黄色線
河川補助計画区間	オレンジ線
海岸直轄計画区間	赤線
海岸補助計画区間	水色線

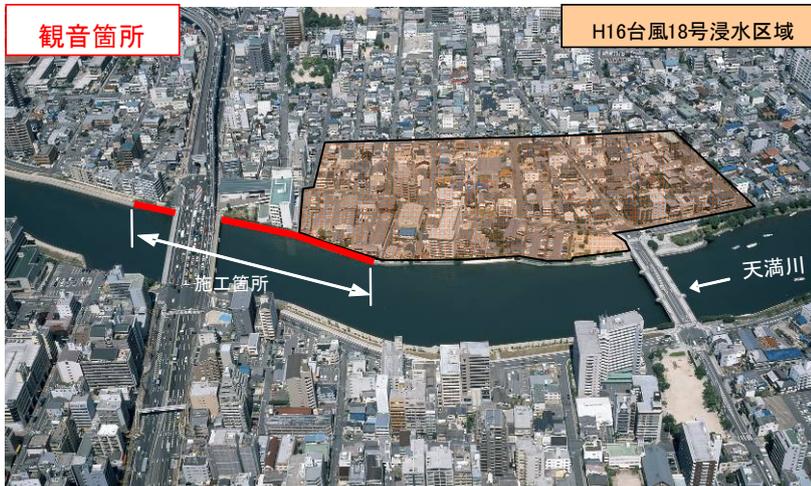
注)河川・海岸補助は、社会資本整備総合交付金へ移行



河川事業区間について

広島市街地は、平成3年、平成11年、平成16年(観測史上最高潮位TP.+2.96mを記録)に高潮被害を経験しているため、計画高潮位(TP+4.40m)対応の堤防整備を推進します。

◆^{てんまがわ}天満川では引き続き^{かんおん}観音箇所の高潮対策事業を推進します。



海岸事業区間について

広島港海岸は、過去から再々台風による高潮被害を受けており、平成16年の台風でも大規模な高潮被害を受けました。また、切迫した^{とうなんかい}東南海・^{なんかい}南海地震被害を防止する必要があります。

海岸事業区間については、平成23年度は^{みなみかんおん}南観音箇所、^{えぼ}江波箇所、^{よししま}吉島箇所、^{ふなこし}船越箇所、^{やの}矢野箇所の高潮対策事業を推進します。



期待される整備効果

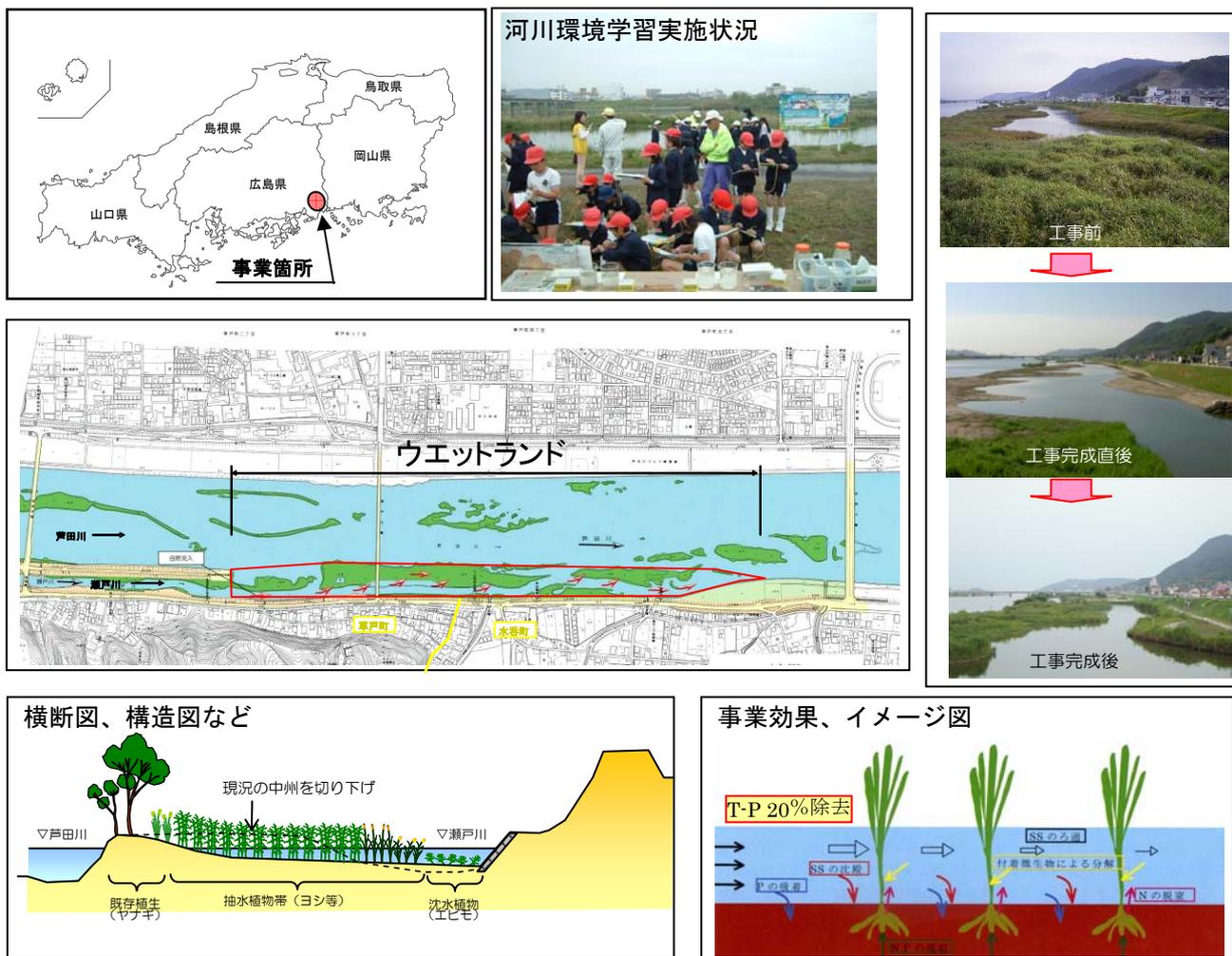
- ・河川・港湾海岸が一体となって高潮対策を実施することにより、広島市街地に大きな浸水被害をもたらした、平成16年の高潮が再び発生した場合にも浸水被害の発生を防ぐことができます。
- ・大規模地震による液状化及び津波から市民の生命と資産を守り、誰もが安全に安心して暮らせる地域が実現します。

- 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
- 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

完成予定

芦田川水系芦田川は、下流域に人口46万人の福山市があり沿川の都市化が進んでいる。しかし、流域の下水道整備率が34.6%(H19末)と立後れ、生活雑排水等が河川に流入し水質汚濁が著しく中国地方の一級河川の中で、37年間ワースト1位、全国でもワースト7位となっている。

このことから、支川流入負荷対策を目的として瀬戸川との合流部へウエットランドを整備することにより、支川の負荷量を効率的に削減し、良好な水環境の創出を図る。



期待される整備効果

瀬戸川などからの流入負荷を削減するとともに、浅場など健全な水辺環境の創出により、下流域の水質浄化、水環境改善に資するとともに、河川環境学習の場として活用が可能となる。

- 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
- 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

事業推進

広島県三次市は、江の川、馬洗川、西城川が三方から巴状に合流した中心に市街地が形成されています。三川が合流する自然豊かな眺望、伝統的な鵜飼を拠点とした水辺のにぎわい、歴史・文化あふれる三次町の街なみといった魅力ある観光拠点をさらに活かしていくため、三次市では、「かわまちづくり支援制度」を利用し、三川を中心に水辺の魅力を引き出し、自然とふれあう地域交流の場としていく「かわづくり」と「まちづくり」が一体となったまちづくりを行うこととしています。

河川管理者である国土交通省では、河川管理施設の整備にあわせて、三次市及び地域と連携し、安全・安心して利用できる水辺整備を推進します。



期待される整備効果

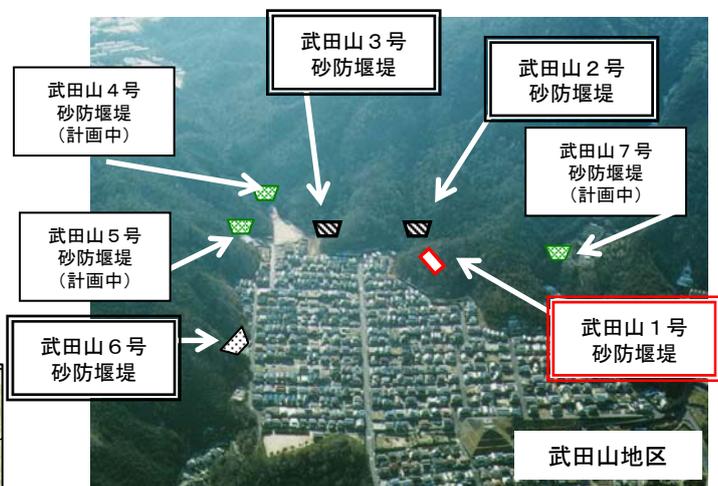
平成23年度は、三次市の街灯整備にあわせて、河川利用の安全性の確保と景観の向上を目的として、三川合流部の護岸整備を行います。これにより、日常の利用や鵜飼いや花火大会などで地域の方々や観光客の方々が安全に安心して河川空間を利用することができるようになります。

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

広島西部山系では、平成11年6月29日に発生した大規模な土砂災害を契機として、平成13年度から直轄砂防事業に着手しており、土砂災害から人命や資産及び主要交通網(山陽自動車道、山陽新幹線等)を保全することを目的とした事業を展開しています。

平成23年度は、武田山地区や土石流被害を被った赤土地地区、綾ヶ谷地区などで砂防施設の整備を推進します。



期待される整備効果

中国地方の中心的都市である広島市等において、ハード・ソフト両面から土砂災害対策を集中的かつ強力に推進し、人家等を土砂災害から保全することを目指します。

- (凡例)
- ▨ 平成21年度以前完成
 - ▧ 平成22年度完成予定
 - ▩ 平成23年度整備予定
 - ▦ 計画中

ほうふ さんけい
防府山系直轄特定緊急砂防事業

河-18

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

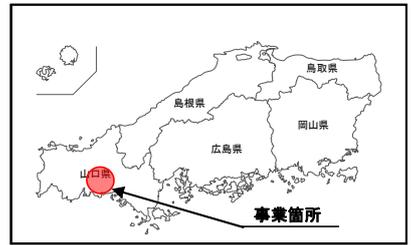
事業推進

平成21年7月の梅雨前線豪雨により、山口県防府市を中心とする地域において同時多発的な土石流が発生し、19名※の方々が犠牲となるなど地域社会に甚大な被害を及ぼしました。

このため、平成21年度の直轄砂防災災害関連緊急事業に引き続き、特に甚大な被害を受けた剣川・上田南川・奈美川(松ヶ谷川)の3箇所における災害防止対策を直轄特定緊急砂防事業として、平成22年度から砂防堰堤等の整備を推進しています。

※犠牲者数は、災害関連死として認定された方々を含む。(H22.3.25現在)

-  : 直轄災害関連緊急事業として整備している砂防堰堤
-  : 直轄特定緊急砂防事業として砂防施設を整備する箇所
-  : 平成21年7月21日発生の土石流発生箇所



山口市

防府市

剣川

奈美川 (松ヶ谷川) 箇所

上田南川箇所

素川箇所

神皇川箇所

佐波川

一般国道262号

一般国道2号

老人ホームを直撃した上田南川の土石流

大量の流木により奈美川が閉塞し、団地内の道路を濁流が流れた状況

土石流により被災した上勝坂橋(国道262号)

剣川直下流での土石流被害の状況

期待される整備効果

土石流により甚大な災害が発生した箇所において、国直轄による短期・集中的な砂防施設の整備により、被災した地区の再度災害防止を図ります。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

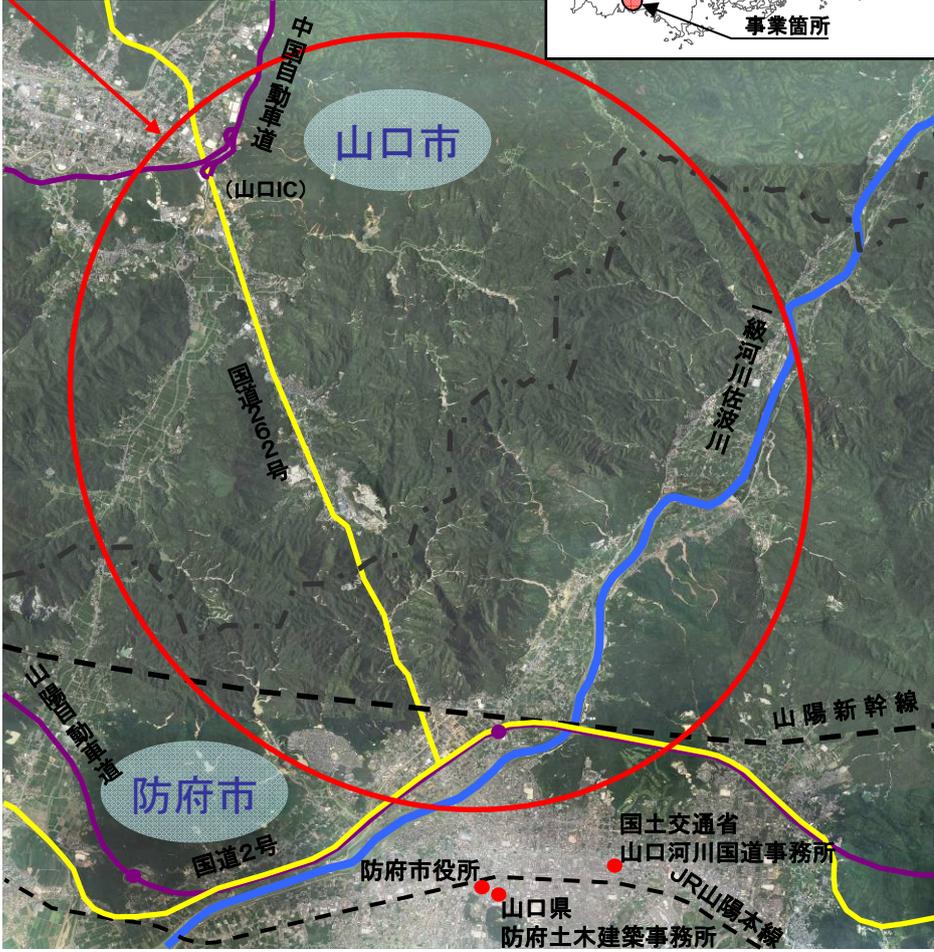
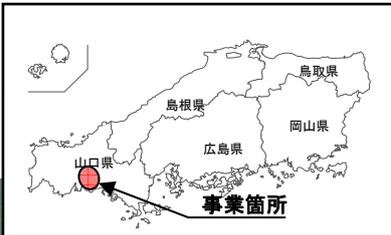
事業推進

平成21年7月の梅雨前線豪雨により、^{やまぐち}山口市・^{ほうふ}防府市において同時多発的な土砂災害が発生し、19名[※]の方々が犠牲となったのをはじめ、家屋の全壊や半壊、床上・床下浸水など甚大な被害を及ぼしました。

このため、平成21年度の災害関連緊急砂防事業に引き続き、平成22年度から平成24年度までの概ね3ヶ年で砂防堰堤等を緊急に整備する砂防激甚災害対策特別緊急事業を推進します。

※犠牲者数は、災害関連死として認定された方々を含む。(H22.3.25現在)

H22年度採択
山口県県央部地区
対象市町
山口市、防府市(2市)



平成21年7月豪雨災害による被災状況



期待される整備効果

土石流により甚大な災害が発生した箇所において、一定期間内(概ね3年)に集中投資を行い、砂防堰堤等を緊急的に整備することで、被災した地区の再度災害防止を図ります。

とっとりにし 一般国道9号 鳥取西道路

道-1

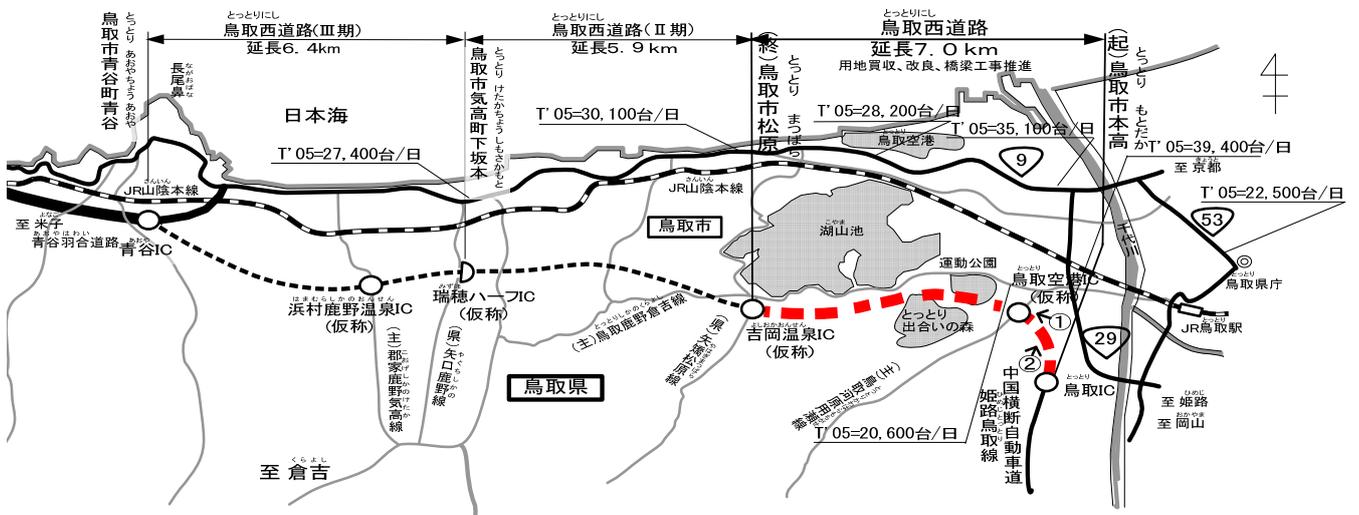
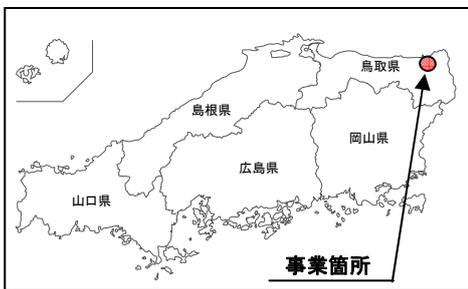
●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

一般国道9号鳥取西道路は、鳥取市内の交通混雑緩和、交通安全の確保を目的とした、鳥取市本高から同市松原に至るL=7.0kmの道路です。平成23年度は、鳥取市本高から鳥取市松原間の用地買収及び改良、橋梁工事を推進し、事業の推進を図ります。

進捗状況写真



期待される整備効果

移動時間の短縮

鳥取西道路の整備により、移動時間の短縮が図れます。そして、青谷羽合道路と連結することで、鳥取県東部地域と中部地域の交流が盛んになり、地域経済の活性化を促します。

さらに、山陰道が全線整備されますと、より広域的な産業振興や生活圏の拡大が期待されます。



※1) 鳥取市役所から米子市役所まで
※2) 鳥取駅から青谷町総合支所まで

幹線道路ネットワークの形成

鳥取西道路は、姫路鳥取線や青谷羽合道路と連携することにより、県内の幹線道路ネットワークが形成されます。これにより、中四国地方や京阪神地方との広域的な交流・連携が強化され、鳥取県東部地域の産業を活性化するとともに生活圏の拡大を促し、鳥取県の経済や文化の発展に役立つことが期待されます。



一般国道9号 名和・淀江道路

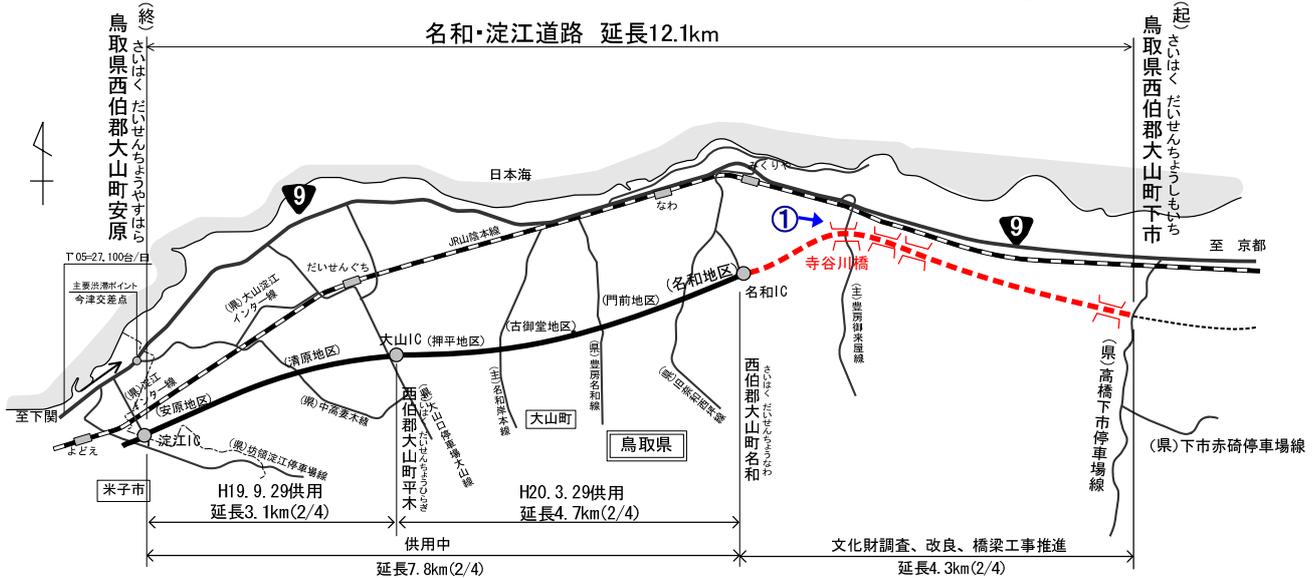
道-2

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

一般国道9号名和・淀江道路は、西伯郡大山町周辺における交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、西伯郡大山町下市から同町安原に至る延長12.1kmの道路です。
平成23年度は、文化財調査、改良、橋梁工事を推進し、事業の推進を図ります。



期待される整備効果

効果1) 『都市間の連携強化』

名和・淀江道路を含む山陰道全線整備により、県内都市間の移動時間は短縮され、地域間の連携強化が期待されます。



効果2) 『災害時の緊急輸送道路の代替機能確保』

国道9号の大山町周辺では、通行止めが発生した場合、大きな迂回を強いられます。名和・淀江道路の整備により、代替道路機能が確保され、安全で信頼性の高いネットワークが確保されます。



一般国道373号 ほき詰橋補修

道-3

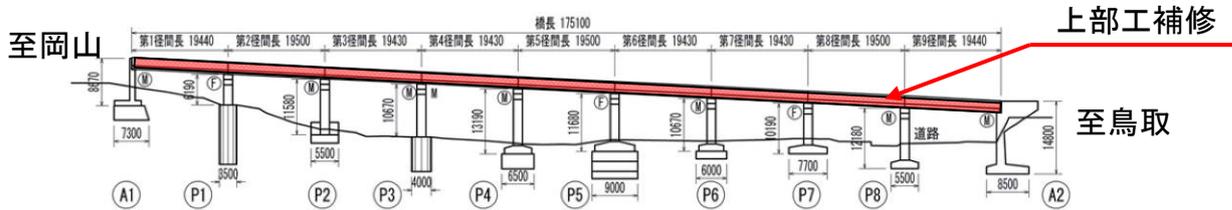
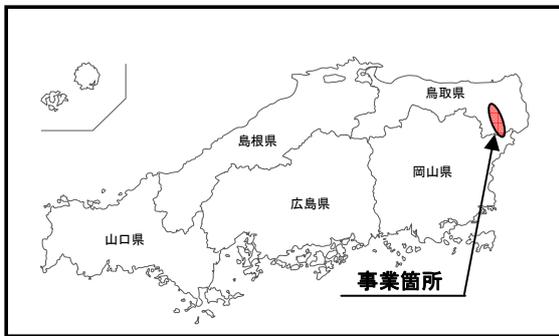
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

完成予定

ほき詰橋は橋長175m、一般国道373号鳥取県八頭郡智頭町福原に架かる橋梁で、完成から約22年が経過しています。

平成20年度の橋梁点検において、コンクリートの剥離・鉄筋露出が確認され、補修が必要と判断されました。

平成23年度は、橋梁補修工事に着手し、完成を目指します。



期待される整備効果

橋梁補修の実施により、安全で円滑な交通確保が図られ、安全・安心な生活が確保されます。

みぞかわ 一般国道9号 溝川交差点改良

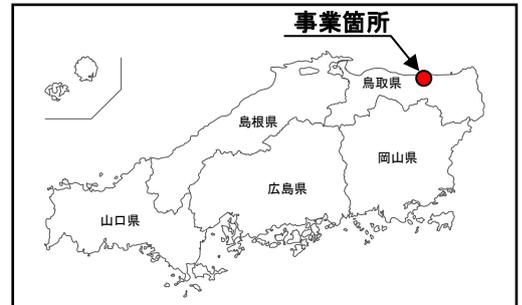
道-4

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

鳥取市伏野に位置する当該交差点は、国道9号と県道伏野覚寺線が合流する交差点です。県道伏野覚寺線への右折車線の滞留長が不足しているため渋滞が発生し、その影響により続きの単路区間で追突事故が多発し、事故危険箇所指定されています。

平成23年度は、交通事故の削減を図るため、右折車線の延伸工事に着手し、完成を目指します。



位置図



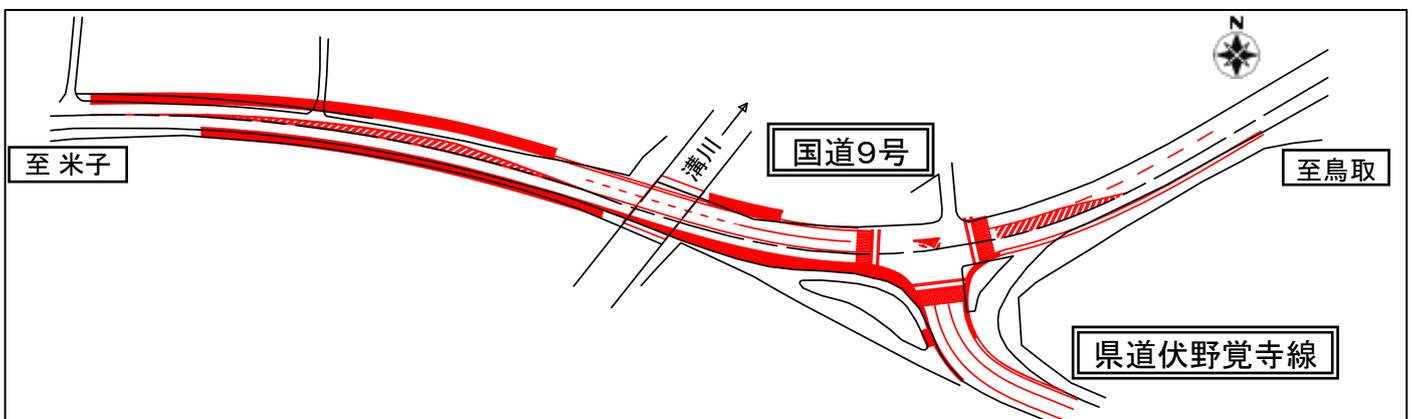
現況写真

国道9号鳥取県鳥取市溝川地内



鳥取市内方面から米子方面を望む

計画



期待される整備効果

- ・ 右折車線の延伸により、追突事故を防止し、交通事故発生の低減を図ります。

一般国道53号 田園町電線共同溝

でんえんちよう

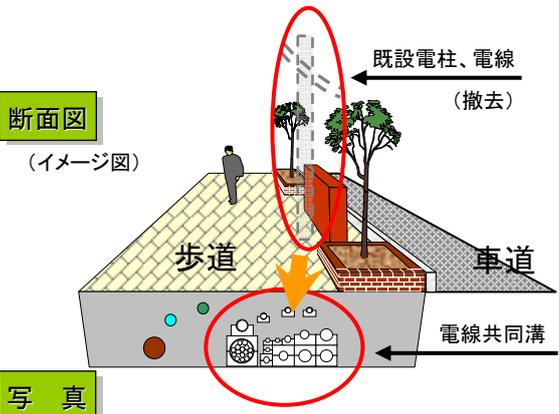
道-5

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

当該事業箇所は、鳥取県鳥取市松並町～相生町に位置しており、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上を目的として、既設電線類を地中化する電線共同溝事業です。

平成23年度は、本体工事を推進し、平成24年度の完成を目指します。



写真



期待される整備効果

- 安全で快適な通行空間の確保
- 都市災害の防止
- 都市景観の向上
- 情報ネットワークの信頼性向上

一般国道313号 倉吉道路 (鳥取県)
 一般国道313号 倉吉関金道路 (鳥取県)

道-6

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
 ○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進
 新規箇所要求

「倉吉道路」及び「倉吉関金道路」は、地域高規格道路「北条湯原道路」の一部を構成し、平成19年3月に供用開始した北条倉吉道路と一体となって鳥取県と岡山県の連携強化を図るとともに、一般国道313号の倉吉市内の線形不良等の交通隘路区間の解消や渋滞の解消を目的とした延長約11.1kmの自動車専用道路です。
 平成23年度は、倉吉道路の橋梁工事を推進し、平成24年度の倉吉IC～倉吉西IC(仮称)間約3.3kmの開通を目指します。また、倉吉関金道路を平成23年度概算要求の新規箇所として要求します。

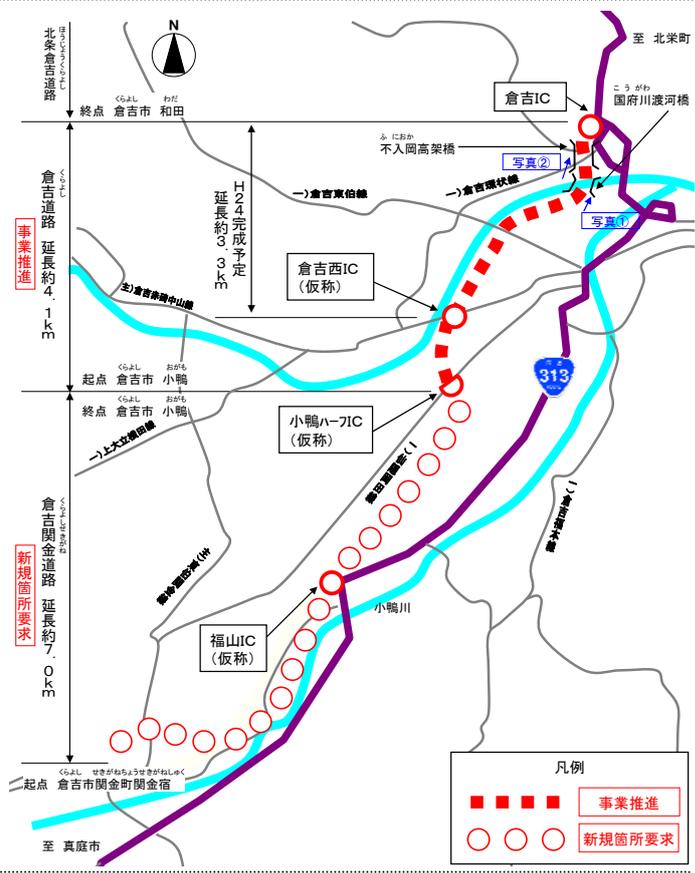


工事進捗状況(倉吉道路)

①国府川(こうがわ)渡河橋 (H22.8撮影)

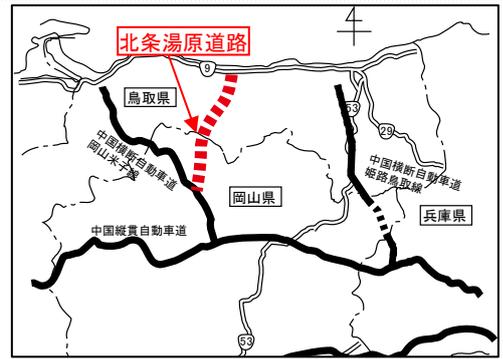


②不入岡(ふにおか)高架橋 (H22.8撮影)



期待される整備効果

- 鳥取県中部地方生活圏から中国横断自動車道岡山米子線湯原ICへのアクセス性が向上するとともに、基幹道路である一般国道9号へ北条倉吉道路を介し連結することで、生活圏・交流圏の拡大や高速性・定時性の確保を図ります。
- 特産品であるスイカを出荷している農業施設や電子機器製品等を生産している西倉吉工業団地からのアクセスが向上することにより、物流の円滑化が図られ、地域経済の活性化が期待されます。
- 家屋が連担した現道部分の交通量が減少することで、安全性の向上、交通渋滞の緩和が図られ、さらに緊急時・災害時の安定した物資輸送等に寄与します。



中国横断自動車道尾道松江線

道-7

●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

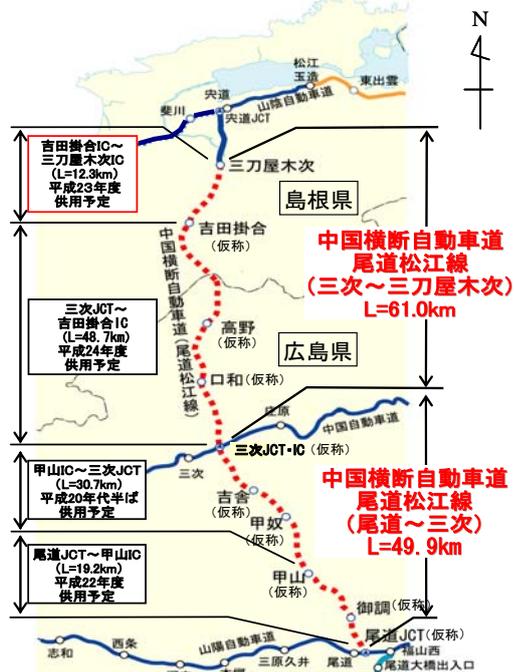
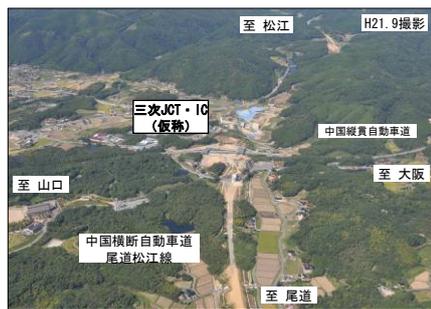
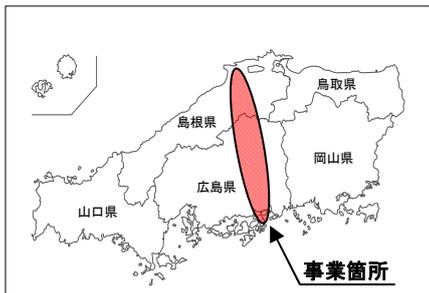
●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

部分完成

中国横断自動車道尾道松江線は、尾道市を起点に広島県北部の中核都市である三次市を経由し、島根県の県都である松江市に至る、延長約137kmの高速自動車国道です。このうち、山陽自動車道から雲南市を結ぶ尾道JCT～三刀屋木次IC間(約110.9km)は、新直轄方式により整備しています。

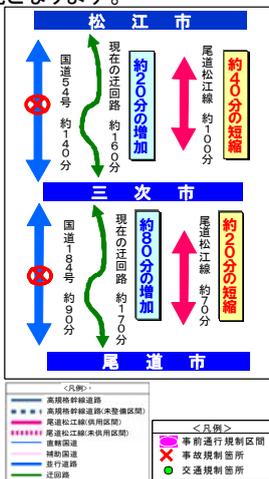
平成23年度は、吉田掛合IC～三刀屋木次IC間(延長12.3km)の道路附属施設、トンネル設備工事を推進し年度内の供用を図ると共に、甲山IC～吉田掛合IC間の改良、橋梁、トンネル工事を推進し、事業の推進を図ります。

工事進捗状況

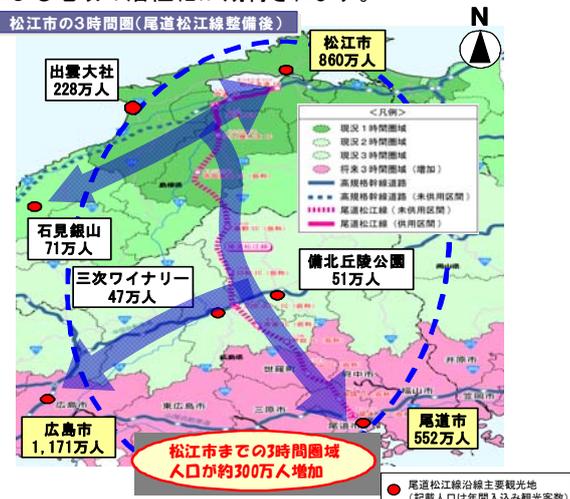


期待される整備効果

①主要都市間の所要時間短縮及びびりダンダンシーの確保
尾道松江線の整備により、山陰・山陽間の所要時間が短縮され、相互の地域間交流及び人流・物流・産業交流の活性化、地域経済の向上が期待されます。また、事故・災害時の迂回時間が大幅に短縮され、沿線住民の生活に信頼性の高い道路サービスの提供が可能となります。



②観光の支援(日帰り圏の拡大)
尾道松江線の整備により、山陽地域からの3時間圏(日帰り圏)が拡大されます。また、観光地間が時間短縮することにより、新たな観光ルートの開発や観光産業等による地域の活性化が期待されます。



一般国道9号 仁摩・温泉津道路

道-8

- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 国内交通ネットワークの強化
- 都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

一般国道9号仁摩・温泉津道路は、大田市内の交通隘路区間の解消及び交通安全の確保を目的とした、大田市仁摩町大國から同市温泉津町今浦に至る延長11.8kmの道路です。
平成23年度は、改良、橋梁、トンネル工事を推進し、事業の推進を図ります。

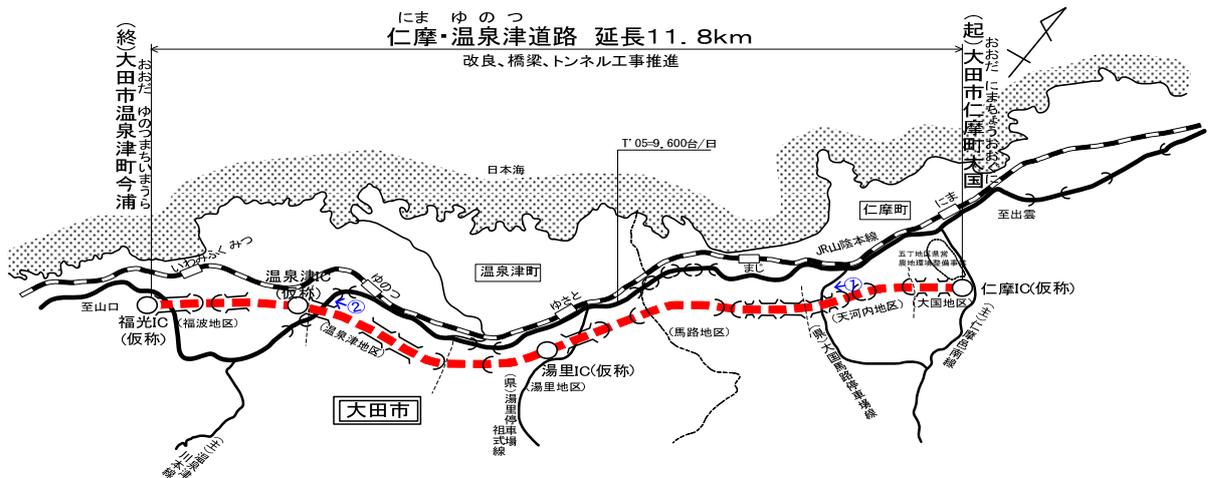
進捗状況写真



島根県大田市仁摩町天河内～馬路地内 (西側を望む) H22.7撮影



島根県大田市温泉津町温泉津地内 (温泉津IC(仮称)) H22.7撮影



期待される整備効果

1. 渋滞損失時間・事故件数削減・沿道環境の改善

仁摩・温泉津道路の整備により、国道9号の渋滞、事故及び沿道環境の改善が期待される。

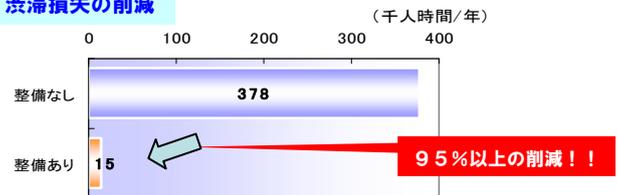
2. 緊急時の代替路の確保

仁摩・温泉津道路の整備により、多数の要防災対策箇所を回避し、事故・災害時の幹線道路としての機能を確保が確保され、信頼性の高い道路サービスの提供が可能になります。

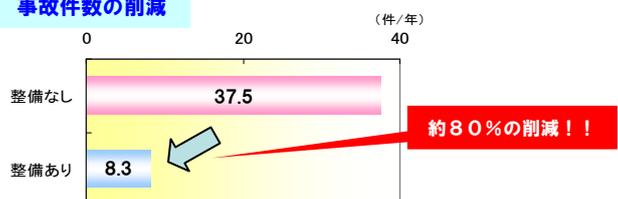
3. 現道の隘路区間の解消

仁摩温泉津道路の整備により、多数ある線形不良区間、国際コンテナ通行支障トンネル区間が解消されます。

渋滞損失の削減



事故件数の削減



はまだ みすみ 一般国道9号 浜田・三隅道路

道-9

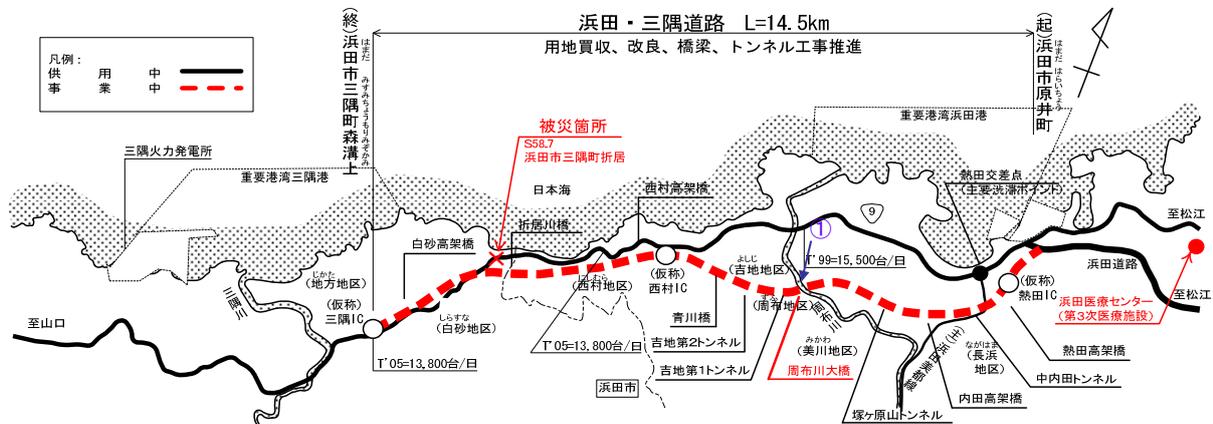
●競争力のある地域経済社会の再構築
○国内交通ネットワークの強化

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

一般国道9号浜田・三隅道路は、浜田市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした浜田市原井町から同市三隅町森溝上に至る延長14.5kmの道路です。

平成23年度は、用地買収及び改良、橋梁、トンネル工事を推進し、事業の推進を図ります。



豪雨による災害 (S58.7 浜田市三隅町折居)



工事進捗状況

(H22.8撮影)



期待される整備効果

○道路のネットワークの構築

斜面崩落等で一般交通に影響を及ぼす可能性のある区間（H18防災点検要対策箇所8箇所）が回避されるなど、国道9号の災害や重大事故発生時における代替え路が形成され、走行の安全性、定時性が向上します。

○所要時間の短縮と渋滞の緩和

高次医療施設へのアクセス時間の短縮（12分短縮）や、^{あつた}熱田交差点で、朝・夕の慢性的な渋滞が緩和されます。



※現況所要時間はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度で算出。
※将来所要時間は浜田・三隅道路V=80km/h（事業区間）として算出

一般国道9号 三宮高架橋補修

さんぐうこうかきょう

道-10

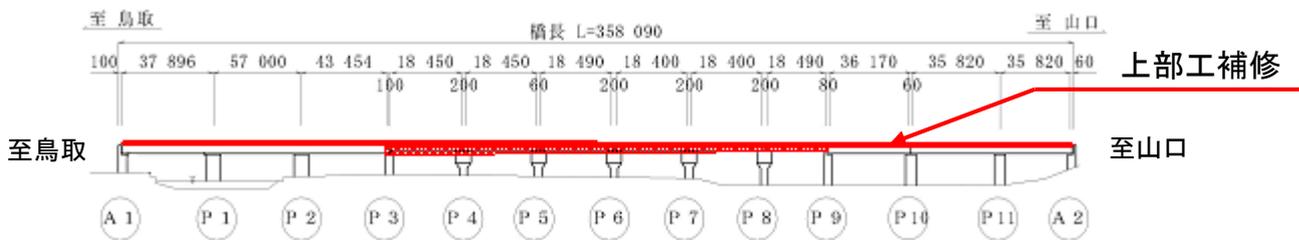
●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

完成予定

さんぐうこうかきょう しまね はまだ くろかわちょう
三宮高架橋は、橋長358m、一般国道9号島根県浜田市黒川町に架かる橋梁で、完成から約17年が経過しています。

平成21年度の橋梁点検において、塗装の劣化・腐食が確認され、補修が必要と判断されました。

平成23年度は、橋梁補修工事に着手し、完成を目指します。



全景



損傷写真①



損傷写真②

期待される整備効果

橋梁補修の実施により、安全で円滑な交通確保が図られ、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道9号 ^{くしろ}久代自転車歩行者道整備

道-11

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

はまだ くしろちょう
 浜田市久代町に位置する当該区間は、歩道が未整備であるため、車道のすぐそばを自転車・歩行者が通行し大変危険な状況です。
 平成23年度は、安全・安心な歩行空間の確保のため、自転車歩行者道整備工事を推進し、完成を目指します。



位置図

現況写真



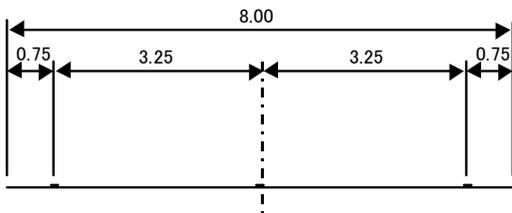
国道9号島根県浜田市久代町地内



松江方面から山口方面を望む

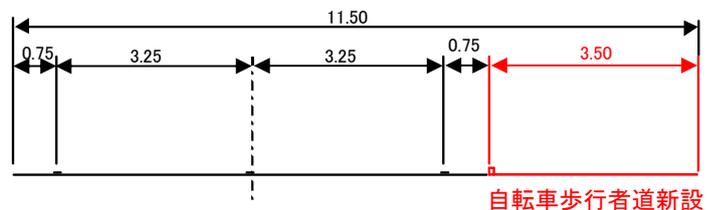
現況断面

(単位:m)



計画断面

(単位:m)



期待される整備効果

- ・ 自転車歩行者道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

まつえだいごおおおはし
一般国道485号 松江第五大橋道路(島根県)

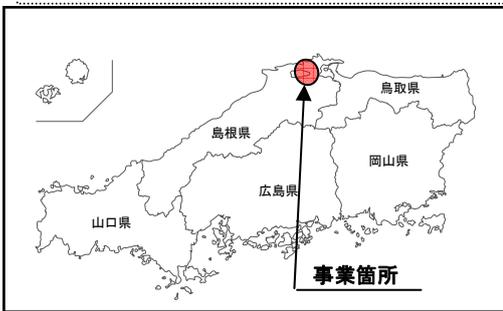
道-12

●競争力のある地域経済社会の再構築
 ○都市機能の強化

部分完成

「松江第五大橋道路」は、地域高規格道路「境港出雲道路」の一部として山陰道とともに宍道湖・中海圏域の8の字ルートを構成する道路で、中核都市松江の機能強化を図るとともに、一般国道485号の渋滞緩和を目的とした、延長約5.2kmの道路です。

平成23年度は、改良工事、橋梁工事、トンネル工事、舗装工事などを推進し、平成23年度の西尾IC～松江JCT間2.7kmの暫定2車線での開通、平成24年度の全線暫定2車線での開通を目指します。



工事進捗状況



①渡河部橋梁 (H22.5撮影)

期待される整備効果

市街地の外環状道路として機能し、市内の渋滞が緩和されるとともに、災害や緊急時の迂回路として大きな効果を発揮します。



国道485号の渋滞状況(くにびき大橋)



H18年7月豪雨後の市街地の冠水状況 国道485号(JR松江駅付近)

中国横断自動車道姫路鳥取線

道-13

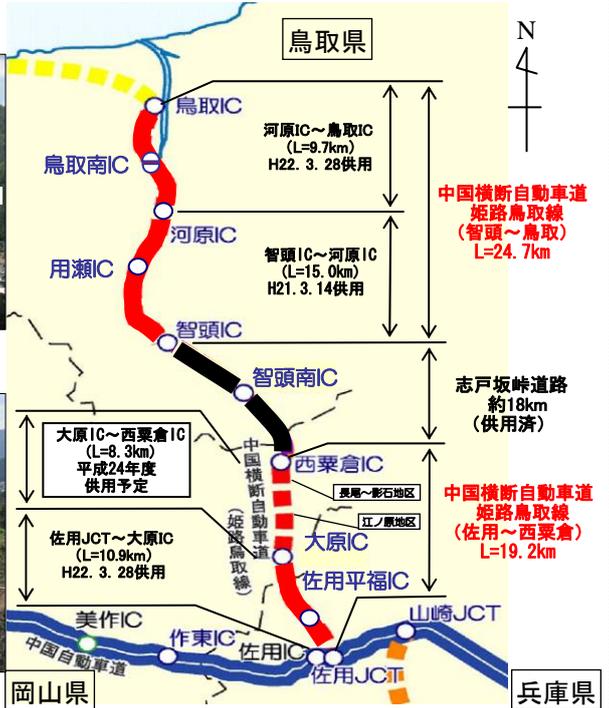
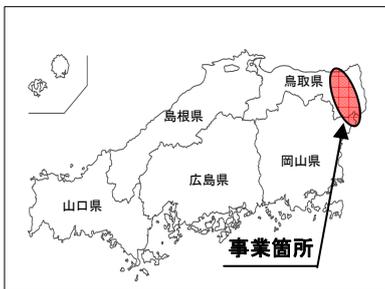
- 競争力のある地域経済社会の再構築 ●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 国内交通ネットワークの強化 ○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点に兵庫県・岡山県・鳥取県の3県を結び鳥取市に至る、延長約86kmの高速自動車国道です。このうち、中国縦貫自動車道から鳥取市を結ぶ佐用JCT～西粟倉IC間(約19.2km)及び智頭IC～鳥取IC間(約24.7km)は、新直轄方式により整備しています。

平成23年度は、大原IC～西粟倉IC間(延長8.3km)の改良、トンネル設備工事を推進し、平成24年度の開通を目指します。

工事進捗状況



期待される整備効果

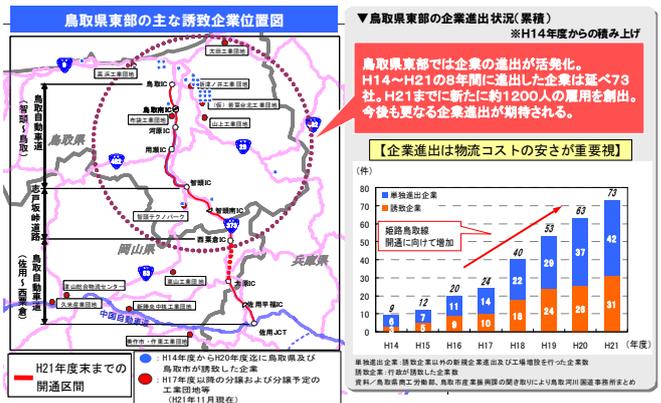
①主要都市間の所要時間短縮

姫路鳥取線の整備により、山陽・京阪神側の拠点都市との所要時間が短縮され、地域間交流の活発化、地域経済の向上が期待されます。



②地域産業の活性化

姫路鳥取線の整備により、近畿・山陽方面へのアクセス性が飛躍的に高まり、姫路鳥取線沿線は今後も更なる企業進出が期待されます。



一般国道2号 玉島・笠岡道路

道-14

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

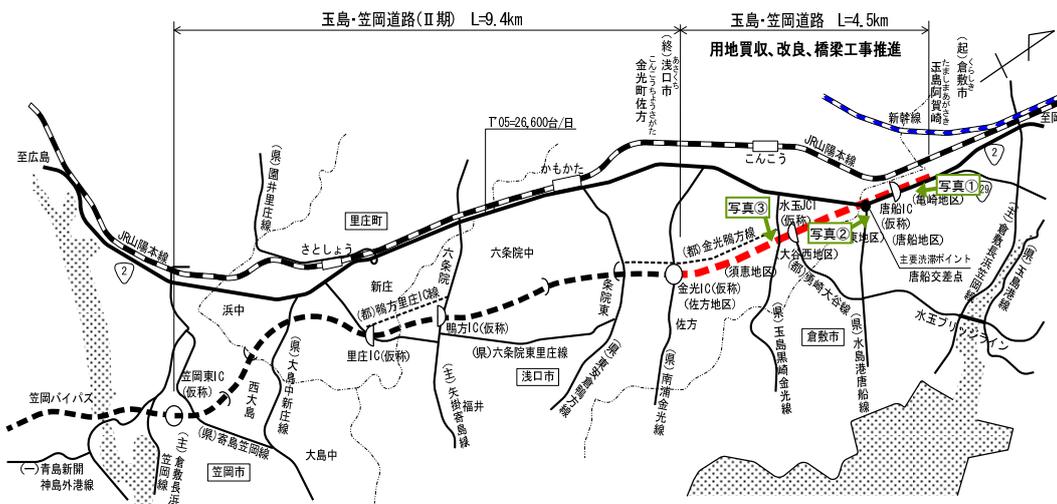
一般国道2号玉島・笠岡道路は、慢性的に発生する交通混雑の緩和、交通安全の確保、地域経済の発展を目的とした、倉敷市玉島阿賀崎から浅口市金光町佐方に至る延長4.5kmの道路です。平成23年度は、用地買収及び改良、橋梁工事を推進し、事業の推進を図ります。



渋滞状況写真



写真①国道2号唐船交差点付近



進捗状況写真



写真②倉敷市玉島阿賀崎地内

進捗状況写真



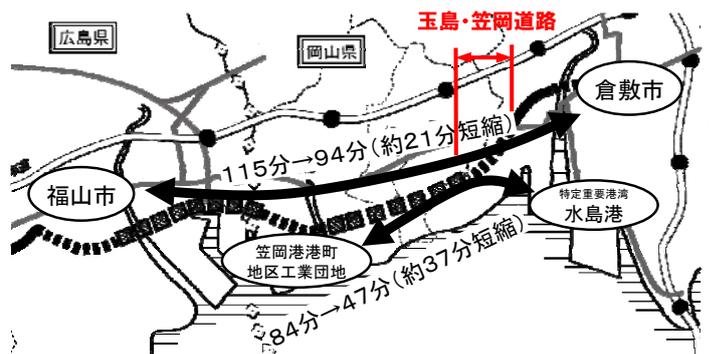
写真③浅口市金光町大谷地内(横池高架橋)

期待される整備効果

効果1) 『所要時間の短縮』

玉島・笠岡道路を含む倉敷福山道路の整備により、現道からバイパスへ交通が転換し、国道2号の交通渋滞が緩和され所要時間が短縮します。

- 倉敷市～福山市間の交通渋滞緩和による所要時間短縮。
(現況115分→94分:約21分短縮)
- 特定重要港湾水島港～笠岡港港町地区工業団地間の所要時間が短縮。
(現況84分→47分:約37分短縮)



効果2) 『第3次医療施設までのアクセス向上』

玉島・笠岡道路の整備により沿線地域から第3次医療施設である川崎医科大学へのアクセスが改善され、地域の医療サービスの向上が期待されます。

一般国道30号 児島・玉野拡幅

道-15

●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

事業推進

一般国道30号児島・玉野拡幅は、交通混雑の緩和、交通安全の確保及び港湾拠点と岡山都市圏との連携・アクセス強化、広域交流の促進を目的とした、岡山市南区当新田から玉野市田井に至る延長15.0kmの現道の4車線拡幅事業であり、岡山市南区藤田～玉野市田井の14.3kmは4車線で開通しています。また、岡山市南区当新田地区の0.7km間については右折レーンやバス停車帯が未整備であるため、引き続き事業を進めています。

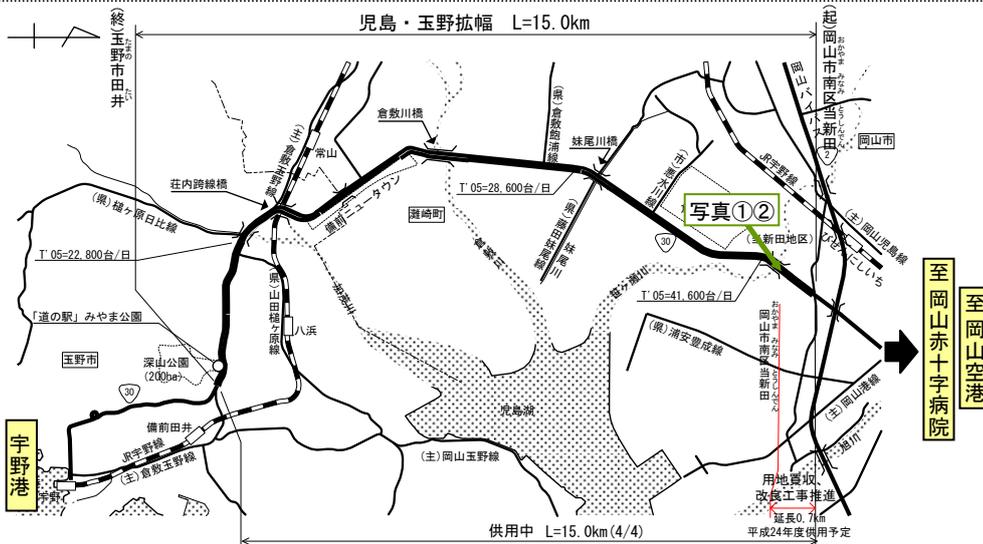
平成23年度は、当新田地区の用地買収及び改良工事を推進し、平成24年度の完成を目指します。



写真①岡山市南区当新田地内
○右折レーンが未整備のため、後続車に渋滞が発生



写真②岡山市南区当新田地内
○バス停が未整備のため、バス後続車の渋滞、無理な追越しによる事故が発生



期待される整備効果

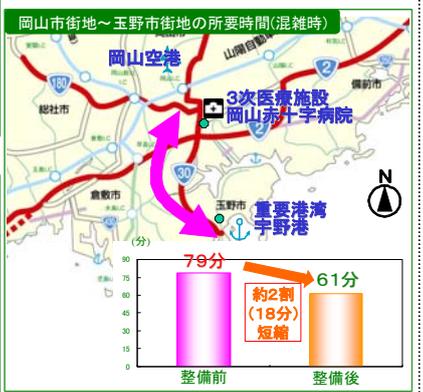
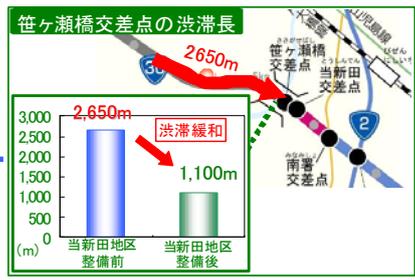
効果1) 『所要時間の短縮』

- 児島・玉野拡幅の整備により渋滞損失時間の削減され、所要時間等の短縮が期待されます。
 - 渋滞損失時間が大幅に削減
(現況: 12,114千人時間/年 → 10,464千人時間/年
...約1,650千人時間/年の削減)
 - 笹ヶ瀬橋交差点の交通渋滞が緩和
(現況: 渋滞長2,650m → 1,100m...約1,550mの緩和)
 - 岡山市街地～玉野市街地間の所要時間は約2割短縮
(現況: 79分 → 61分...約18分の短縮)



効果2) 『第3次医療施設及び物流拠点までのアクセス向上』

児島・玉野拡幅の整備により沿線地域から第3次医療施設である岡山赤十字病院へのアクセスが改善され、地域の医療サービスの向上が期待されます。また、主要な物流拠点である岡山空港・重要港湾宇野港へのアクセス向上も期待されます。



たますだいにこうかきょう
一般国道53号 田益第2高架橋耐震補強

道-16

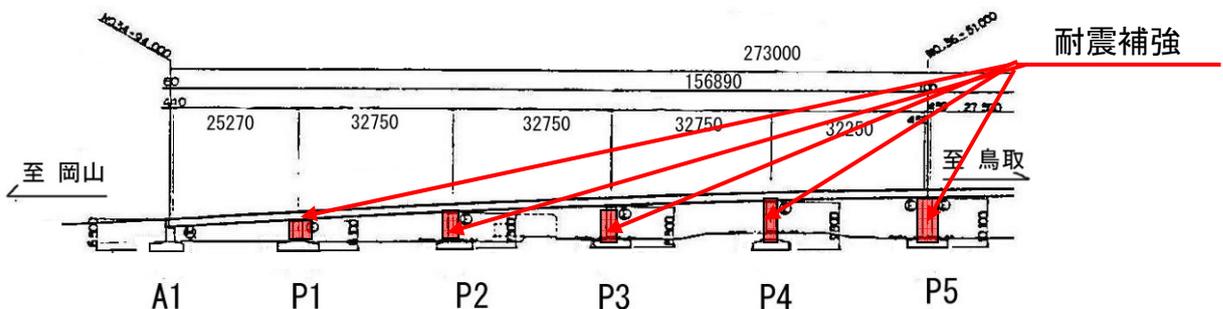
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

完成予定

一般国道53号は、^{おかやま}岡山市と^{とっとり}鳥取市を結ぶ主要幹線道路であり、地震災害時における緊急輸送を確保するための第1次緊急輸送道路に指定されています。

田益第2高架橋は、岡山市北区田益にある平成7年に架設された橋梁で、橋長273m、建設後15年が経過しています。当該橋梁は^{とうなんかいなんかい}東南海・南海地震防災対策推進地域にも指定され、地震時の被災地の救援・復旧活動への支援に資する緊急輸送道路の機能を確保するため、耐震性の向上を図る必要があります。

平成23年度は、橋脚の耐震補強工事に着手し、完成を目指します。



期待される整備効果

橋梁の機能が保たれ、安全で円滑な交通確保や災害発生時等の支援物資の輸送、救急活動等に活用され、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道180号 種井歩道整備

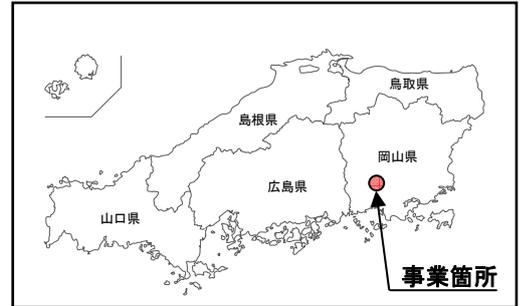
道-17

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

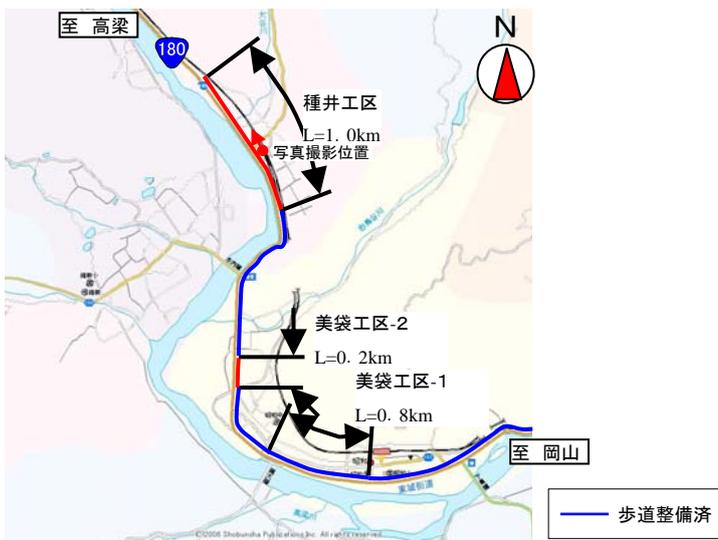
完成予定

総社市種井に位置する当該区間は、通学路に指定されているものの、両側に歩道がなく、歩行者・自転車の通行が危険な状況です。

平成23年度は、安全・安心な歩行空間の確保のため、歩道整備工事を推進し、完成を目指します。



位置図



現況写真

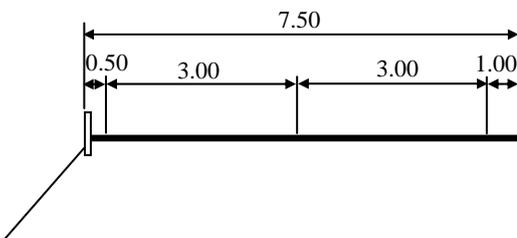
国道180号岡山県総社市種井地内



岡山方面から高梁方面を望む

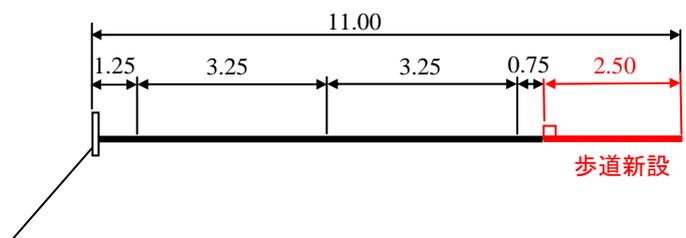
現況断面

(単位:m)



計画断面

(単位:m)



期待される整備効果

- 歩道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

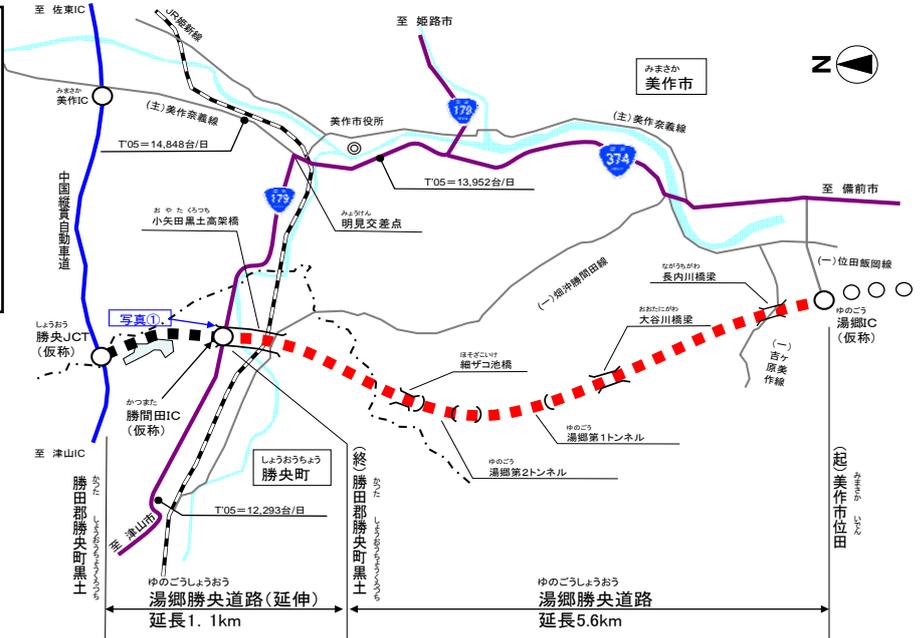
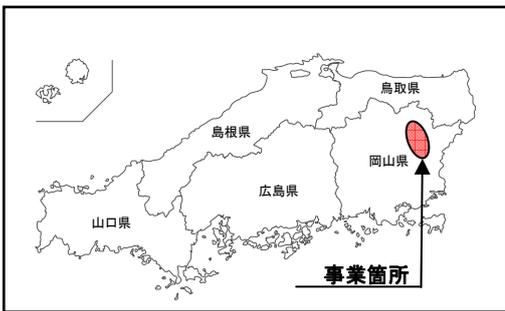
一般国道374号 湯郷勝央道路(岡山県)

道-18

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
 ○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

事業推進

ゆのこうしょうおう みまさかおかやま
 「湯郷勝央道路」は、地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成し、中国縦貫自動車道・山陽自動車道・中国横断自動車道岡山米子線と一体となって、県内循環高速道路網を形成し、美作圏域と岡山圏域の交流促進により、地域の活性化に寄与するとともに、一般国道374号の交通混雑の解消を目的とした、美作市位田から勝央町黒土間の延長約5.6kmの道路です。
 平成23年度は、舗装工事などを推進し、事業の推進を図ります。



工事進捗状況



①小矢田黒土(おやたくろつち)高架橋 (H22.2撮影)

期待される整備効果

■ 慢性的な交通混雑の回避

現道部の渋滞ポイント(明見交差点:朝ピーク時渋滞長400m)をバイパス回避することで、定時性を確保します。
 また、当該交差点への流入交通が減少することにより、現道部の交通混雑の解消が期待されます。



みょうけん 明見交差点渋滞状況

■ 広域的な循環型ネットワークの形成



一般国道2号 三原バイパス

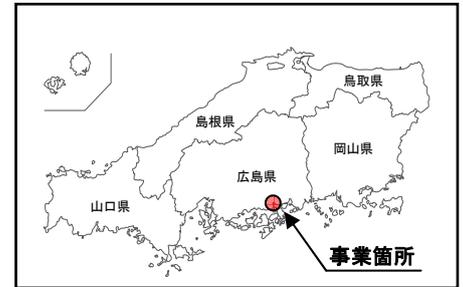
道-19

●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

完成予定

一般国道2号三原バイパスは、三原市内の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、三原市糸崎から三原市新倉に至る延長9.9kmの道路であり、平成19年度までに時広ランプから新倉町ランプ(終点部)までの延長6.9kmが開通(2/4車線)しています。

平成23年度は、橋梁、舗装、安全施設工事を推進し、延長3.0km(2/4車線)の開通を目指します。



現道状況



工事進捗状況



工事進捗状況



期待される整備効果

三原バイパスが全線開通する事により、所要時間はバイパス整備前に比べ大幅に短縮されます。

また、バイパスの開通により、現道の交通事故の減少が期待できます。



一般国道2号 広島南道路

道-20

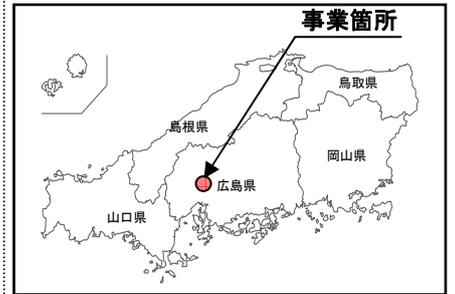
●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

事業推進

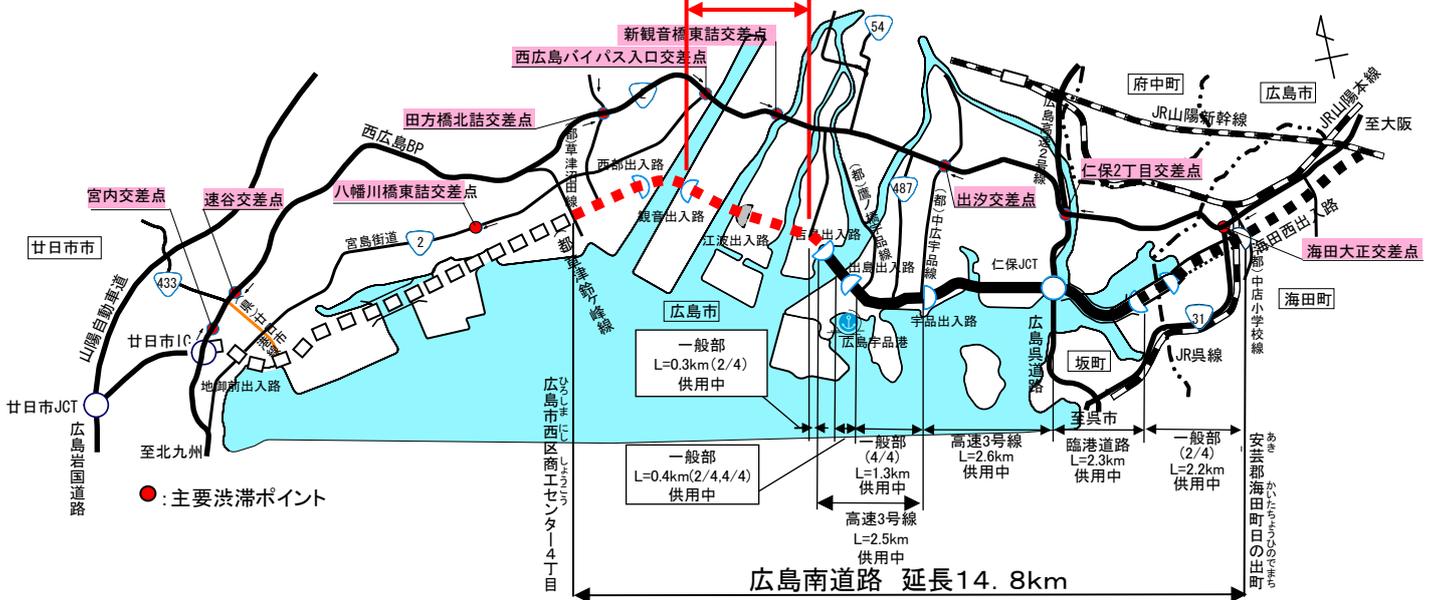
一般国道2号広島南道路は、広島都市圏における道路交通の円滑化、都市機能の向上を図ること等を目的とした、安芸郡海田町日の出町から広島市西区商工センター4丁目に至る延長14.8kmの道路です。

平成14年度までに、宇品地区から出島地区までの1.3kmが開通（一般部4/4車線）しており、平成22年4月の広島高速3号線の開通に合わせ、出島地区及び吉島地区の延長0.7km（一般部2/4、4/4車線）が開通しました。

平成23年度は、引き続き江波、観音地区の用地買収を推進するとともに、吉島地区から観音地区の改良、橋梁工事を推進します。



用地買収、改良、橋梁工事推進



※高速3号線の事業主体は広島高速道路公社です

期待される整備効果

効果『所要時間の短縮』

一般国道2号広島南道路の整備により、約21分の時間短縮効果が見込まれる。



※現況所要時間はH17道路交通センサスの混雑時旅行速度、センサスが存在しない市道の臨港道路部については、H20.11.26プローブ調査結果
※将来所要時間は広島南道路V=60km/h（事業区間）として算出。なお、廿日市IC～南道路の間は、一般国道2号（宮島街道）利用とする。

事業進捗状況



本川上空から江波・観音地区方面を望む（H21年1月撮影）

一般国道2号 西広島バイパス

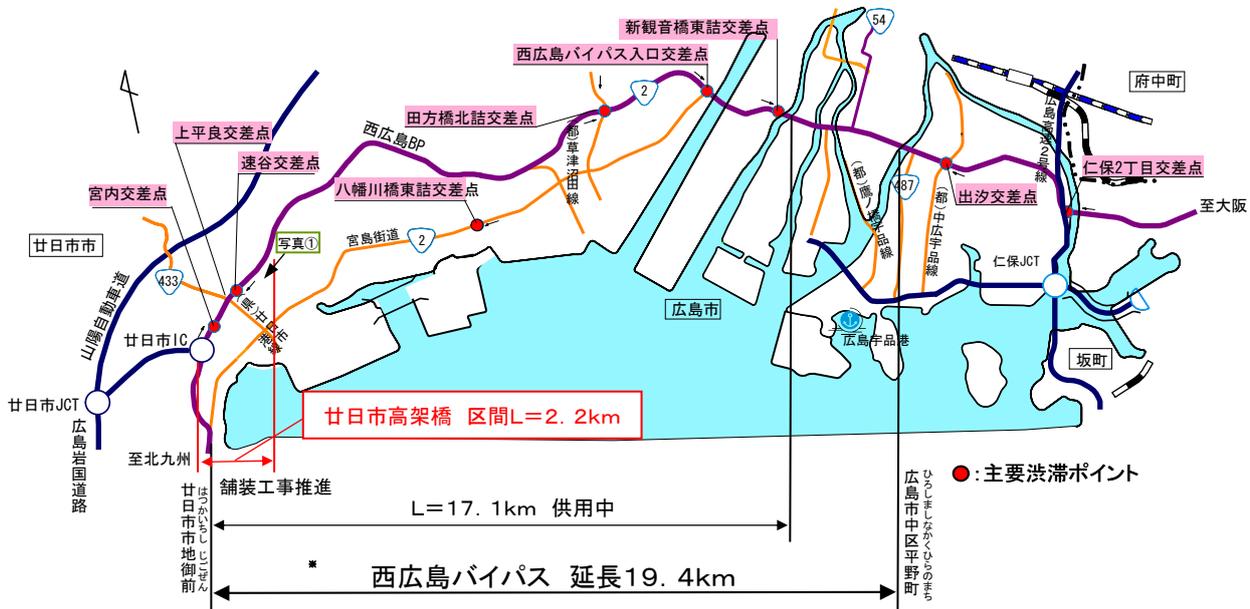
道-21

●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

部分完成

一般国道2号西広島バイパスは、特に西側から広島市都心への流入部で発生する交通混雑を緩和させることで中枢都市である広島市の都市機能を強化するとともに、周辺都市との一体的な発展に資するために計画された広島市中区平野町から廿日市市地御前に至る延長19.4kmのバイパスです。

平成23年度は、廿日市市下平良～地御前において、廿日市高架橋の舗装工事を推進し、延長2.2km(4/4車線)の開通を目指します。



期待される整備効果

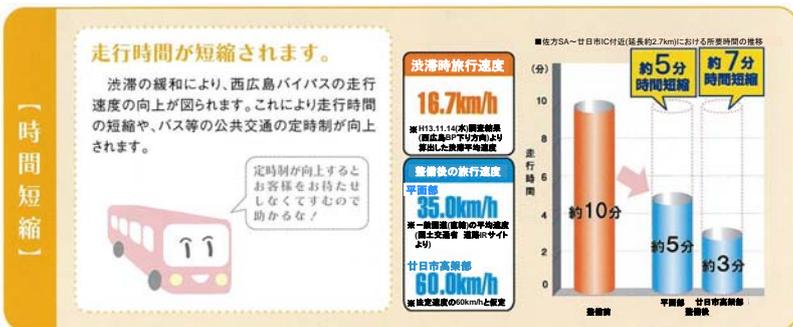
効果『走行時間の短縮』

廿日市高架橋の整備により、佐方SA～廿日市IC(延長約2.7km)まで、約7分の時間短縮効果が見込まれる。

工事進捗状況



【写真①】廿日市高架橋起点付近から廿日市IC方面を望む (H22年8月撮影)



一般国道375号 東広島・呉道路

道-22

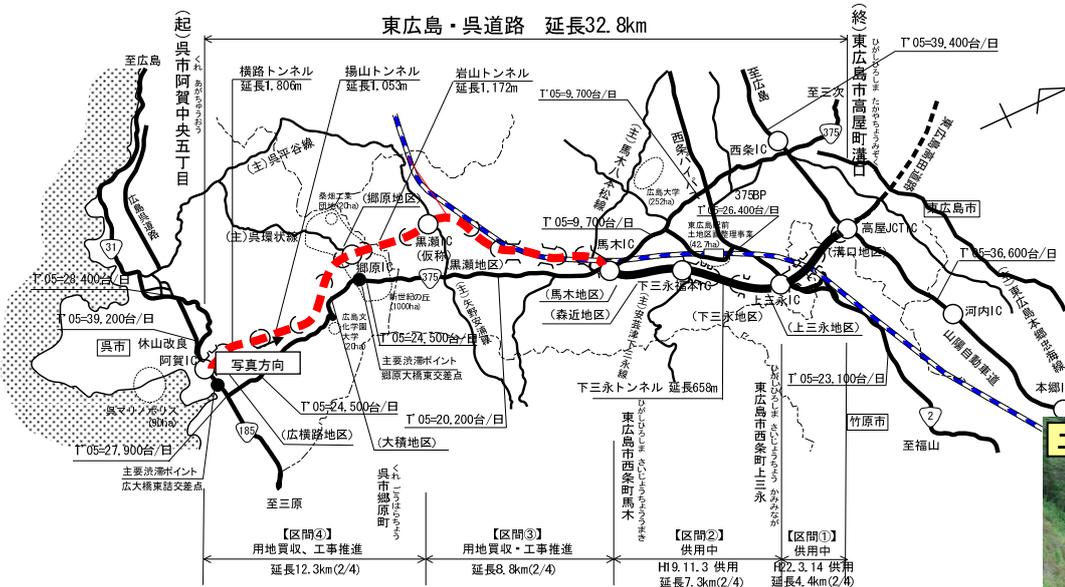
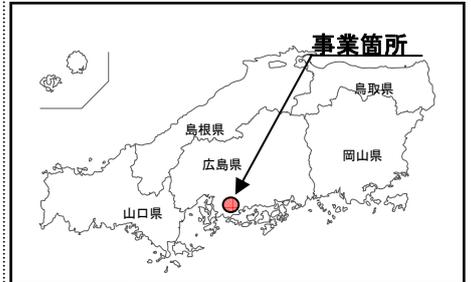
- 競争力のある地域経済社会の再構築 ●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 国内交通ネットワークの強化 ○都市間の連携強化や都市と中山間地域等の共生

部分完成

東広島・呉道路は、呉市から山陽自動車道へのアクセス強化を図ることを目的に計画された、呉市阿賀中央5丁目から東広島市高屋町溝口に至る延長32.8kmの自動車専用道路です。

平成19年度までに、馬木ICから上三永ICまでの延長7.3kmが開通しており、平成22年3月に東広島高田道路とあわせ、上三永ICから高屋JCT・ICまでの延長4.4km(2/4車線)が開通しました。

平成23年度は、阿賀IC～馬木IC間において、改良、橋梁、トンネル工事を推進し、阿賀IC～黒瀬IC(仮称)までの延長12.3km(2/4車線)の開通を目指します。



期待される整備効果

効果1) 『産業団地と高速ICとの連絡強化』
 東広島・呉道路の全線供用により、東広島市・呉市の産業団地15箇所が新たに高速ICへの20分アクセスが可能となる。(新団地を含む)



効果2) 『交通渋滞の緩和による所要時間の短縮』
 国道375号の呉市から東広島市間では、著しい交通渋滞が発生しています。東広島・呉道路の整備により、交通渋滞の緩和が期待されます。また、交通渋滞の緩和により、所要時間の短縮も期待されます。



東広島・呉道路の整備による所要時間の短縮

一般国道375号を利用した場合

山陽自動車道

約90分

東広島・呉自動車道を利用した場合

約40分 約50分短縮

呉市

※現況：H17道路交通センサスより算出。
 ※将来：東広島・呉道路は80km/hで算出。

にしみや 一般国道2号 西宮トンネル補修

道-23

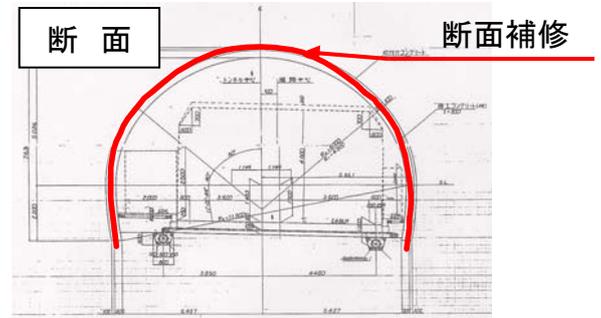
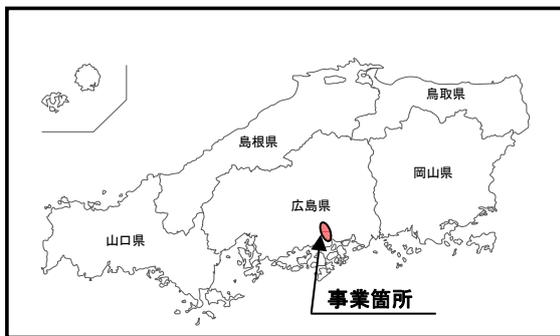
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

完成予定

一般国道2号は、^{おおさか}大阪市を起点とし^{きたきゅうしゅう}北九州市に至る総延長約760kmの主要幹線道路であり、^{おかやま}岡山市、^{ひろしま}広島市、^{やまぐち}山口市等の主要都市を結ぶ第1次緊急輸送道路に指定されています。

西宮トンネルは、^{みはら}広島県三原市の三原バイパスにある平成6年に完成した延長708mのトンネルで、完成から約16年が経過しています。過年度のトンネル点検において、トンネル内面のひび割れや剥離が確認され、補修が必要と判断しました。

平成23年度は、トンネル補修工事に着手し、完成を目指します。



期待される整備効果

トンネル補修の実施により、安全で円滑な交通確保が図られ、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道185号 ^{まとは} 的場自転車歩行者道整備

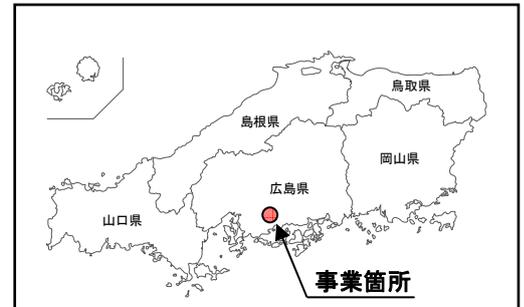
道-24

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

竹原市の的場に位置する当該区間は、通学路に指定され、近隣にフェリー乗り場、福祉施設、公園等が立地しています。当該区間の前後の歩道は整備されているものの、当該区間のみ歩道が未設置であり、歩行者・自転車の通行が大変危険な状況です。

平成23年度は、安全・安心な歩行空間の確保のため、歩道整備工事を推進し、完成を目指します。



位置図



現況写真

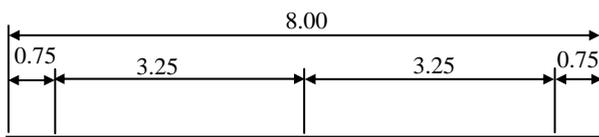
国道185号広島県竹原市の場内



三原方面から東広島方面を望む

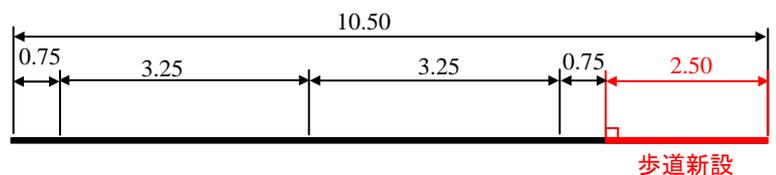
現況断面

(単位:m)



計画断面

(単位:m)



歩道新設

期待される整備効果

- ・歩道整備により、安全・安心な歩行空間の確保を図ります。

一般国道9号 おごおり 小郡改良

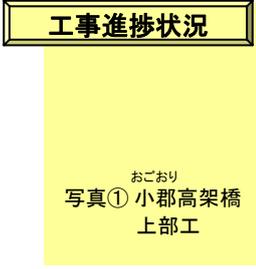
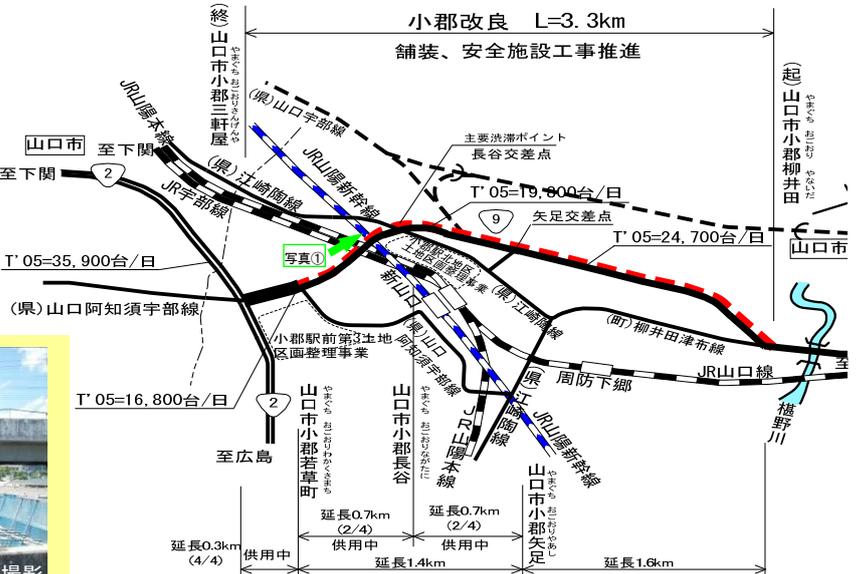
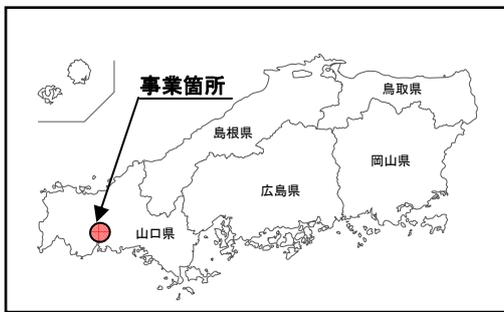
道-25

●競争力のある地域経済社会の再構築
○都市機能の強化

完成予定

一般国道9号小郡改良は、交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、山口県山口市小郡柳井田から山口市小郡三軒屋に至る延長3.3kmの道路であり、これまでに、山口市小郡矢足から山口市小郡三軒屋間の延長1.7km(2/4車線)区間(うち延長0.3km(4/4車線))が開通しています。

平成23年度は、山口市小郡柳井田から山口市小郡若草町間の舗装、安全施設工事を推進し、延長3.0km(4/4車線)の開通を目指します。



期待される整備効果

効果1) 『交通混雑の緩和』

小郡改良の整備により、円滑な交通流の確保が期待されます。

主要地点間の所要時間の短縮



■小郡IC～国道2号間の所要時間	
現況	約14分
[小郡改良整備後]	
将来	約8分 約6分短縮

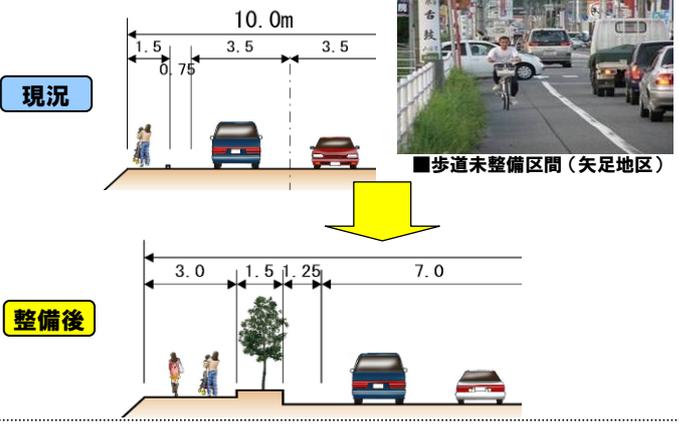
●矢足地区より柳井田方面を臨む

※整備なしはH17センサス混雑時旅行速度、整備ありはH42交通量配分結果をもとに小郡改良整備あり ケース旅行速度とH17センサス混雑時旅行速度を用いて算出
※資料:国土交通省 山口河川国道事務所

効果2) 『交通安全の確保』

ゆとりある歩行空間の創出により、通行時の安全性向上が期待されます。

安全性の向上



一般国道188号 しんとう 神東地区防災対策

道-27

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
○災害の防止・軽減

完成予定

一般国道188号は、山口県岩国市と下松市を結ぶ主要幹線道路であり、第1次緊急輸送道路に指定されています。

一般国道188号は、異常気象時に通行止め規制措置を行う特殊通行規制区間が、4箇所も存在しており、災害に対して脆弱な路線です。

この付近の交通量は約9,700台/日となっています。

このため、一般国道188号の信頼性を向上させ、災害に強い地域づくりの支援を目的として、岩国市由宇町神東地区の防災対策(越波対策)を実施する必要があります。

平成23年度は、対策残り区間L=326mで消波ブロック、根固め工等を推進し、完成を目指します。



国道188号 山口県岩国市由宇町地内 (H23年度対策実施予定箇所)



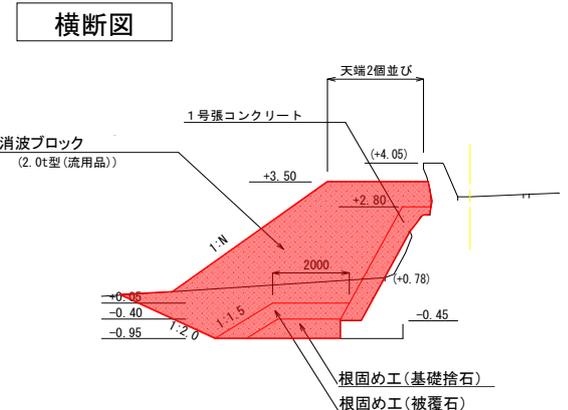
台風16号(H16年)による被災状況 (国道188号 柳井市大島町地内)



擁壁損傷状況



消波ブロック施工状況(H21年度)



期待される整備効果

防災対策の実施により、安全で円滑な交通確保や災害発生時の支援物資の輸送、救急活動等に活用され、安全・安心な生活が確保されます。

一般国道188号 通津交差点改良

道-28

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

完成予定

岩国市通津に位置する当該交差点は、国道188号と市道通津93号線との交差角が鋭角であり、かつ通津工業団地に入りする車両が多い交差点です。国道188号には右折車線がなく、交差点の柳井側は下り勾配の急カーブで視距が悪いことから、走行車線に滞留した車両への追突事故が多く発生しています。

平成23年度は、交通事故の削減を図るため、右折車線設置工事に着手し、完成を目指します。



位置図



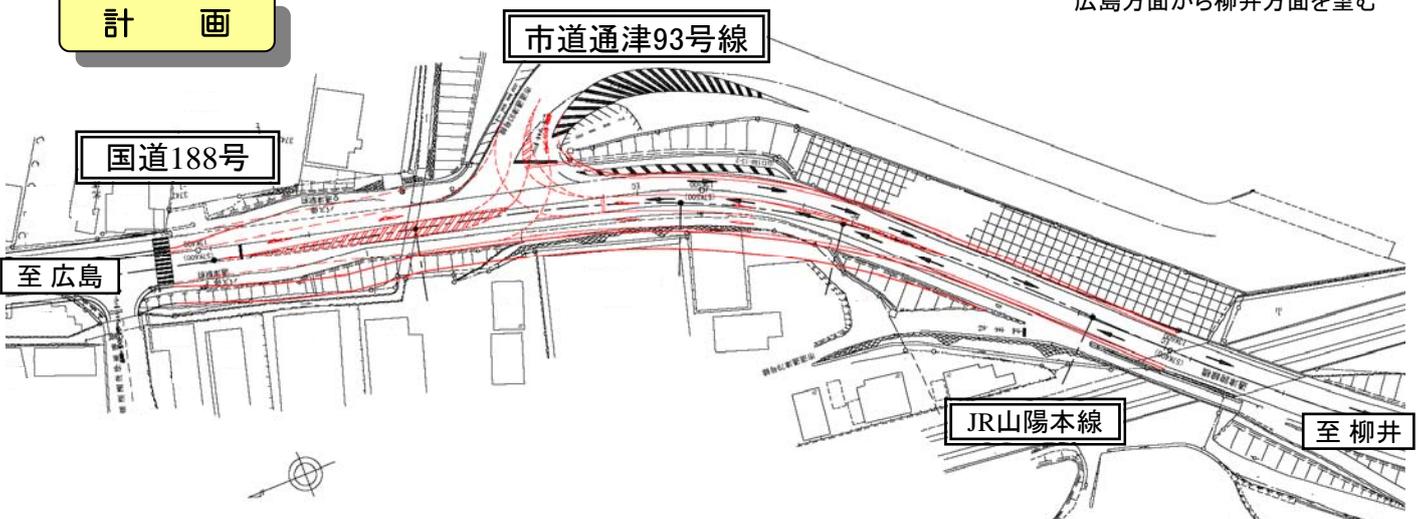
現況写真

国道188号山口県岩国市通津地内



広島方面から柳井方面を望む

計画



期待される整備効果

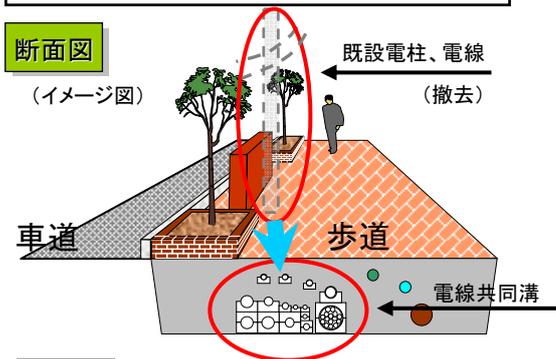
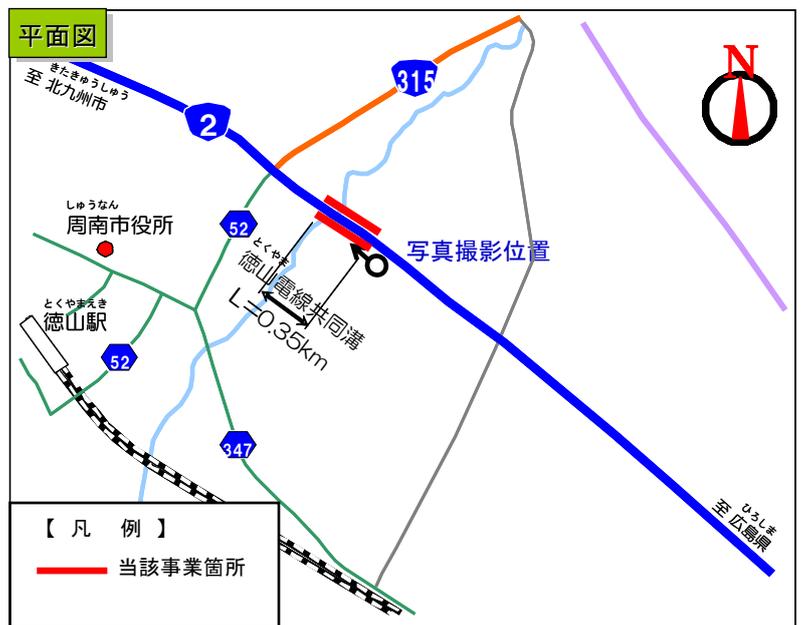
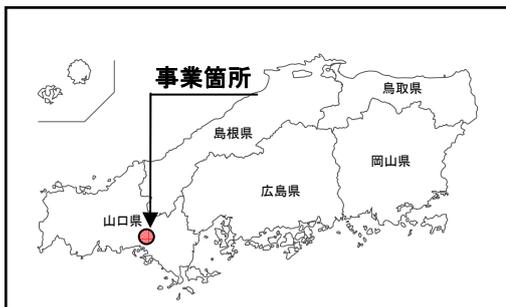
- ・ 右折車線の整備により、追突事故を防止し、交通事故発生の低減を図ります。

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 災害の防止・軽減

事業推進

当該事業箇所は、山口県周南市扇町～辻町に位置しており、安全で快適な通行空間の確保、都市景観の向上、都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上を目的として、既設電線類を地中化する電線共同溝事業です。

平成23年度は、照明等の付属施設工事を推進し、事業の推進を図ります。



写真



期待される整備効果

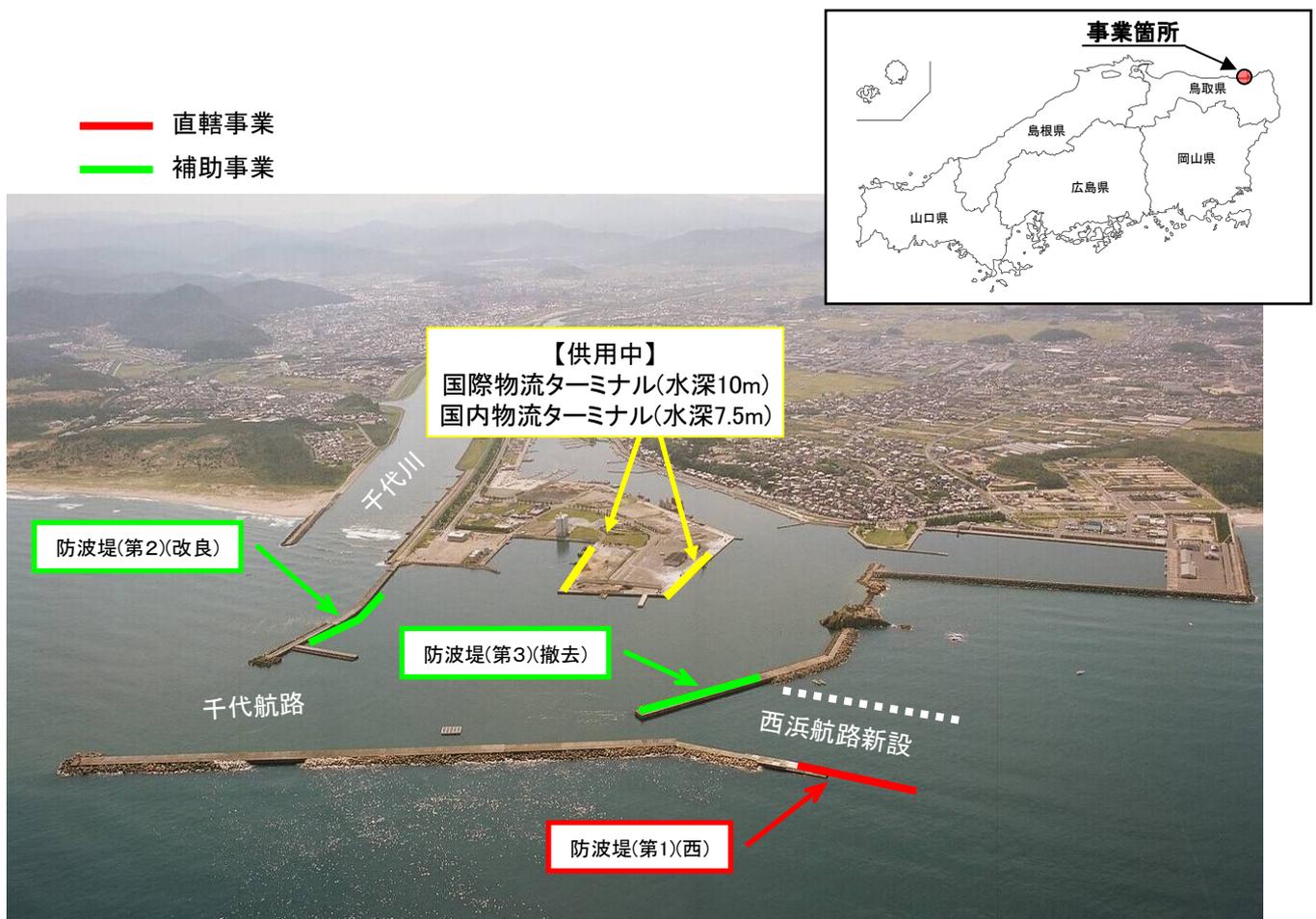
- 安全で快適な通行空間の確保
- 都市災害の防止
- 都市景観の向上
- 情報ネットワークの信頼性向上

- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
- 陸上及び海上における交通安全の向上

事業推進

鳥取港は、県東部にある鳥取市街地の北西部、千代川の河口に位置し、山陰東部地域の経済活動を支える港湾ですが、日本海特有の冬季風浪や台風等の波浪により、船舶の入出港や岸壁での荷役作業の安全性に影響を及ぼしているとともに、周辺海域を航行する船舶の避難泊地を確保することが求められています。

そのため、本事業は、防波堤(第1)(西)を延伸し、防波堤(第2)を改良するとともに、防波堤(第3)を一部撤去し、西浜航路を新設するものです。



期待される整備効果

本事業により、必要な港内の静穏度を確保することで、年間を通して安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性の向上に寄与します。

●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

新規箇所要求

境港は、全国有数の木材輸入港(平成20年実績全国第2位)であり、境港周辺に立地する工場
で建材等に加工され各地へ出荷されています。

一方、境港では取扱量が増加している北米産の木材を輸送する大型船が利用できる岸壁並び
に原木保管場所(野積場)が不足しており、非効率な“喫水調整”、“沖待ち”、“野積場への二次運
搬”等の解消が喫緊の課題となっています。

そのため、3万トン級の大型船に対応した水深12mの岸壁等からなる、国際物流ターミナルを整
備するものです。



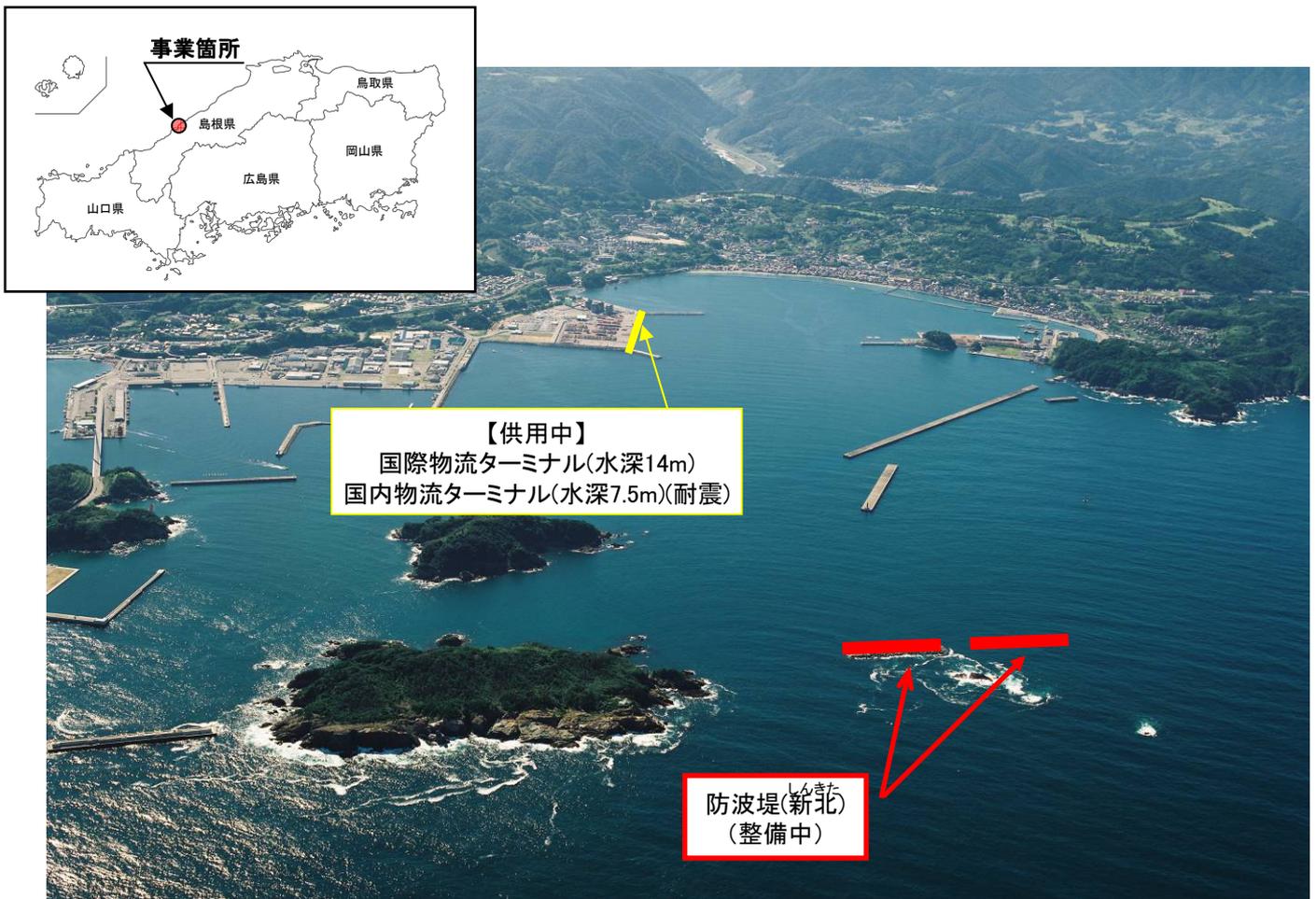
期待される整備効果

本事業により、境港の原木輸入における岸壁不足、野積場不足を解消し、非効率な輸送形態を改
善することにより、輸送コストが削減されます。これにより、地域産業の競争力強化と、地域経済の
活性化が図られます。

事業推進

- 競争力のある地域経済社会の再構築
 - 東アジア等との競争力・連携による国際競争力の強化
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
 - 陸上及び海上における交通安全の向上

浜田港は、島根県西部に位置し、原木、セメント、完成自動車等を取り扱う物流拠点として、地域の産業活動を支える重要な役割を果たしています。
本事業は、日本海特有の冬季風浪等に対して港内静穏度を確保するため、防波堤整備を行うものです。



期待される整備効果

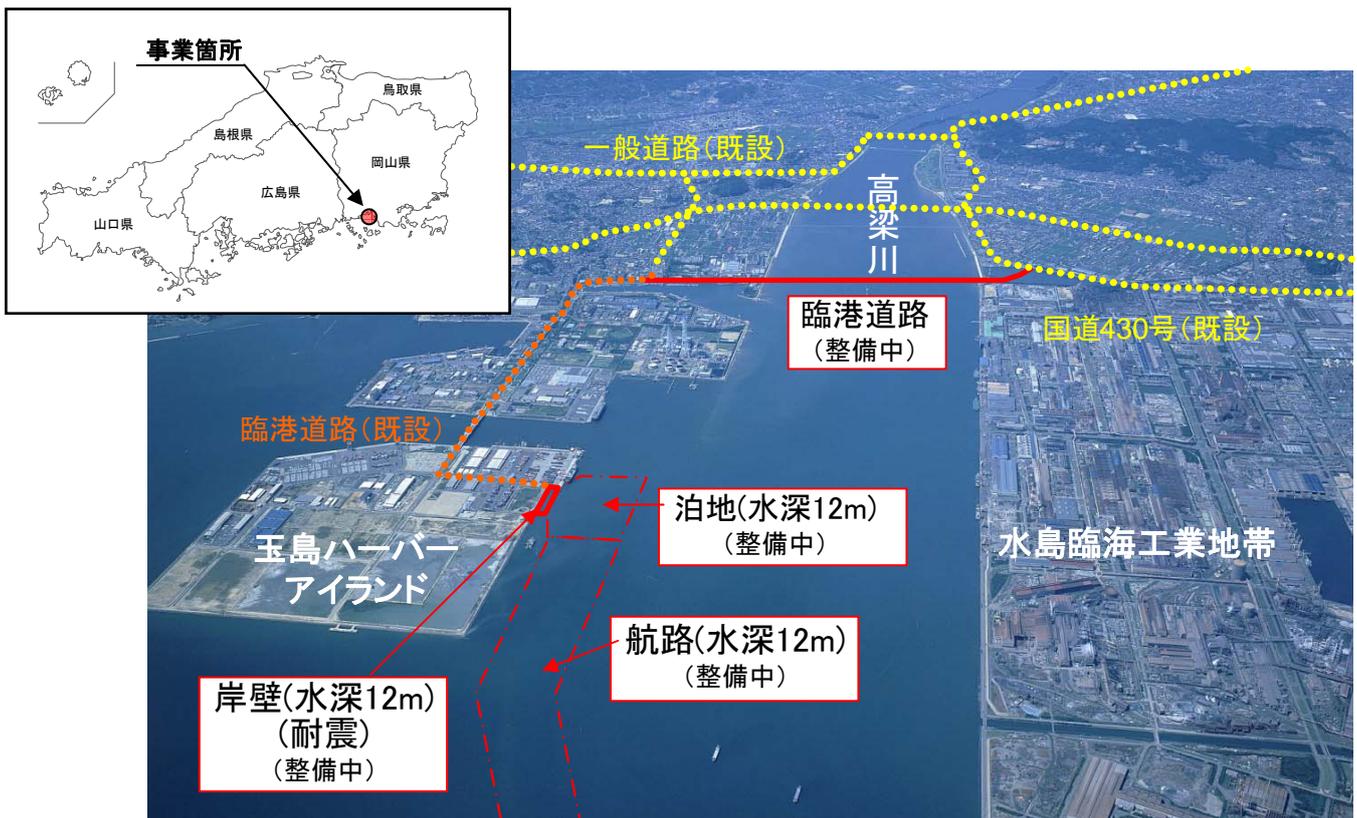
本事業により、国際物流ターミナル等において、年間を通じて安全かつ効率的な荷役作業が行えるようになるとともに、避難水域の確保等、航行船舶の安全性の向上に寄与します。

事業推進

- 競争力のある地域経済社会の再構築
 - 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化
 - 国内交通ネットワークの強化
- 安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり
 - 災害の防止・軽減

水島港は、我が国の基幹産業が集積する水島臨海工業地帯を擁し、国際定期コンテナ航路を有する港湾取扱貨物量西日本第2位を誇る国際物流の一大拠点です。

本事業は、近年の国際コンテナ等貨物量の増加や就航船舶の大型化等に対応するため、玉島地区に水深12mの国際物流ターミナルを整備するとともに、高梁川を渡る臨港道路を整備するものです。また、大規模地震等の災害発生時に、産業や経済への影響を最小限に抑えるため、耐震強化岸壁として整備します。



期待される整備効果

本事業により、大型船舶の入港が可能になるとともに、取扱貨物の陸上輸送時間が短縮され、物流コストの削減に貢献します。これにより、立地企業の産業競争力が強化されることを通じ、我が国経済の活性化を図ります。

また、大規模災害に対する地域の災害対応力が強化されます。

●安全で、誰もが安心して暮らせる地域づくり

○災害の防止・軽減

完成予定

平成18年度に広島県が実施した五日市断層を震源とする地震被害想定の見直しの結果、広島市及びその周辺に甚大な被害が想定されるため、これまで耐震強化岸壁が整備されていない広島港において、防災拠点整備の必要性がより一層高まりました。

そのため本事業は、五日市地区の既存施設を改良することにより、耐震強化岸壁を整備するものです。



期待される整備効果

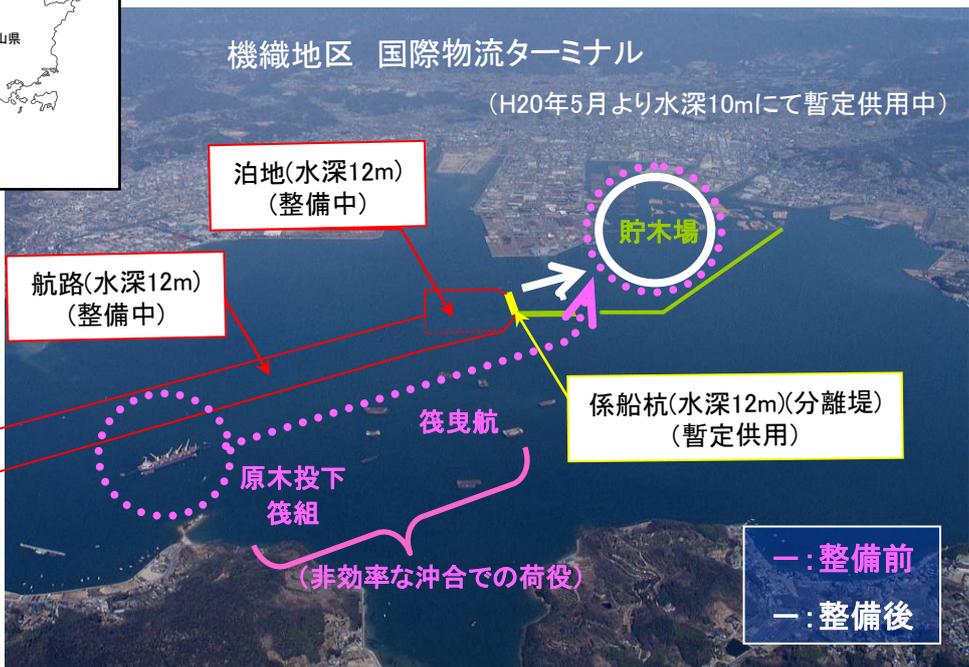
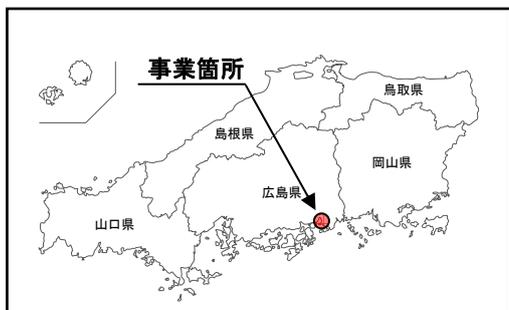
大規模地震発生時において、避難者や緊急物資等の搬送経路を確保するとともに、産業や経済への影響を最小限に抑えることが可能となります。

事業推進

- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

尾道糸崎港機織地区は、背後に原木を取扱う木材加工企業が多数立地し、輸入原木取扱量が全国第3位(H20)の木材取扱拠点です。効率的な原料調達のため、大型船に対応した施設整備等、木材港としての機能強化が強く望まれています。

本事業は、船舶の大型化に対応するため、水深12mの航路・泊地の整備を行うものです。



期待される整備効果

本事業により、船舶の大型化への対応が可能となり、海上輸送の効率化が図られます。

また、沖合での水面荷役が解消されることに伴い、二次輸送コスト低減、木皮散乱の低減による港内環境改善等が図られます。

●競争力のある地域経済社会の再構築

○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

事業推進

徳山下松港は、化学工業、石油製品製造業など活発な基礎素材型産業の物資輸送を支える港湾として、地域経済の発展に寄与しており、世界有数規模の工場が多数立地しています。

新南陽地区^{しんなんよう}では、取扱いが増加する原燃料を効率的に輸送する大型貨物船に対応した岸壁が不足しており、港湾機能の強化が喫緊の課題となっております。

このため、本事業は、船舶の大型化に対応した水深12m航路等からなる国際物流ターミナルの整備を推進するものです。



期待される整備効果

本事業により、船舶の大型化に対応し、原燃料等のバルク(ばら)貨物の安定的かつ低廉な輸送が可能となり、立地企業の国際競争力強化と我が国経済の活性化を図ります。

- 競争力のある地域経済社会の再構築
- 国内交通ネットワークの強化

事業推進

岩国港は、港内の各地区を結ぶ臨港道路がないため、港湾を利用する車両は非常に混雑している国道2号を経由せざるを得ず、円滑な物流に支障が生じています。また、室の木ふ頭を利用する車両は、通学路や住宅地内を通過する市道以外にアクセスルートがなく、地域住民の交通安全、騒音、振動など生活環境への影響が問題となっています。

そのため、本事業は、港内を南北に縦断する臨港道路を整備するものです。



期待される整備効果

港湾物流の円滑化により物流コストの削減が図られ、立地企業の国際競争力が強化されます。また、住宅地内における港湾関連車両の通行を回避し、生活環境が改善されます。

●競争力のある地域経済社会の再構築
○東アジア等との競争・連携による国際競争力の強化

事業推進

宇部港本港地区においては、背後に立地する化学品製造業者などの原燃料、製品輸送にあたり、輸送の効率化が求められています。

本事業は、現在暫定水深で供用中の、岸壁(水深13m)及び岸壁(水深12m)の計画水深を確保するため、航路・泊地を整備するものです。



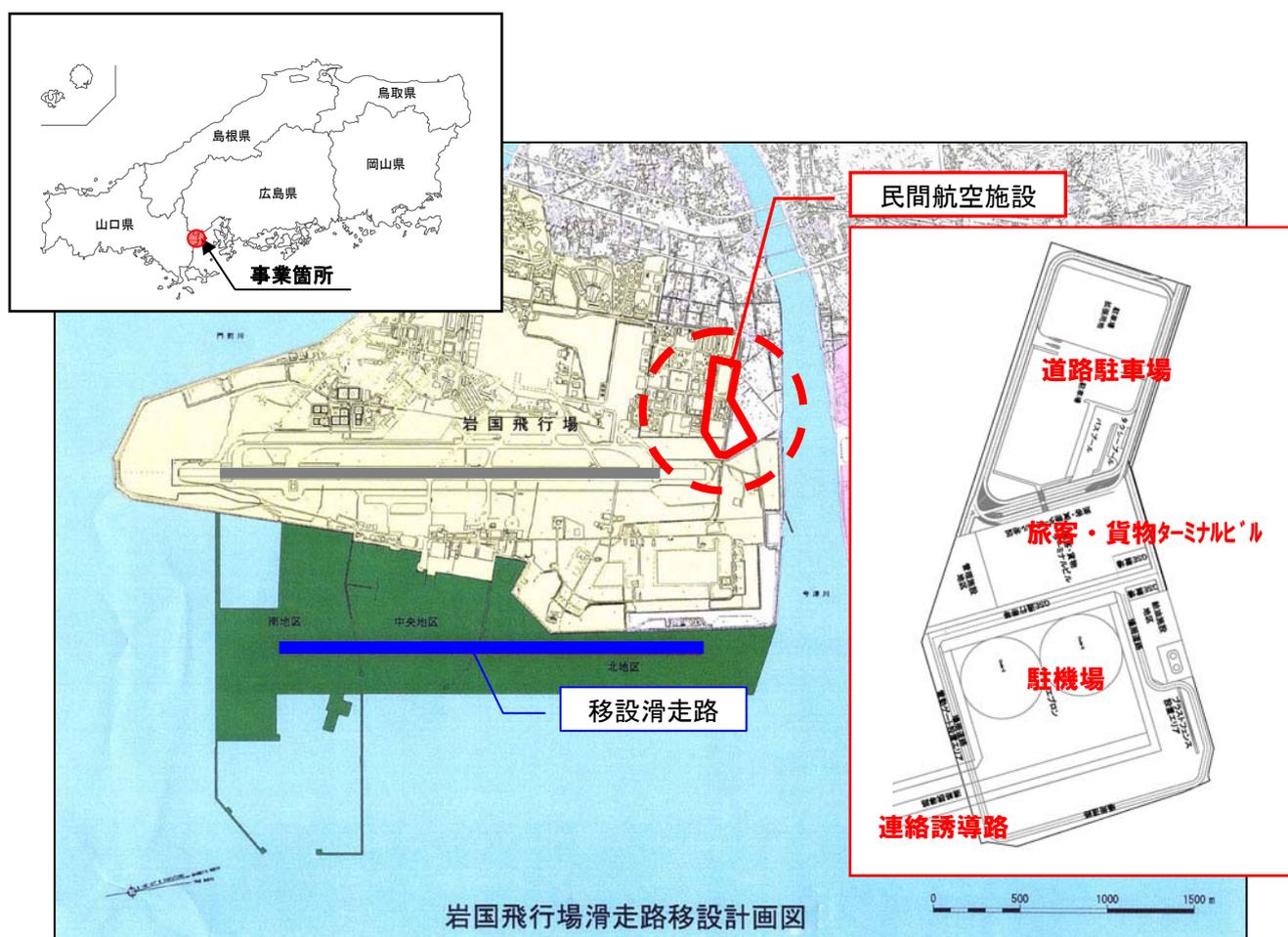
期待される整備効果

本事業により、大型船による効率的な輸送が可能となり、物流コストが削減されます。
これにより、宇部港背後に立地する主要企業の国際競争力と、我が国経済の活性化を図ります。

- 交流・連携による一体的で活力のある地域づくり
- 広域観光の促進

事業推進

岩国飛行場において、平成17年10月の『日米合同委員会』での合意及び、平成21年2月の『関係省庁申し合わせ』に基づき、米軍再編措置に係る負担を担う地元要望に配慮し、地域の活性化を図るため、民間航空機の就航に必要なターミナル施設整備（駐機場、民航連絡誘導路等）を推進します。



(防衛省資料(出典:防衛省HP)に加筆)

期待される整備効果

岩国飛行場での民間航空再開により、これまで鉄道や遠方の空港を利用していた方々の旅行時間短縮等が図られます。これに伴い、広域観光需要の拡大等が期待されます。

●多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
 ○瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

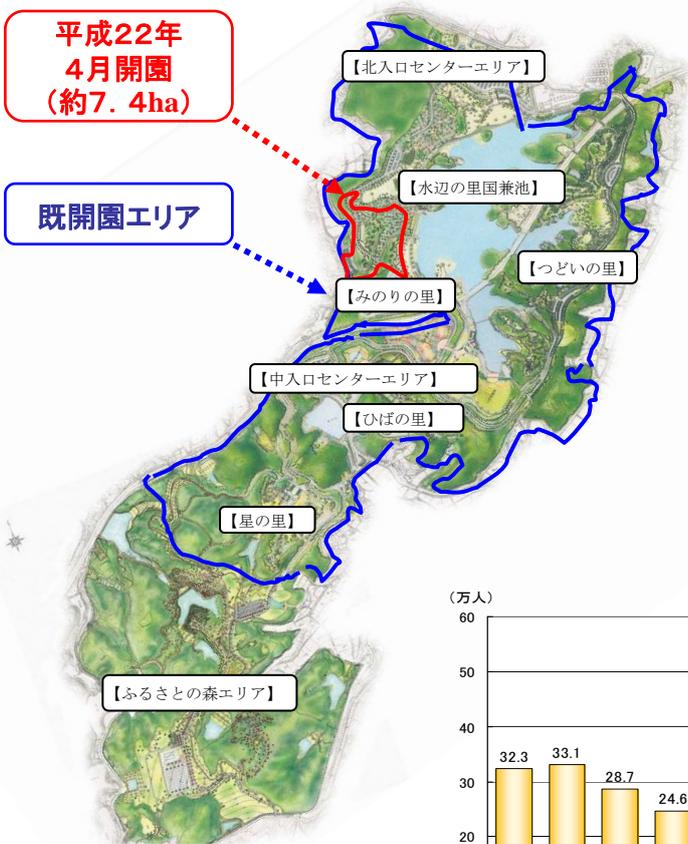
事業推進

国営備北丘陵公園は、「ふるさと・遊び」を基本テーマとして、中国地方の自然・歴史・文化を活かした広域的な観光、レクリエーションの拠点として整備を進めている国営公園です。平成22年4月には「北入口センターエリア・みのりの里」を全面開園し、平成22年8月に開園から16年目で入園者数600万人を達成しました。

平成23年度は、「ふるさとの森エリア」におけるため池の改修等を実施します。

平成22年
4月開園
(約7.4ha)

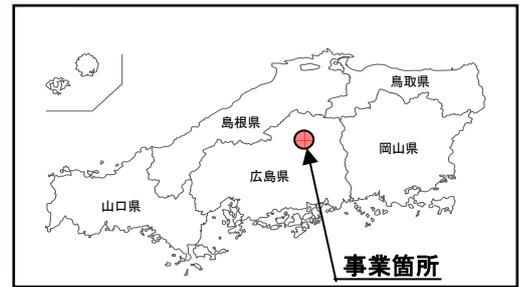
既開園エリア



全体計画図

概要

計画面積 : 約340ha
 開園面積 : 約230ha
 開園 : 平成7年4月



年間入園者数の推移



期待される整備効果

- ◆国兼池を中心とした湖畔景観や丘陵景観等の自然を活かし、中国地方のレクリエーション拠点として多様なニーズに対応できるようになります。
- ◆中国地方の特色である里山環境を活用した体験活動の場の提供、情報発信により、地域の自然・歴史・文化資源の保存・継承の取り組みが推進されます。
- ◆多様な主体と連携したイベント開催などにより、公園を核として地域の活性化が図られます。



- 多彩な文化と自然を活かした豊かで快適な暮らし・社会の創造
- 瀬戸内海や日本海等の地域資源を活かした美しく豊かな地域づくり

海の再生を推進する「全国海の再生プロジェクト」の一環として、「森・川・海の健やかな繋がりを活かし、恵み豊かで美しく親しみやすい「広島湾」を保全・再生し、次世代に継承する。」を目的に「広島湾再生プロジェクト」を関係省庁や自治体などが連携して推進します。
 平成23年度も多様な主体の連携・協力のもと、下水道整備及び環境学習、海面の浮遊ゴミの清掃など推進します。

水環境、生物生息・生産の場の保全・再生

赤潮や貧酸素水塊の発生



◆ 下水処理場の高度処理化、合流式下水道改善



高度処理(太田川流域
下水道東部浄化センター)



合流式下水道改善(雨天時
未処理放流水の削減)

生物生息を考慮した護岸整備の検討

◆ 親水性と生物生息を考慮した護岸整備
(直轄海岸広島港海岸)

現況写真



自然景観、歴史・文化的資源の活用・保全

広島湾の豊富な自然景観、歴史・文化的資源を保全する担い手の減少、海面の浮遊ゴミ、海岸漂着ゴミによる景観の悪化

◆ 川と海との連携による清掃美化活動

◆ 「おんど2000」などの清掃船によるゴミ回収



クリーンアップ大作戦



おんど2000によるゴミ回収

魅力ある親水空間の創出と親水空間の利活用の活性化

人々が海に触れ合える場所や機会の減少
→ 海に対する関心の低下

◆ 水の都ひろしままちづくりの推進

◆ 川や海辺を利用した環境学習活動の推進



水辺のコンサート



海辺の環境学習(干潟観察)

期待される整備効果

- 水環境の再生
- 人と海の繋がりの再生
- 生物生息・生産の場の保全・再生
- 自然景観、歴史・文化的資源の活用・保全

<http://www.cgr.mlit.go.jp/chiki/hiroshimawan/index.html>

しまなみ・山陰・広島地域の観光圏

他-2

●交流・連携による一体的で活力のある地域づくり

○広域観光の促進

観光圏は、自然・歴史・文化等において密接な関係が認められる観光地を一体として形成された区域で観光地相互間の連携により観光地の魅力と国際競争力を高めようとするものです。

国際競争力の高い魅力ある観光地域づくりを推進するために必要とされる社会資本整備の促進に配慮していきます。

瀬戸内しまなみ海道地域観光圏 ～しまなみ海道 海響ツーリズム～

観光圏の区域	広島県－尾道市 愛媛県－今治市、上島町
観光圏整備計画の期間	平成22年4月1日～平成27年3月31日
数値目標の設定	入込観光客数(千人) 9,290(20年) ⇒ 10,856(26年) (内)外国人観光客数(千人) 47(20年) ⇒ 64(26年) 宿泊者数(千人) 696(20年) ⇒ 734(26年)



- 瀬戸内しまなみ海道振興協議会** 地域の自治体、観光協会、観光関連団体等で構成
- 主な観光旅客宿泊サービス改善・向上事業**
 - ・滞在型商品開発と旅行商品化・情報発信
 - ・着地型旅行商品の企画開発
 - ・連泊割引プランの企画開発
 - 主な観光資源活用によるサービス開発・提供**
 - ・サイクリング環境向上、レンタサイクル整備
 - ・体験観光メニュー、プログラム整理
 - ・観光記念グッズの開発等
 - 観光情報提供の充実・強化事業**
 - ・サイクリングマップ及び地域内ホームページの多言語化
 - 観光客の移動の利便増進事業**
 - ・サイクリングバスシステムの開発
 - モニタリング事業**
 - ・観光客の宿泊動向調査